

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 7 年 7 月		仕 様 概 要	施工延長 L=224.0m	
契約番号	2025000621			管渠布設工（PRP φ200） L=220.1m	
路線名				1号マンホール設置工 N=4.0箇所	
工事等名	原町区下水管渠築造第2工区工事			小口型マンホール設置工 N=1.0箇所	
				汚水桝及び取付管設置工 N=12.0箇所	
工事等場所	南相馬市 原町区上渋佐字原田 地内外		付帯工（舗装復旧工） A=236.5㎡		
			仮設工（建込簡易土留工） L=257.8m （H=2.00～2.50m）		
総工事費	当初請負		仕 様 概 要		
	当初設計				
	変更請負				
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2025000621)		
原町区下水管渠築造第2工区工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
函渠工(開削)		
マンホール工		
取付管およびます工		
付帯工		
安全管理費		
直接工事費		
諸 経 費		運搬費、工事標示板加算額、技術管理費
工事費計(税抜き)		

諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名

最低制限価格の設定(算定)について

原町区下水管渠築造第2工区工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。
該当工事には のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用 = 最低制限価格(P)

- 最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92% + 消費税額

予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

- ☒ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

- ☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

- ☐ 舗装工事

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

- ☐ 水道工事

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

- ☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 68%

- ☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費 + 直接工事費) × 97% + (共通仮設費 + 間接労務費) × 90% + (現場管理費 + 工場管理費 + 機器間接費) × 90% + 一般管理費(製作分 + 据付分) × 68%

- ☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費 + 直接工事費) × 97% + (共通仮設費 + 間接労務費) × 90% + (現場管理費 + 工場管理費 + 据付間接費 + 設計技術費) × 90% + 一般管理費 × 68%

直接製作費: 製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

直接工事費: 据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

原町市管内図



総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	00 市 町 村 実施設計書 当初 00000000000 0 1 実施単価 71 S (相双1) 地区 00-07.06.15(0) 1 土木工事 20250000002当初原町区下水管渠築造第2工区工事		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 I C T施工補正 スライド種類	50 23 下水道 (2) 00 冬期割増なし 01 金銭的保証 06 (土木)一般交通影響有り2 00 必要無し 02 4週8休以上 (月単位) 00 I C T補正なし 01 インフレスライド		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計 1
	3	作業日数集計 2
	4	作業日数集計 3
	5	作業日数集計 4
	6	作業日数集計 5

00000000000

南相馬市

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
管路					Y1010005936
管きょ工（開削） A=0,B=0					Y213W005937
管路土工 A=0,B=0	1	式			Y32DV005938
管路掘削 A=0,B=0,F=1	424.7	m3			Y451I005939
機械掘削工（バックホウ） ｸｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3）	1	m3			SG002 00 施工 第0 -0001号表
管路埋戻（管防御含む） A=0,B=0,F=1	221.3	m3			Y451J005940
機械投入埋戻工（バックホウ） ｸｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3）	1	m3			SG012 00 施工 第0 -0003号表
再生骨材（骨材）クラッシャラン R C - 4 0	1.2	m 3			T8454 00
発生土処理 A=0,B=0,F=1	424.7	m3			Y451K005941
発生土処分工（機械積込み） 運搬距離 L = 8.3km ダンプトラック 4 t 積	1	m3			SG015 00 施工 第0 -0005号表
整地 残土受入れ地での処理	1	m3			SPA109 00 施工 第0 -0008号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管布設工 A=0,B=0	1	式			Y32DW005942
リブ付硬質塩化ビニル管 A=0,B=0,F=1	220.1	m			Y44T8005943
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 200mm S0(20m以上)	1	m			SG702 00 施工 第0 -0009号表
伸縮可とう継手（管） A=0,B=0,F=1	1	式			Y451S005952
マンホール可とう継手 リブ管φ200用（県農林単価）	9	個			F0003 00
マンホール可とう継手 VU管φ150（県農林単価）	1	個			F0005 00
管基礎工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32DX005957
砕石基礎 A=0,B=0,F=1	27.0	m ³			Y451Y005959
砕石基礎工 機械施工 S0(10m ³ 以上)	1	m ³			SG704 00 施工 第0 -0010号表
再生骨材（骨材）クラッシュラン R C - 4 0	1.2	m ³			T8454 00
管路土留工 A=0,B=0,F=1					Y32E0005979
建て込み簡易土留 A=0,B=0,F=1	1	式			Y452D005981

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 建込工 2.0m以下	137.0	m			SG035 00 施工 第0 -0011号表
たて込み簡易土留 建込工 2.5m以下	87.0	m			SG035 00 施工 第0 -0012号表
たて込み簡易土留 引抜工 2.0m以下	137.0	m			SG036 00 施工 第0 -0013号表
たて込み簡易土留 引抜工 2.5m以下	87.0	m			SG036 00 施工 第0 -0014号表
建て込み簡易土留（賃料・整備費） A=0,B=0,F=1	1	式			Y452D005981
管路部建込簡易土留（賃料・整備費）	1	式			F0001 00
マンホール工 A=0,B=0,F=1					Y21K1006171
組立マンホール工 A=0,B=0,F=1					Y32K9006181
組立1号マンホール A=0,B=0,F=1	1	式			Y45LG006183
マンホール蓋 T-25 φ600 浮上防止・転落防止兼用梯子無し	4	個			TG236 00
調整金具 2.5mmまで	2	組			TG834 00
調整金具 4.5mmまで	2	組			TG835 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
マンホール 調整リング H50 600×50	2	個			TG221 00
マンホール 調整リング H100 600×100	1	個			TG222 00
マンホール 調整リング H150 600×150	1	個			TG225 00
マンホール(ステップ垂直型)斜壁塊 600B 600×900×450	1	個			TG147 00
マンホール(ステップ垂直型)斜壁塊 600C 600×900×600	3	個			TG148 00
マンホール(ステップ垂直型)直壁塊 900B 900×600	3	個			TG128 00
マンホール(ステップ垂直型)直壁塊 900D 900×1200	1	個			TG130 00
マンホール 底塊(底なし) 1号-a1 900×600	4	個			TG185 00
マンホール 底版塊 900用 1200	4	個			TG203 00
組立マンホール設置工 1号(内径 900mm) 深さ3m以下 S0(4箇所以上)	4	箇所			SG705 00 施工 第0 -0015号表
マンホール底部工 A=0,B=0,F=1	4	箇所			Y45LG006183
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	0.13	m3			SPB401 00 施工 第0 -0016号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル練 セメント(普通ポルトランド)25kg袋入	0.015	m3			SPB405 00 施工 第0 -0017号表
モルタル上塗り t=20mm	0.74	m 2			V0001 00 施工 第0 -0018号表
マンホール基礎工 A=0,B=0,F=1	4	ヶ所			Y45LG006183
砕石基礎工 RC40	0.23	m 3			V0002 00 施工 第0 -0019号表
マンホール削孔 A=0,B=0,F=1	1	式			Y45LG006183
削孔費 第1号人孔 塩ビ 呼径150	1	ヶ所			TG841 00
削孔費 第1号人孔 塩ビ 呼径200	9	ヶ所			TG842 00
小口径マンホール工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32K9006181
小口径マンホール工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y45LG006183
小型マンホール設置工 マンホール径 300mm 起点及び中間形式 深さ2.0m以下 本管径150mm及び200mm	1	箇所			SG706 00 施工 第0 -0021号表
取付管およびます工 A=0,B=0,F=1					Y2142006235
取付管路土工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32DV006236

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付管路掘削 A=0,B=0,F=1	68.6	m3			Y451I006237
機械掘削工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	1	m3			SG002 00 施工 第0 -0001号表
取付管路埋戻（防護部含む） A=0,B=0,F=1	39.0	m3			Y451J006238
機械投入埋戻工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	1	m3			SG012 00 施工 第0 -0003号表
クリンカアッシュ（土質改良材） （単位容積重量 1.0 t / m3）	1.26	t			TU360 00
取付管路発生土処理 A=0,B=0,F=1	68.6	m3			Y451K006239
発生土運搬工（4 t 積級、機械積込み） 運搬距離 L = 8.3km バックホウ 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	1	m3			SG017 00 施工 第0 -0022号表
整地 残土受け入れ地での処理	1	m3			SPA109 00 施工 第0 -0008号表
取付管管路土留工 A=0,B=0,F=1					Y32E0005979
建て込み簡易土留 A=0,B=0,F=1	1	式			Y452D005981
建て込み簡易土留 建込工 2.0m以下	26.5	m			SG035 00 施工 第0 -0011号表
建て込み簡易土留 建込工 2.5m以下	7.26	m			SG035 00 施工 第0 -0012号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 引抜工 2.0m以下	26.5	m			SG036 00 施工 第0 -0013号表
たて込み簡易土留 引抜工 2.5m以下	7.26	m			SG036 00 施工 第0 -0014号表
取付管部建込簡易土留（賃料・整備費）	1	式			F0002 00
水替工 A=0,B=0,F=1					Y3200002678
釜場排水 A=0,B=0,F=1	1	式			Y4020
仮設商用電源設置	1	式			F0008 00
ポンプ運転工 据付・撤去工	1	現場			SG081 00 施工 第0 -0023号表
ポンプ運転工 作業時排水 商用電源 1台	16	日			SG080 00 施工 第0 -0024号表
ます設置工 A=0,B=0,F=1					Y32EW006240
ます A=0,B=0,F=1	1	式			Y454H006241
鋳鉄製防護蓋 T8 φ200	4	個			F0004 00
ます設置工（塩化ビニル製） 材工共 ます径200mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	12	箇所			TGS02 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付管布設工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32EX006242
取付管 (3.0~5.0m) A=0,B=0,F=1	8	ヶ所			Y454I006243
取付管布設工および支管取付工 管径 150mm S1(5箇所未満)	1	箇所			SG708 00 施工 第0 -0025号表
取付管 (5.0m以上) A=0,B=0,F=1	4	ヶ所			Y454I006243
取付管布設工および支管取付工 管径 150mm S0(5箇所以上)	1	箇所			SG708 00 施工 第0 -0026号表
付帯工 A=0,B=0,F=1					Y2143006254
舗装撤去工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32EY006255
舗装版切断 A=0,B=0,F=1	501.3	m			Y4485006256
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	1	m			SPD321 00 施工 第0 -0027号表
廃材運搬 (汚泥) A=0,B=0,F=1	3.10	m ³			Y4485006256
側溝清掃車運搬 運搬距離 9.2km	1	m ³			S5200 00 施工 第0 -0028号表
調整データ	1	調整式			#0040 A=0,B=1,C=7

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
廃材処理費（汚泥） 県建設副産物処理料金	1.4	t			F0006 00
舗装版破碎 A=0,B=0,F=1	236.5	m2			Y4486006257
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	1	m2			SPD311 00 施工 第0 -0030号表
殻運搬処理 A=0,B=0,F=1	11.8	m3			Y4448006259
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要)	1	m3			SPA961 00 施工 第0 -0031号表
調整データ	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
アスファルト廃材処理費 県建設副産物処理料金	2.35	t			F0007 00
舗装復旧工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32EZ006264
下層路盤 A=0,B=0,F=1	236.3	m2			Y4438006266
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚200mm 1層施工	1	m2			SPD006 00 施工 第0 -0032号表
上層路盤 A=0,B=0,F=1	236.3	m2			Y4439006267
上層路盤（歩道部） 全仕上り厚170mm 2層施工	1	m2			SPD010 00 施工 第0 -0033号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装復旧工					Y32EZ006264
A=0,B=0,F=1	1	式			
表層					Y443B006269
A=0,B=0,F=1	236.5	m2			
表層（車道・路肩部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚30mm	1	m2			SPD023 00 施工 第0 -0034号表
安全管理費					Y2143006254
A=0,B=0,F=1					
安全管理費					Y32EY006255
A=0,B=0,F=1	1	式			
交通誘導員					Y4485006256
A=0,B=0,F=1	60.0	人			
交通誘導警備員B [0.908]	1	人			R0900 00
直接工事費					
運搬費					Z0004
		式			
仮設材の運搬費 運搬質量 12 t 運搬距離（片道）70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0035号表
仮設材の運搬費 運搬質量 12 t 運搬距離（片道）70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0035号表
仮設材の運搬費 運搬質量 14.6 t 運搬距離（片道）70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0036号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材の運搬費 運搬質量 14.6 t 運搬距離（片道）70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0036号表
仮設材等の積込み、取卸し費 積込み取卸し（往復分）	26.60	t			S0072 00 施工 第0 -0037号表
安全費		式			Z0008
工事名標示板加算額	2	基			S9990 00 施工 第0 -0038号表
技術管理費		式			Z0006
本管カメラ調査 φ200以上φ800未満 下水道管路管理積算資料	220	m			V0003 00 施工 第0 -0039号表
共通仮設費（率）		式			Z0009
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費		式			
工事原価					
一般管理費		式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格						
工事価格	(まるめ)					
消費税等相当額			式			
工事費計						

施 工 内 訳 表

頁0-0014

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械掘削工（バックホウ） SG002 クロー型 山0.28m3（平0.2m3）	100	m3			施工 第0 -0001号表
土木一般世話役 [0.775]	1.900	人			R0010
普通作業員 [0.828]	5.000	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3（平積 0 . 2 m3）	11.100	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 クロー型 山0.28m3（平0.2m3） B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 5					

施 工 内 訳 表

頁0-0015

[illegible]

000000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0016

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械投入埋戻工（バックホウ） SG012 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3）	100	m3			施工 第0 -0003号表
土木一般世話役 [0.775]	2.500	人			R0010
普通作業員 [0.828]	3.800	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 ｸﾛｰﾗ型 山 0 . 2 8 m3（平積 0 . 2 m3）	7.600	h			S8020 施工 第0-0002号表
タンバ締固め	100.000	m3			SPA185 施工 第0-0004号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3） B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 0					

000000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0017

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
タンパ締固め SPA185 標準単価： 1,564.3 機械構成比： 1.24% 労務構成比： 97.05% 材料構成比： 1.71% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0004号表 1 m3	
K2620 タンパ及びランマ 6 0 ~ 8 0 kg		1.24%	TPK2620 タンパ賃料	
R0020 特殊作業員 [0.769]		51.22%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		45.83%	TPR0030 普通作業員	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		1.71%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 全ての費用 B=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 1 4				

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0018

[illegible]

0000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0019

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生土運搬工 SG017 運搬距離 L = 8.3km バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3)	10	m3			施工 第0 -0006号表
ダンプトラック運転 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル4 t 積級	0.800	日			SK506 施工 第0-0007号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=8.3 運搬距離 (km) B=1 ダンプトラック 4 t 積級 C=2 バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3) D=1 D I D 区間無し E=1 良 好					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 3					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0020

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 SK506 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル 4 t 積級	1	日			施工 第0 -0007号表
運転手 (一般) [0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	32.000	L			T0250
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	1.290	供用日			MA302
ダンプトラックタイヤ損耗 4 t 路面状況 良好 【 損料表 】	1.290	供用日			K1013
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 オンロード・ディーゼル 4 t 積級 B=1 補正なし C=1 タイヤの損耗状態 良好 D=1 運転労務数量 E=32 燃料消費量					
F=1.29 機械損料数量					

00000000000

南相馬市

金抜き

頁0-0021

標準單價： 機械構成比： 勞務構成比： 材料構成比： 市場單價構成比：

000000000000	南相馬市	金抜き
--------------	------	-----

施 工 内 訳 表

頁0-0022

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 SG702 呼び径 200mm S0(20m以上)	1	m			施工 第0 -0009号表
リブ付硬質塩化ビニル管設置 材工共 呼び径 200mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	m			TGC12
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 呼び径 200mm B=1 S0(20m以上) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 0					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
砕石基礎工 SG704 機械施工 S0(10m3以上)	1	m3			施工 第0 -0010号表
砕石基礎設置 手間のみ 機械施工 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1.000	m 3			TGD12
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 機械施工 B=2 S0(10m3以上) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 2					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0023

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 建込工 SG035 2 . 0 m以下	10	m			施工 第0 -0011号表
土木一般世話役 [0.775]	0.200	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.200	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.400	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	1.100	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 B=1 2 . 0 m以下 下水道標準歩掛 第 1 巻 A - 1 - 2 7					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0024

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 建込工 SG035 2 . 5 m以下	10	m			施工 第0 -0012号表
土木一般世話役 [0.775]	0.230	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.230	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.470	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	1.300	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 B=1 2 . 5 m以下 下水道標準歩掛 第 1 巻 A - 1 - 2 7					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0025

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 引抜き工 SG036 2 . 0 m以下	10	m			施工 第0 -0013号表
土木一般世話役 [0.775]	0.120	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.120	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.230	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t吊	0.120	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 B=1 2 . 0 m以下 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 7					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0026

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 引抜工 SG036 2 . 5 m以下	10	m			施工 第0 -0014号表
土木一般世話役 [0.775]	0.140	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.140	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.270	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型 4.9t吊	0.140	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 B=1 2 . 5 m以下 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 7					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0027

[illegible]

000000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0028

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 無筋・鉄筋構造物 標準単価： 28,051 機械構成比： 0.00%	人力打設 0.00%	29.40%	施工 第0 -0016号表 1 材料構成比： 70.60%	m3 0.00%
R0030 普通作業員 [0.828]		13.20%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		7.51%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		6.69%	TPR0010 土木一般世話役	
T8600 生コンクリート 18 - 8 - 40 - 60%		70.60%	TPTC618 生コンクリート 24 - 12 - 25 高炉 W / C 55%	
*** 単位当たり ***				
A=1 無筋・鉄筋構造物 B=4 人力打設 E=2 一般養生 G=2 現場内小運搬なし K=2 高炉				
L=13 18 - 8 - 40 - 60% M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 - 4 - - 4				

00000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0029

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
モルタル練 SPB405 セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 標準単価： 94,888			施工 第0 -0017号表 1	m3
標準単価： 94,888 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 83.30% 材料構成比： 16.70% 市場単価構成比： 0.00%				
R0030 普通作業員 [0.828]		55.43%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		27.71%	TPR0010 土木一般世話役	
T0010 セメント 普通ポルトランド(袋物)25kg/袋		11.28%	TPT0016 セメント(高炉B) 25kg袋入	
T8300 コンクリート用骨材 砂(洗)		5.42%	TPT8300 コンクリート用骨材 砂 細目(洗い)	
*** 単位当たり ***				
B=3 C=1 D=1	セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 全ての費用 土木工事標準積算基準	- 4 - - 8		

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0030

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル上塗り V0001 t=20mm	1	m ²			施工 第0 -0018号表 特単単価適用日：07年06月15日
左官 [0.835]	0.33	人			R0290
普通作業員 [0.828]	0.33	人			R0030
*** 単位当たり ***	1	m ²			
*****					*****
砕石基礎工 V0002 RC40	1	m ³			施工 第0 -0019号表 特単単価適用日：07年06月15日
砕石基礎工 人力施工 なし(人力施工)	1	m ³			SG704 施工 第0-0020号表
再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC - 40	1.2	m ³			T8454
*** 単位当たり ***	1	m ³			

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0031

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
碎石基礎工 SG704 人力施工 なし(人力施工)	1	m3			施工 第0 -0020号表
碎石基礎設置 手間のみ 人力施工 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1.000	m 3			TGD11
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 人力施工 B=1 なし(人力施工) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 2					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
小型マンホール設置工 SG706 マンホール径 300mm 起点及び中間形式 深さ2.0m以下 本管径150mm及び200mm	1	箇所			施工 第0 -0021号表
小型マンホール工(塩化ビニル製)起点・中間 材工共 深さ2.0m以下 本管径150mm～200mm マンホール径300mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	箇所			TGN01
鋳鉄製防護蓋設置費 手間のみ(小型マンホール工) 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	個			TG777
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 マンホール径 300mm 起点及び中間形式 B=1 深さ2.0m以下 C=1 本管径150mm及び200mm D=2 S1(5箇所未満) E=2 時間的制約を受けない					
F=2 夜間作業 無 G=1 防護蓋設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 2 - 1 1					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0032

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生土運搬工 (4 t 積級、機械積込み) SG017 運搬距離 L = 8.3km バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3)	10	m3			施工 第0 -0022号表
ダンプトラック運転 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル 4 t 積級	0.800	日			SK506 施工 第0-0007号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=8.3 運搬距離 (km) B=1 ダンプトラック 4 t 積級 C=2 バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3) D=1 D I D 区間無し E=1 良 好					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 3					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
ポンプ運転工 据付・撤去工 SG081	1	現場			施工 第0 -0023号表
普通作業員 [0.828]	0.080	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 6 6					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0033

[illegible]

000000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0034

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付管布設工および支管取付工 SG708 管径 150mm S1(5箇所未満)	1	箇所			施工 第0 -0025号表
取付管布設工および支管取付工 材工共 管径150mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	箇所			TGT03
可とう性支管設置費加算額 管径150mm	1.000	箇所			TGT13
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 管径 150mm B=2 S1(5箇所未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=4 取付管長 (m)					
F=2 本管材質がコンクリート製 (補正無) G=1 可とう性支管設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第 1 巻 A - 4 - 4					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0035

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付管布設工および支管取付工 SG708 管径 150mm S0(5箇所以上)	1	箇所			施工 第0 -0026号表
取付管布設工および支管取付工 材工共 管径150mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	箇所			TGT03
可とう性支管設置費加算額 管径150mm	1.000	箇所			TGT13
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 管径 150mm B=1 S0(5箇所以上) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=5.1 取付管長 (m)					
F=2 本管材質がコンクリート製 (補正無) G=1 可とう性支管設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第 1 巻 A - 4 - 4					

00000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0036

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 673.26 機械構成比： 15.42% 労務構成比： 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00%	15cm以下		施工 第0 -0027号表 1	m
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.49%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.60%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.55%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		8.73%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45cm (18インチ)		23.29%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 3 - 1				

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0037

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 S5200 運搬距離 9.2km	100	m3			施工 第0 -0028号表
普通作業員 [0.828]	10.417	人			R0030 100/9.6
側溝清掃車運転 機 - 1 9 フロワ式 9 . 0 m 3	10.417	日			SK921 100/9.6 施工 第0-0029号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=9.2 運搬距離 (km) C=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0038

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運転 SK921 機 - 1 9 ブロワ式 9 . 0 m 3	1	日			施工 第0 -0029号表
運転手 (一般) [0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	84.000	L			T0250
側溝清掃車 [ブロワ式]	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 ブロワ式 9 . 0 m 3 B=1 運転労務数量 C=84 燃料消費量 D=1 機械損料数量					

00000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0039

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破碎 SPD311 アスファルト舗装版 標準単価： 590.65 機械構成比： 31.76% 労務構成比： 62.64% 材料構成比： 5.60% 市場単価構成比： 0.00%	障害等なし		施工 第0 -0030号表 1 m2	
MC345 コンクリート圧砕装置 [大割機]		21.93%	TPMC345 コンクリート圧砕装置 [大割機]	
KQ049 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		9.83%	TPKQ049 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		28.07%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0.828]		24.15%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.42%	TPR0010 土木一般世話役	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		5.60%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
* * * 単位当たり * * *				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 障害等なし C=2 騒音振動対策必要 D=1 15cm以下 F=1 積込作業あり				
G=1 全ての費用 H=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2				

00000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0040

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 舗装版破碎 標準単価： 1,793.4 機械構成比： 44.95% 労務構成比： 38.97% 材料構成比： 16.08% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0031号表 1 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要)	m3
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		44.95%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.793]		38.97%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		16.08%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
* * * 単位当たり * * *				
A=3 舗装版破碎 B=2 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要) C=1 DID区間なし D=16 6.0km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - 2 5 - 1				

00000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0041

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤 (歩道部) SPD006 全仕上り厚200mm 標準単価： 784.89 機械構成比： 5.62% 労務構成比： 72.88% 材料構成比： 21.50% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0032号表 1 m2	
K9220 小型バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 1 1 m3 (平積 0 . 0 8 m3)		2.91%	TPK9220 小型バックホウ [クローラ型] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパインド型) 3 - 4 t		2.55%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンパインド型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		30.50%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		26.32%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		13.94%	TPR0020 特殊作業員	
T8454 再生骨材 (骨材) クラッシャラン R C - 4 0		19.41%	TPT8454 再生クラッシャラン R C - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		2.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=200 全仕上り厚(mm) B=1 1層施工 D=2 再生クラッシャラン R C - 4 0 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 5				

00000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0042

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
上層路盤 (歩道部) SPD010 全仕上り厚170mm 標準単価： 1,804.7 機械構成比： 4.89% 労務構成比： 63.39% 材料構成比： 31.72% 市場単価構成比： 0.00%	2層施工		施工 第0 -0033号表 1 m2	
K9220 小型バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 1 1 m3 (平積 0 . 0 8 m3)		2.53%	TPK9220 小型バックホウ [クローラ型] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパインド型) 3 - 4 t		2.22%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンパインド型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		26.53%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		22.89%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		12.13%	TPR0020 特殊作業員	
T8344 粒度調整砕石 M - 4 0 4 0 ~ 0 mm		29.90%	TPT8346 再生粒度調整砕石 R M - 3 0	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.77%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=170 全仕上り厚(mm) B=2 2層施工 D=3 粒度調整砕石 M - 4 0 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準	- 1 -	- 1 1		

00000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0043

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層（車道・路肩部） SPD023 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価： 2,852.9 機械構成比： 0.43% 労務構成比： 42.30% 材料構成比： 57.27% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚30mm		施工 第0 -0034号表 1	m2
MC246 振動ローラ [舗装用・ハンドガイド式]		0.24%	TPMC246 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	
MC274 振動コンパクタ [前進型]		0.13%	TPMC274 振動コンパクタ [前進型]	
R0020 特殊作業員 [0.769]		18.71%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		13.40%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		4.05%	TPR0010 土木一般世話役	
T8420 再生材アスファルト合材 密粒度 (1 3) 最大粒径 1 3 mm		52.51%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度 (2 0)	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		4.54%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.16%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

00000000000

南相馬市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0044

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

0000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0045

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材の運搬費 S0070 運搬質量 12 t 運搬距離 (片道) 70km	1	式			施工 第0 -0035号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=70 運搬距離 (片道距離: km) B=1 製品長 1 2 m以内 C=12 運搬質量 (t) D=0 運賃割増率 (F 1 ~ F 2) E=					
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 6					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
仮設材の運搬費 S0070 運搬質量 14.6 t 運搬距離 (片道) 70km	1	式			施工 第0 -0036号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=70 運搬距離 (片道距離: km) B=1 製品長 1 2 m以内 C=14.6 運搬質量 (t) D=0 運賃割増率 (F 1 ~ F 2) E=					
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 6					

施 工 内 訳 表

頁0-0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等の積込み、取卸し費 S0072 積込み取卸し（往復分）	1	t			施工 第0 -0037号表
仮設材の積込み、取卸し費	1.000	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=4 積込み取卸し（往復分） B=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 7					

工事名標示板加算額 S9990	1	基			施工 第0 -0038号表
工事名標示板加算額 （木材使用・据付撤去含む）	1.000	基			T9940
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 2 4					

00000000000

南相馬市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0047

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本管カメラ調査 V0003 φ200以上φ800未満 下水道管路管理積算資料	280	m			施工 第0 -0039号表 特単単価適用日：07年06月15日
測量技師 (外業) [5 5 %]	1	人			R1020
測量技師補 (外業) [5 5 %]	1	人			R1030
測量助手 (外業) [5 5 %]	1	人			R1040
交通誘導警備員B [0.908]	1	人			R0900
運転手 (一般) [0.793]	1	人			R0130
本管テレビカメラ搭載車損料 展開図化式、小中口径管 建設機械損料表 (日本建設機械施工協会)	6	時			F0010
*** 合 計 ***	280	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

00000000000

南相馬市

金抜き

登録単価一覧表

頁0-0048

単価コード	単価名称・規格1・規格2	単位	単価	管理費区分
F0003	マンホール可とう継手 リブ管φ200用（県農林単価）	個		全間接費対象額
F0005	マンホール可とう継手 VU管φ150（県農林単価）	個		全間接費対象額
F0001	管路部建込簡易土留（賃料・整備費）	式		全間接費対象額
F0002	取付管部建込簡易土留（賃料・整備費）	式		全間接費対象額
F0008	仮設商用電源設置	式		全間接費対象額
F0004	鋳鉄製防護蓋 T8 φ200	個		全間接費対象額
F0006	廃材処理費（汚泥） 県建設副産物処理料金	t		直接工事費内の処分費
F0007	アスファルト廃材処理費 県建設副産物処理料金	t		直接工事費内の処分費

特 記 仕 様 書

工 事 名 : 原町区下水管渠築造第 2 工区工事

工事施工箇所 : 南相馬市原町区上洪佐字原田 地内

1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和 7 年 6 月 1 日改正）」に基づき実施しなければならない。

2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、☒としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

- ・第 4 章 情報共有システム・遠隔臨場
- ・第 5 章 労働者確保に関する積算方法の試行工事
- ・第 6 章 快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）
- ・第 7 章 週休 2 日確保モデル工事等
- ・第 8 章 建設キャリアアップシステム活用工事
- ・第 9 章 ふくしま M E 資格取得者の現場活用
- ・第 2 3 章 法定外の労災保険の付保
- ・第 2 4 章 異常気象時における現場状況の報告
- ・第 2 5 章 再生資源利用計画書
- ・第 2 6 章 再生資源利用促進計画書
- ・第 2 9 章 その他

3 第 2 章～第 6 章、第 1 5 章～第 2 2 章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

福島県ホームページ>組織でさがす>技術管理課>特記仕様書

4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
位置図	1	1	
平面図・縦断図	2 ～ 4	3	
横断図	5 ～ 7	3	
本管土工図	8	1	
取付管土工図	9	1	
建込簡易土留工図	1 0	1	
1 号・小型マンホール標準図	1 1	1	

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
取付管標準図	1 2	1	
計	全 1 2 葉		

- 6 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。
- 7 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。
- 8 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）」（福島県土木部）を活用すること。
技術管理課ホームページ参照

南相馬市

☑第 1 章 一般共通事項

- ☑ 1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡を取り、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|------------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 5) その他 (埋蔵文化財包蔵地・上渋佐原田遺跡) | ☒ 有 | ・ | ☐ 無 |

南相馬市文化財課への届出を必要とし、工事実施時に文化財課の立会が必要

- ☑ 2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第 5 章 埋設物 (共通仕様書 土木工事編) 」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- ☐ 3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 ☐有 ・ ☒無

有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

- ☐ 4 河道掘削に伴う工事測量

河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。

☐第 2 章 フレックス工事

(詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。

☐第 3 章 準備期間確保工事

(詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間 (○○日間) 内に着工日を任意に設定できる工事である。

第 4 章 情報共有システム、遠隔臨場

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと)

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

第 5 章 労働者確保に関する積算方法の試行工事

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと)

□ 1 労働者確保に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：_____ %

現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：_____ %

□ 2 労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用）の割合：_____ %

現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：_____ %

第 6 章 快適トイレの設置

（本章は災害復旧工事を除くすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。

設置の可否については、現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。

第 7 章 週休 2 日確保モデル工事等

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、「福島県土木部週休 2 日等工事試行要領」に定める工事のうち、☒として
いる箇所の対象工事である。

☒「週休 2 日確保モデル工事（発注者指定型）」 ☒月単位 ☐通 期

☐「週休 2 日確保交替制工事（発注者指定型）」 ☐月単位 ☐通 期

☐「完全週休 2 日モデル工事（発注者指定型）」

なお、「週休 2 日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休 2 日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「月単位の 4 週 8 休以上」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休 2 日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

第 8 章 建設キャリアアップシステム活用工事

（本章はすべての工事に該当する）

1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。

2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

（なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照）

第 9 章 ふくしま ME (メンテナンスエキスパート) 資格取得者の現場活用

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

☒ 第 10 章 総 則

☒ 1 施工計画書

工程管理はバーチャート又はネットワークにより行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」
(技術管理課ホームページ参照) を参考にすることができる。

☐ 2 工事用地等の使用

☐ 1) _____ 作業に係るヤードとして、別添「 _____ 図」によ
る土地を使用すること。(土地の使用は可能である。)

☐ 2) 使用にあたっての条件、制限等

☒ 3 近接工事：有り

1) 工 事 名： 原町区下水管渠築造第 1 工区工事

2) 施工箇所： 南相馬市原町区上渋佐字原田 地内

4) 注意・指示事項： 連絡を常に取り、互いに工事に支障をきたさない配慮する事。

☐ 4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目： _____ 数量： _____

引渡時期： _____

引渡場所： _____

☐ 5 工事現場発生品

1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目： _____

引渡時期： _____

引渡場所： _____

2) 従来施設の撤去により発生した _____ は、 _____ 材料として再
使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければな
らない。

☒ 6 建設副産物処理

☐ 1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

- ☑ 2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設
アスファルト合材	(再資源化・ 中間 ・最終)施設へ搬入	加藤道路(株)
汚泥	(再資源化・ 中間 ・最終)施設へ搬入	(株)モンマ
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	

積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□ 7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事（工種）の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、～ に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	
不可視部の工事 (工種)で 2) に 示すもの	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・ 鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2) に示す工事 (工種)
工期が 1 年以上 となる工事。	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 協議による。	
その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 製作、仮組みが完了した時。 ・ その他、発注者の指示による。	3) に示す工事 (工種)

注 1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

- 2) 不可視部の工事（工種）とは次のものとする。

- 杭基礎、□場所打杭、□深礎杭、□ケーソン基礎、□地盤改良
□捨石均し、□被覆・根固め均し、□井筒潜函基礎、□山腹基礎床掘
□上層路盤（1,000m²以上の工事）

- ☐現場打ちのボックスカルバート、擁壁（鉄筋 Co）
☐橋台・橋脚、☐現場制作 P C 橋、☐床版
☐水門・樋門
☐ブロック製作、ケーソン製作
☐覆工 Co の前段工事
☐その他【 】

3) その他、発注者が必要とする工種(工事)とは次のものとする。

- ☐桁の仮組立
- ☐水門扉、☐可動堰、☐スノーシェッド、☐ポンプ施設、☐除塵機、☐棧橋
- ☐堰堤（Co、盛土）
- ☐堰（工場制作）、ラバーダム
- ☐地盤変動等の影響が予想される掘削
- ☐仮橋、路面覆工（一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの）
- ☐仮堤防（本堤防と同等の機能を求める仮堤防）
- ☐その他【 】

☒ 8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備 考
資材検収(寸法、数量等)	各種資材	検収時	
土留設置(深さ、幅、建込状況)	スパンにつき1箇所	土留設置完了時	
土工・掘削(深さ、幅、床付け状況)	スパンにつき1箇所	掘削完了時	
基礎工・砕石基礎(厚さ、幅)	スパンにつき1箇所	砕石基礎完了時	
本管布設工(管底高、中心線の偏位)	スパンにつき1箇所	本管布設完了時	
取付管布設工(支管取付状況)	スパンにつき1箇所	取付管布設完了時	
土工・埋戻(基準高(下がり)、幅)	スパンにつき1箇所		
下層路盤工 (基準高(下がり)、厚さ、幅)	スパンにつき1箇所	下層路盤完了時	
上層路盤工 (基準高(下がり)、厚さ、幅)	スパンにつき1箇所	上層路盤完了時	
マンホール設置工 (深さ、天端高、可とう継手取付状況)	マンホール毎	マンホール設置完了時	
本管カメラ調査	全スパン	工事完成時	

☒ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

☒ 1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所
本管布設工	管底高、中心線の偏位	本管 1 本につき 1 回	

□ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

☑ 3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度
取付管布設工	支管取付状況	1 箇所につき 1 回	1 箇所毎
取付管布設工	取付管布設状況	1 箇所につき 1 回	1 箇所毎
取付管布設工	管延長測定状況	1 箇所につき 1 回	1 箇所毎

□ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編」の「品質管理基準及び規格値」における「1 セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢 28 日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要

☑ 11 用地取得及び支障物件

□ 1) 工事区域内の用地確保 (□ 済 ・ □ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 _____ 年 _____ 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

☑ 2) 工事支障物件 : □ 有 ・ ☑ 無

【支障物件移転予定時期】 _____ 年 _____ 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

☑ 12 工事の履行報告 (工程会議)

工事着工後、履行状況については、当月末に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

☑ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は起終点に 2 人 配置するものとし、取付管施工時を含め 60 人 を配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☑ 14 作業工程

1) 全ての作業は、昼間作業とし、時間帯は 8 時 ~ 17 時までとする。

2) 現道の使用規制について

現道は、片側交互通行及び通行止めにより本工事を施工するものとする

☒ 15 仮設

☒ 1) 指定仮設の有無 ☒ 有

☒ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考
建込簡易土留	H = 2.00m	建込簡易土留工図	
建込簡易土留	H = 2.50m	建込簡易土留工図	

☐ 3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名： _____ 数量等： _____

存置期間： _____

☐ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計上費目	実施する項目数	実施する内容 (率 計 上 分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	用水・電力等の供給設備 緑化・花壇 ライトアップ施設 見学路及び椅子の設置 昇降設備の充実 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) 労働者宿舍の快適化 デザインボックス (交通誘導警備員待機室) 現場休憩所の快適化 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	工事標識・照明等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) 盗難防止対策 (警報器等) 避暑 (熱中症予防) ・防寒対策
地域連携	()	完成予想図 工法説明図 工事工程表 デザイン工事看板 (各工事 P R 看板含む) 見学会等の開催 (イベント等の実施含む) 見学所 (インフォメーションセンター) の設置及び管理運営 パンフレット・工法説明ビデオ 地域対策費 (地域行事等の経費を含む) 社会貢献

☒ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 2 基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

本工事は、「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（六価クロム溶出試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

（タンクリーチング試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

☑第 1 1 章 材 料

☑ 1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□ 1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

☑ 2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考
再生骨材	RC-40	基礎工、下層路盤工	
再生アスファルト材	密粒度 As13	表層工	

再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離 4 0 km の範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□ 2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験()

				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

- 3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

☑第 1 2 章 一 般 施 工

☑ 1 建設発生土の処理

- ☑ 1) 他工事への流用 : ☑ 無

工事名 : _____ 路河川名 : _____
 施工場所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内
 運搬距離 _____ km

- ☑ 2) 発生処理 (493.3m³)

受入場所 : 南相馬市鹿島区南右田 字二ツ沼 地内

運搬距離 8.3 km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法(開発許可)、森林法(林地開発)、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法(改正宅地造成等規制法)などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

☑ 2 他工事からの流用土

- ☑ 1) 他工事からの流用 : ☑ 無

工事名 : _____ 路河川名 : _____
 指定・施工場所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内
 運搬の有無 : □ 有 ・ □ 無 (_____ km)
 品 質 : _____
 品質の確認試験(_____)については、 _____ で実施

☑ 3 レディーミクストコンクリートの養生

- 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	☑ 普通ポルトランドセメント
	☒ 高炉セメント B 種 ¹⁾ ☐ 混合セメント B 種 ☐ フライアッシュセメント B 種 ☐ シリカセメント B 種
	☐ 早強ポルトランドセメント
気象条件	☐ 暑中コンクリート(日平均気温が 25 を超える場合)
	☐ 寒中コンクリート(日平均気温が 4 以下になる場合) 構造物の露出状態 ☐ 連続して、あるいはしばしば水で飽和される部分 ²⁾ ☐ 普通の露出状態

- 1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

- 2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される

□ 第 13 章 その他施工

□ 1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

□ 2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□ 3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

- 4 ポリマー改質 型アスファルト混合物の使用 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質 型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質 型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートルにつき回)	該当欄
第 1 種、第 2 種	3,000 以上	3,000	
第 3 種第 1 級及び第 2 級	3,000 未満		
第 4 種第 1 級		1,500	
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

- 5 植栽工 植栽に係る直接工事費が 50 万円以上となる工事の場合に記載
本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。
また、工事完成届提出時までに、植樹保険付保証明書を出さなければならない。

- 6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第 1 4 章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編」第 1 編第 1 章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針のノ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

- 1 工事を行う基本方針（指針 P 1 3）

基本方針 1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- 右利き、左利きに対応した施設

- ☐ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ☐ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ☐ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ☐ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ☐ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ☐ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ☐ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ☐ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ☐ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ☐ プライバシーに配慮された施設
- ☐ 天候や季節に左右されない施設
- ☐ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針 2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ☐ 使い方を直感的に理解できる施設
- ☐ 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ☐ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針 3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ☐ 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ☐ 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ☐ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ☐ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ☐ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ☐ 危険な部分が防護されている施設
- ☐ 四季を通じて安全な施設
- ☐ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針 4 さりげなく 美しい 施設

- ☐ 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ☐ 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ☐ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ☐ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針 5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ☐ できる限り同じ手段で利用できる施設
- ☐ 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ☐ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ☐ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ☐ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

☐ 2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

□第 1 5 章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路構造物の記録保存資料
- 2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路舗装構成等の記録保存資料

□第 1 6 章 1 日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が 1 日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1 日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

□第 1 7 章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：○○工区（施工箇所○○、○○）、 工区（施工箇所○○）、
□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）
（なお、積算上の親工区は、 工区（施工箇所○○）とする。）

□第 1 8 章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第 1 9 章 ICT 活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事の発注方式は（ □受注者希望型 ・ □発注者指定型 ）である。
- 2 ICT 活用工事（土工）
本工事は、「福島県土木部 ICT 活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT 活用工事（土工）」の対象工事である。
- 3 ICT 活用工事（舗装工）
本工事は、「福島県土木部 ICT 活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT 活用工事（舗装工）」の対象工事である。
- 4 ICT 活用工事（浚渫工（港湾））

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（浚渫工（港湾））実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（浚渫工（港湾））」の対象工事である。

□ 5 ＩＣＴ活用工事（土工 1,000m³未満）

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（土工 1,000m³未満）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（土工 1,000m³未満）」の対象工事である。

□ 6 ＩＣＴ活用工事（小規模土工）

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（小規模土工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（小規模土工）」の対象工事である。

☑第20章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について
(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

□第21章 「総合評価方式（標準型・簡易型）における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について
(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

☑第22章 熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定
(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

）作業不能日数：7日間

）上記 ）は、環境省が公表する東北地方福島（相馬）地点における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去5年分（令和2年～6年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3日）を除く。）において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したもの5年分を平均したものの。

）気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方福島（相馬）地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））が ）の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

第23章 法定外の労災保険の付保

(本章はすべての工事に該当する)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第 2 4 章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

(2) 震度 5 弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度 5 弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度 4 の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。

休工中であれば、必要に応じ 2 名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。

天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。

危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2 次災害防止に努める。

警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。

地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。

異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、F A X 又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後 1 時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度 5 弱以上の地震時

地震発生後 1 時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

工事名		工第〇〇 - 4 1 3 0 0 - 〇 〇 〇 〇 号 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 工事	
場 所		市 地内	
請負者		〇 〇 〇 〇 〇 (株)	
現場代理人		〇 〇 〇 〇	
点検日時		開 始	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
(24時間表示)		終 了	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
点検項目		異常の有無	
○現場内の状況			
・ 法面の崩壊		無し	
・ 法面の亀裂		有り (延長00m、法長00m)	
・ 法面からの湧水		無し	
・ 路面の陥没		無し	
・ 仮設の設置状況		無し	
・ 工事名看板、規制看板の設置状況		無し	
・ 架空線の切断、電柱の転倒等		無し	
・ 河川、水路の水位の上昇状況		無し	
・ 土石流の発生		無し	
・ 地すべりの発生		無し	
○現場周辺の状況			
・ 法面の状況		無し	
・ 路面の状況		無し	
・ 流末排水の状況		無し	
・ 雨量計の読み取り		000 mm	
・ 土石流危険渓流の状況		無し	
・ 砂防指定地の状況		無し	
・ 急傾斜地崩壊危険区域の状況		無し	
・ 地すべり危険区域の状況		無し	
・ その他異常の有無		無し	
処置内容			
・ No . 0 ~ No . 1 0 左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。			

第 2 5 章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第 2 6 章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

- 1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

- 2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料（確認結果の現場掲示例 技術管理課ホームページ参照）として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書（ 技術管理課ホームページ参照 ）の交付を求め、その写しを 5 年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第 9 条の規定によるものとする。（ 試行要領は技術管理課ホームページ参照 ）
- 4 受注者は、土壤汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果（確認結果の現場掲示例 技術管理課ホームページ参照）を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

□第 2 7 章 三者協議

本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。

□第 2 8 章 国土強靱化事業の取組に関する広報

本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。

記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。

工事名標示板のイメージ（例）

ご協力をお願いします	
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています	
いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事	
令和〇年〇月〇日まで 時間帯〇:〇〇～〇:〇〇	
河川(交付)工事(開削)	
発注者	福島県〇〇建設事務所 〇〇課
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
電話	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

☑第29章 その他

工事完成後に本管カメラ調査を監督員立会のもと実施し、本管内部及び取付管接続部の状況について動画及び写真撮影を行い、適正に施工されていること確認し、発注者へ調査報告書を提出すること。なお、本管カメラ調査にかかる費用は、共通仮設費の技術管理費に積上げ計上している。

数 量 総 括 表 (2工区)

工種	種別	形状・寸法	9069	9071-1	9060		単位	合計
本管土工	機械掘削工	BH0.10					m ³	
		BH0.20	107.45	108.76	208.50		m ³	424.71
		BH0.35					m ³	
	機械埋戻工 (C - 40)	BH0.10					m ³	
		BH0.20	54.77	60.62	105.87		m ³	221.26
		BH0.35					m ³	
	埋戻工 (管廻 + 機械)							94.58
	砕石基礎工 (管廻り防護部)	機械施工 (RC-40)	24.49	22.38	47.71		m ³	94.58
	砕石基礎工 (管基礎部)	機械施工 (RC-40)	6.99	6.39	13.62		m ³	27.00
	残土運搬工 (L=8.3km)	BH0.10					m ³	
		BH0.20	107.45	108.76	208.50		m ³	424.71
		BH0.35					m ³	
本管布設工	路線延長	PRP φ 200	58.00	53.00	113.00		m	224.00
	管体延長 (管布設工)	PRP φ 200	57.10	52.10	110.87		m	220.07
本管布設工	マンホール用可とう継手	PRP φ 200	2	2	5		個	9
		VU φ 150		1			個	1
参考数量	硬質塩化ビニル管							
	ゴム輪受口片受け直管	PRP φ 200	(14.30)	(13.00)	(27.60)		本	(54.90)
(市場単価 -								
管布設工に含む)	自在継手	PRP φ 200 塩ビ製小型人孔用			(2)		個	(2)
		本管+取付管						163.48
本管土工	建込簡易土工	H=2.00 W=0.90 BH0.20	58.00		79.00		m	137.00
		本管+取付管						94.26
		H=2.50 W=0.90 BH0.20		53.00	34.00		m	87.00
		H=3.00 W=0.90 BH0.20					m	
本管		本管+取付管						501.32
路面仮復旧工	AS舗装切断工	t 15cm	116.00	106.00	226.00		m	448.00
		15 < t 30cm					m	
		本管+取付管						236.54
	AS舗装取壊工	t 10cm	55.10	50.35	107.35		m ²	212.80
		10 < t 15cm					m ²	
		本管+取付管						11.83
	ASガラ運搬工 (5.6km)		2.76	2.52	5.37		m ³	10.65
		本管+取付管						27.78
	ASガラ処理工		6.47	5.92	12.62		t	25.01
	上層路盤工 M-40	t=100					m ²	
		t=150					m ²	
		本管+取付管						236.27
		t=170	55.10	50.35	107.35		m ²	212.80
	下層路盤工 RC-40	t=100					m ²	
		t=150					m ²	

数 量 総 括 表 (2工区)

工種	種別	形状・寸法	9069	9071-1	9060		単位	合計
本管		本管+取付管						236.27
路面仮復旧工	下層路盤工 RC-40	t=200	55.10	50.35	107.35		m ²	212.80
		本管+取付管						236.54
	仮復旧工	t=30 再生密粒度AS13	55.10	50.35	107.35		m ²	212.80
		t=50 再生密粒度AS20					m ²	
塩ビ製								
小型マンホ-ル工	鋳鉄製防護蓋(台座付)	φ300 T-25			1		組	1
φ300								
		φ300 T-14					組	
	鋳鉄製防護蓋設置工	φ300			1		箇所	1
	塩ビ製小型マンホ-ル設置工							
	(起点及び中間点)	200-300 H 2.0					箇所	1
	(深度別据付数)	200-300 H 2.0			(1)		箇所	(1)
		200-300 2.0<H 3.5					箇所	
	(総人孔深)				(1.86)		m	(1.86)
	(平均人孔深)						m	(1.86)
参考数量								
(市場単価 -								
マンホ-ル設置工を含む)	内蓋	φ300			1		個	(1)
組立式								
1号マンホ-ル工	底板	種 H=130	1	1	2		個	4
φ900								
		種 H=130					個	
	管取付壁	種 H=600					個	
		種 H=900					個	
		種 H=1200					個	
	底塊	種 H=600 標準	1	1	2		個	4
		種 H=600 副管用					個	
	インバート工		1	1	2		個	4
	直壁	種 H=300					個	
		種 H=600	1		2		個	3
		種 H=900					個	
		種 H=1200		1			個	1
	斜壁(900×600)	種 H=300					個	
		種 H=450		1			個	1
		種 H=600	1		2		個	3
	床版(900×600)	種 H=150					個	
	調整リング(φ600)	種 H=50	1		1		個	2
		種 H=100			1		個	1
		種 H=150		1			個	1

数 量 総 括 表 (2工区)

工種	種別	形状・寸法	9069	9071-1	9060		単位	合計
組立式								
1号マンホール工	調整金具	25mm	1		1		個	2
φ900		45mm		1	1		個	2
	鉄蓋及び受枠(φ600)	T-25	1	1	2		組	4
		T-14					組	
	底部工		1	1	2		箇所	4
	ブロック据付工	H 3.0					箇所	
	(深度別据付数)	H 3.0	(1)	(1)	(2)		箇所	(4)
		3.0<H 4.0					箇所	
	(総人孔深)		(1.86)	(2.43)	(3.79)		m	(8.08)
	(平均人孔深)						m	
	削孔工	VUφ100					箇所	
		VUφ150		1			箇所	1
		VUφ200					箇所	
		PRPφ200	2	2	5		箇所	9
取付管土工	機械掘削工	BH0.10					m ³	
		BH0.20	11.50	15.36	41.69		m ³	68.55
		BH0.35					m ³	
	機械埋戻工(クリンカ)	BH0.10					m ³	
		BH0.20	5.60	10.42	22.99		m ³	39.01
		BH0.35					m ³	
	残土運搬工(L=8.3km)	BH0.10					m ³	
		BH0.20	11.50	15.36	41.69		m ³	68.55
		BH0.35					m ³	
参考数量	基礎工(管廻り防護部)	機械施工(クリンカ)	(2.98)	(2.74)	(10.08)		m ³	(15.80)
(市場単価・取付								
管布設工を含む)	基礎工(管基礎部)	機械施工(クリンカ)	(0.84)	(0.80)	(2.86)		m ³	(4.50)

数 量 総 括 表 (2工区)

工種	種別	形状・寸法	9069	9071-1	9060		単位	合計
取付管土留工	建込簡易土留工	H=2.00 W=0.90 BH0.20	4.93		21.55		m	26.48
		H=2.50 W=0.90 BH0.20		7.26			m	7.26
		H=3.00 W=0.90 BH0.20					m	
取付管及び 汚水樹工	鋳鉄製防護蓋	T-8 φ200		1	3		組	4
		T-8 φ300					組	
	鋳鉄製防護蓋設置工			1	3		箇所	4
取付管及び 汚水樹工	塩ビ製汚水樹設置工	φ200	2	2	8		箇所	12
		φ300					箇所	
	プレ-ンエンド直管 (不足材料)	VU φ200					本	
		VU φ300					本	
	(総汚水樹深)	φ200	(1.70)	(2.30)	(7.00)		m	(11.00)
		φ300					m	
	(平均汚水樹深)	φ200					m	(0.92)
		φ300					m	
	取付管布設工 及び支管取付工	φ150 L<3.00					箇所	
		φ150 3.00 L<5.00					箇所	12
	(取付延長毎箇所)	φ150 L<3.00					箇所	
		φ150 3.00 L<5.00	(1)	(2)	(5)		箇所	(8)
		φ150 5.00 L	(1)		(3)		箇所	(4)
	(総取付管延長)	φ150	(10.30)	(8.20)	(32.90)		m	(51.40)
	(平均取付管延長)	φ150					m	(4.28)
取付管及び 汚水樹工	鋳鉄製防護蓋	T-8 φ200		1	3		組	(4)
参考数量		T-8 φ300					組	
	内蓋	φ200		1	3		個	(4)
		φ300					個	
	塩ビ製蓋	T-2 φ200	(2)	1	5		個	(8)
		T-2 φ300					個	
	ストレート樹 (三方向流入 ゴム輪受口)	100×150-200					個	
		100×150-300					個	
	ドロップ樹 (三方向流入 ゴム輪受口)	100×150-200	(2)	(2.00)	(8.00)		個	(12)
		100×150-300					個	

数 量 総 括 表 (2工区)

工種	種別	形状・寸法	9069	9071-1	9060		単位	合計
取付管及び								
汚水樹工	90°自在曲管	VUφ100					個	
		VUφ150	(2)	2.00	8.00		個	(12)
	60°自在曲管	VUφ100					個	
		VUφ150			4.00		個	(4)
	ゴム輪カラー	VUφ100					個	
		VUφ150	(2)	2	12		個	(16)
	90°自在支管	VUφ100 - VUφ150					個	
		VUφ150 - VUφ200			4		個	(4)
取付管及び								
汚水樹工	45°自在支管	VUφ100 - VUφ150					個	
参考数量		VUφ150 - VUφ200	(2)	(1)	(3)		個	(6)
	マンホール用可とう継手	VUφ100用					個	
		VUφ150用		(1)			個	(1)
	硬質塩化ビニル管							
	ゴム輪受口片受け直管	VUφ100					本	
		VUφ150	(2.60)	(2)	(8)		本	(12.90)
	プレ-ンエンド直管	VUφ200	(0.40)	(1)	(1)		本	(2.20)
		VUφ300					本	
取付管及び								
汚水樹工	管布設工	VUφ100					m	
		VUφ150	(10.80)	(9.46)	(36.39)		m	(56.65)
取付管								
路面仮復旧工	AS舗装切断工	t 15cm	12.32	7.92	33.08		m	53.32
		15 < t 30cm					m	
	AS舗装取壊工	t 10cm	5.41	3.57	14.76		m ²	23.74
		10 < t 15cm					m ²	

数量総括表 (2工区)

工種	種別	形状・寸法	9069	9071-1	9060		単位	合計
取付管								
路面仮復旧工	AS舗装取壊工	15 < t 40cm					m ²	
	ASガラ運搬工 (5.6km)		0.27	0.18	0.73		m ³	1.18
	ASガラ処理工		0.63	0.42	1.72		t	2.77
	上層路盤工 M-40	t=100					m ²	
		t=150					m ²	
		t=170	5.29	3.57	14.61		m ²	23.47
	下層路盤工 RC-40	t=100					m ²	
		t=150					m ²	
		t=200	5.29	3.57	14.61		m ²	23.47
		t=350					m ²	
	仮復旧工	t=30 再生密粒度AS13	5.41	3.57	14.76		m ²	23.74
		t=50 再生密粒度AS20					m ²	
	水替工	14 + 2					日	16.00
	汚泥処理工						m ³	3.10
	交通誘導員	28 × 2 + 4					名	60.00
	山留材運搬工	H=2.00m					t	12.00
		H=2.50m					t	14.60

数量総括表

9069

工種	種別	形状・寸法	9069			単位	合計
本管土工	機械掘削工	BH0.10				m ³	
		BH0.20	107.45			m ³	107.45
		BH0.35				m ³	
	機械埋戻工 (RC-40)	BH0.10				m ³	
		BH0.20	54.77			m ³	54.77
		BH0.35				m ³	
	砕石基礎工 (管廻り防護部)	機械施工 (RC-40)	24.49			m ³	24.49
		機械施工 (RC-40)	6.99			m ³	6.99
	残土運搬工	BH0.10				m ³	
		BH0.20	107.45			m ³	107.45
		BH0.35				m ³	
本管布設工	路線延長	PRP φ 200	58.00			m	58.00
	管体延長	PRP φ 200	57.10			m	57.10
	マンホール用可とう継手	PRP φ 200	2			個	2
	管布設工	PRP φ 200	57.10			m	57.10
		硬質塩化ビニル管					
	参考数量	ゴム輪受口片受け直管	(14.30)			本	(14.30)
(市場単価 - 管布設工に含む)	自在継手	PRP φ 200 塩ビ製小型人孔用				個	
本管土留工	建込簡易土留工	H=2.00 W=0.90 BH0.20	58.00			m	58.00
		H=2.50 W=0.90 BH0.20				m	
本管路面仮復旧工	AS舗装切断工	t 15cm	116.00			m	116.00
		15 < t 30cm				m	
	AS舗装取壊工	t 10cm	55.10			m ²	55.10
		10 < t 15cm				m ²	
	ASガラ運搬工		2.76			m ³	2.76
	ASガラ処理工		6.47			t	6.47
	上層路盤工 M-40	t=100				m ²	
		t=150				m ²	
	下層路盤工 RC-40	t=100	55.10			m ²	55.10
		t=150				m ²	

数量総括表

9069

工種	種別	形状・寸法	9069			単位	合計
本管							
路面仮復旧工	下層路盤工 RC-40	t=200	55.10			m ²	55.10
	仮復旧工	t=30 再生密粒度AS20	55.10			m ²	55.10
		t=50 再生密粒度AS20				m ²	
組立式							
1号マンホール工 φ900	底版	種 H=130	1			個	1
		種 H=130				個	
	管取付壁	種 H=600				個	
		種 H=900				個	
		種 H=1200				個	
	底塊	種 H=600 標準	1			個	1
		種 H=600 副管用				個	
	インパート工		1			個	1
	直壁	種 H=300				個	
		種 H=600	1			個	1
		種 H=900				個	
		種 H=1200				個	
	斜壁(900×600)	種 H=300				個	
		種 H=450				個	
		種 H=600	1			個	1
	床版(900×600)	種 H=150				個	
組立式							
1号マンホール工 φ900	調整リング(φ600)	種 H=50	1			個	1
		種 H=100				個	
		種 H=150				個	
	調整金具	25mm	1			個	1
		45mm				個	
	鉄蓋及び受枠(φ600)	T-25	1			組	1
		T-14				組	
	底部工		1			箇所	1

数量総括表

9069

工種	種別	形状・寸法	9069			単位	合計
組立式							
1号マンホール工	ブロック据付工	H 3.0				箇所	1
φ900							
	(深度別据付数)	H 3.0	(1)			箇所	(1)
		3.0 < H 4.0				箇所	
		4.0 < H 5.0				箇所	
		5.0 < H 6.0				箇所	
		6.0 < H 7.0				箇所	
	(総人孔深)		(1.86)			m	(1.86)
	(平均人孔深)					m	(1.86)
	削孔工	VU φ100				箇所	
		VU φ150				箇所	
		VU φ200	2			箇所	2
		PRP φ200				箇所	
取付管土工	機械掘削工	BH0.10 (積算上未計上、BH0.20へ)	4.56			m ³	4.56
							↓
		BH0.20	6.94			m ³	11.50
		BH0.35				m ³	
	機械埋戻工(クリンカ)	BH0.10 (積算上未計上、BH0.20へ)	2.24			m ³	2.24
							↓
		BH0.20	3.36			m ³	5.60
		BH0.35				m ³	
	残土運搬工	BH0.10 (積算上未計上、BH0.20へ)	4.56			m ³	4.56
							↓
		BH0.20	6.94			m ³	11.50
		BH0.35				m ³	
参考数量	基礎工(管廻り防護部)	機械施工(クリンカ)	(2.98)			m ³	(2.98)
(市場単価・取付 管布設工に含む)	基礎工(管基礎部)	機械施工(クリンカ)	(0.84)			m ³	(0.84)
取付管土留工	建込簡易土留工	H=2.00 W=0.90 BH0.20	4.93			m	4.93
		H=2.50 W=0.90 BH0.20				m	
		H=3.00 W=0.90 BH0.20				m	
取付管及び							
汚水樹工	鋳鉄製防護蓋	T-8 φ200				組	

数量総括表

9069

工種	種別	形状・寸法	9069			単位	合計
取付管及び							
汚水樹工		T-8 φ300				組	
	鋳鉄製防護蓋設置工					箇所	
	塩ビ製汚水樹設置工	φ200	2			箇所	2
		φ300				箇所	
	プレ-ンエンド直管 (不足材料)	VU φ200				本	
		VU φ300				本	
	(総汚水樹深)	φ200	(1.70)			m	(1.70)
		φ300				m	
	(平均汚水樹深)	φ200				m	(0.85)
		φ300				m	
	取付管布設工						
	及び支管取付工	φ150 L<3.00				箇所	
		φ150 5.00 L				箇所	2
	(取付延長毎箇所)	φ150 L<3.00				箇所	
		φ150 3.00 L<5.00	(1)			箇所	(1)
		φ150 5.00 L	(1)			箇所	(1)
	(総取付管延長)	φ150	(10.30)			m	(10.30)
	(平均取付管延長)	φ150				m	(5.15)
取付管及び							
汚水樹工	鋳鉄製防護蓋	T-8 φ200				組	
参考数量							
		T-8 φ300				組	
	内蓋	φ200				個	
		φ300				個	
	塩ビ製蓋	T-2 φ200	(2)			個	(2)
		T-2 φ300				個	
	ストレート樹	100×150-200				個	
	(三方向流入 ゴム輪受口)						
		100×150-300				個	
	ドロップ樹	100×150-200	(2)			個	(2)
	(三方向流入 ゴム輪受口)						
		100×150-300				個	
	90°自在曲管	VU φ100				個	
		VU φ150	(2)			個	(2)
	60°自在曲管	VU φ100				個	

数量総括表

9069

工種	種別	形状・寸法	9069			単位	合計
取付管及び							
汚水樹工	60°自在曲管	VUφ150				個	
参考数量							
	ゴム輪カラー	VUφ100				個	
		VUφ150	(2)			個	(2)
	90°自在支管	VUφ100 - VUφ150				個	
		VUφ150 - VUφ200				個	
取付管及び							
汚水樹工	45°自在支管	VUφ100 - VUφ150				個	
参考数量							
		VUφ150 - VUφ200	(2)			個	(2)
	マンホール用可とう継手	VUφ100用				個	
		VUφ150用				個	
	硬質塩化ビニル管						
	ゴム輪受口片受け直管	VUφ100				本	
		VUφ150	(2.60)			本	(2.60)
	プレ-ンエンド直管	VUφ200	(0.40)			本	(0.40)
		VUφ300				本	
	管布設工	VUφ100				m	
		VUφ150	(10.80)			m	(10.80)
取付管							
路面仮復旧工	AS舗装切断工	t 15cm	12.32			m	12.32
		15 < t 30cm				m	
	AS舗装取壊工	t 10cm	5.41			m ²	5.41
		10 < t 15cm				m ²	
		15 < t 40cm				m ²	
	ASガラ運搬工		0.27			m ³	0.27
	ASガラ処理工		0.63			t	0.63
	上層路盤工 M-40	t=100				m ²	
		t=150				m ²	
		t=170	5.29			m ²	5.29
	下層路盤工 RC-40	t=100				m ²	
		t=150				m ²	
		t=200	5.29			m ²	5.29
	仮復旧工	t=30 再生密粒度AS13	5.41			m ²	5.41
		t=50 再生密粒度AS20				m ²	

本管土工数量計算書(1)

路線番号	区間		管種・口径	管基礎 支承角	管下 基礎高	道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	掘削深		平均 掘削深	平均 掘削幅	路線 延長	立坑等 控除	土工 延長	機械掘削工			
				°	m					上流側	下流側						BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60
	上流側	下流側		m³	m³					m³	m³									
9069	9069-1	9070-1	PRP φ 200	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	1.97	2.03	2.00	0.95	58.00		58.00		107.45		
合計														58.00				107.45		

本管土工数量計算書(2)

[illegible]

本管布設工数量計算書

路線番号	区 間		管種・口径	路線延長	人孔控除	管体延長	ゴム輪受口片受け直管		上流用	下流用	マンホ-ル用 可とう継手	副管分岐用	塩ビ人孔用	くら型	VU継手	管布設工
									マンホ-ル継手	マンホ-ル継手		マンホ-ル継手	マンホ-ル継手	マンホ-ル継手		
	上流側	下流側					m	m	m	4.00m / 本		0.50m / 個	0.50m / 個	1.00m / 個		
9069	9069-1	9070-1	PRP φ200	58.00	0.900	57.10	57.10	14.30			2					57.10
								</								

本管土留工数量計算書

路線番号	区 間		路線延長	立坑等控除	土留延長	平均掘削深	建込簡易土留工								
							H=2.00	H=2.50	H=3.00	H=3.50	H=4.00	H=4.50	H=5.00	H=5.50	H=6.00
							W=0.95	W=0.95	W=0.95	W=0.95	W=1.10	W=1.10	W=1.35	W=1.35	W=1.35
	BH=0.20	BH=0.20					BH=0.20	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60		
上流側	下流側	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	
9069	9069-1	9070-1	58.00		58.00	2.00	58.00								
合計			58.00				58.00								

本管路面復旧工数量計算書(1)

路線番号	区 間		道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	路線 延長	立坑等 控除	舗装 延長	上部 掘削幅	As舗装切断工		Co舗装切断工		As舗装取壊工			Co舗装取壊工		
											t 15cm	15 < t 30cm	t 15cm	15 < t 30cm	t 10cm	10 < t 15cm	15 < t 40cm	t 10cm	10 < t 15cm	15 < t 35cm
	m	m									m	m	m	m	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
9069	9069-1	9070-1	市道車道	As	0.05	0.35	58.00		58.00	0.95	116.00			55.10						
合計							58.00				116.00			55.10						

本管路面復旧工数量計算書(2)

路線番号	区 間		Asガラ 運搬工	Asガラ 処理工	上層路盤工				下層路盤工					サンドクッション		仮復旧工	
					M-40				RC-40					砂		再密粒As13(20)	
	t=100	t=150	t=170		t=100	t=150	t=200	t=350	t=500	t=30	t=20	t=30	t=50				
	上流側	下流側	m³	t	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	
9069	9069-1	9070-1	2.76	6.47			55.10			55.10					55.10		

組立式1号マンホール数量計算書(1)

[illegible]

組立式1号マンホール数量計算書(2)

[illegible]

取付管土工数量計算書(1)

路線番号	氏名	管種・口径	管基礎	管下	道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	汚水	汚水	掘削深	平均	延長	本管	土工	機械掘削工					
			支承角	基礎高					樹深	設備深							延長	BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60
			°	m					m	m		m				m	m	m	m³	m³	m³
9069	M42 (株)相馬製作所	VU φ 150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.90	1.40	1.50	0.70	4.90	0.95	4.43	4.56					
	M43 木幡一成(宅)	VU φ 150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.80	1.50	1.60	0.90	5.40	0.95	4.93		6.94				
合計													10.30			4.56	6.94				

取付管土工数量計算書(2)

[illegible]

取付管土留工数量計算書

路線番号	氏名	延長	本管 掘削幅	土留 延長	平均 掘削深	建込簡易土留工								
						H=2.00	H=2.50	H=3.00	H=3.50	H=4.00	H=4.50	H=5.00	H=5.50	H=6.00
						W=0.90	W=0.90	W=0.90	W=1.05	W=1.10	W=1.35	W=1.35	W=1.35	W=1.35
						BH=0.20	BH=0.20	BH=0.20	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60
		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
9069	M42 (株)相馬製作所	4.90	0.95	4.43	1.50									
	M43 木幡一成(宅)	5.40	0.95	4.93	1.60	4.93								
合計		10.30				4.93								

取付管及び汚水枥数量計算書

[illegible]

取付管及び汚水桝参考材料表(1)

路線番号	氏名	汚水樹 タイプ	汚水 樹深	汚水樹 設備深	延長	落差	鑄鉄製防護蓋		内蓋		塩ビ製蓋		ストレ-ト樹		ドロップ樹		90°自在曲管	60°自在曲管
							T-8											
							φ200	φ300	φ200	φ300	φ200	φ300	200-150	300-150	200-150	300-150	φ150	φ150
			m	m	m	m	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
9069	M42 (株)相馬製作所	D	0.90	1.40	4.90						1				1		1	
	M43 木幡一成(宅)	C	0.80	1.50	5.40						1				1		1	
合計					10.30						2				2		2	

取付管及び汚水桝参考材料表(2)

路線番号	氏名	カラ -	90 ° 自在支管	45 ° 自在支管	マンホール用 可とう継手	直管								管布設延長
						立管		立上り管		直管A	直管B	材料		
		φ 150 個	200-150 個	200-150 個		φ 150 個	φ 200 m	φ 300 m	φ 150 m	φ 150 m	φ 150 m	φ 150 本	φ 200 本	φ 300 本
9069	M42 (株)相馬製作所	1		1		0.74		0.09	4.63		1.20	0.20		5.05
	M43 木幡一成(宅)	1		1		0.64		0.29	5.13		1.40	0.20		5.75
合計		2		2							2.60	0.40		10.80

取付管路面復旧工数量計算書(1)

路線番号	氏名	道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	延長	道路延長	本管掘削幅	復旧延長	上部掘削幅	As舗装切断工		Co舗装切断工		As舗装取壊工			Co舗装取壊工		
											t 15cm	15 < t	t 15cm	15 < t	t 10cm	10 < t	15 < t	t 10cm	10 < t	15 < t
				m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
9069	M42 (株)相馬製作所	市道車道	As	0.05	0.35	4.90	3.20	0.95	2.73	0.85	5.46				2.32					
	M43 木幡一成(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	5.40	3.90	0.95	3.43	0.90	6.86				3.09					
合計						10.30					12.32				5.41					

取付管路面復旧工数量計算書(2)

[illegible]

数量総括表

9071-1

工種	種別	形状・寸法	9071-1			単位	合計	
本管土工	機械掘削工	BH0.10				m ³		
		BH0.20	108.76			m ³	108.76	
		BH0.35				m ³		
	機械埋戻工(RC-40)	BH0.10				m ³		
		BH0.20	60.62			m ³	60.62	
		BH0.35				m ³		
	砕石基礎工(管廻り防護部)	機械施工(RC-40)	22.38			m ³	22.38	
		砕石基礎工(管基礎部)	機械施工(RC-40)	6.39			m ³	6.39
	残土運搬工	BH0.10				m ³		
		BH0.20	108.76			m ³	108.76	
		BH0.35				m ³		
	本管布設工	路線延長	PRP φ 200	53.00			m	53.00
		管体延長(管布設工)	PRP φ 200	52.10			m	52.10
		マンホール用可とう継手	PRP φ 200	2			個	2
			VU φ 150	1			個	1
硬質塩化ビニル管								
参考数量		ゴム輪受口片受け直管	PRP φ 200	(13.00)			本	(13.00)
(市場単価 - 管布設工に含む)		自在継手	PRP φ 200 塩ビ製小型人孔用				個	
本管土留工	建込簡易土留工	H=2.00 W=0.90 BH0.20				m		
		H=2.50 W=0.90 BH0.20	53.00			m	53.00	
		H=3.00 W=0.90 BH0.20				m		
本管路面仮復旧工	AS舗装切断工	t 15cm	106.00			m	106.00	
		15 < t 30cm				m		
	AS舗装取壊工	t 10cm	50.35			m ²	50.35	
		10 < t 15cm				m ²		
	ASガラ運搬工		2.52			m ³	2.52	
	ASガラ処理工		5.92			t	5.92	
	上層路盤工 M-40	t=100				m ²		
		t=150				m ²		
		t=170	50.35			m ²	50.35	
	下層路盤工 RC-40	t=100				m ²		
		t=150				m ²		

数量総括表

9071-1

工種	種別	形状・寸法	9071-1			単位	合計
本管							
路面仮復旧工	下層路盤工 RC-40	t=200	50.35			m ²	50.35
	仮復旧工	t=30 再生密粒度AS13	50.35			m ²	50.35
		t=50 再生密粒度AS20				m ²	
組立式							
1号マンホール工 φ 900	底版	種 H=130	1			個	1
		種 H=130				個	
	管取付壁	種 H=600				個	
		種 H=900				個	
		種 H=1200				個	
	底塊	種 H=600 標準	1			個	1
		種 H=600 副管用				個	
		インパート工	1			個	1
	直壁	種 H=300				個	
		種 H=600				個	
		種 H=900				個	
		種 H=1200	1			個	1
	斜壁(900×600)	種 H=300				個	
		種 H=450	1			個	1
		種 H=600				個	
	床版(900×600)	種 H=150				個	
組立式							
1号マンホール工 φ 900	調整リング(φ 600)	種 H=50				個	
		種 H=100				個	
		種 H=150	1			個	1
	調整金具	25mm				個	
		45mm	1			個	1
	鉄蓋及び受枠(φ 600)	T-25	1			組	1
		T-14				組	
	底部工		1			箇所	1
	ブロック据付工		1			箇所	1
	(深度別据付数)	H 3.0	(1)			箇所	(1)

数量総括表

9071-1

工種	種別	形状・寸法	9071-1			単位	合計
組立式							
1号マンホール工	ブロック据付工	3.0<H 4.0				箇所	
φ900							
	(深度別据付数)	4.0<H 5.0				箇所	
		5.0<H 6.0				箇所	
		6.0<H 7.0				箇所	
	(総人孔深)		(2.43)			m	(2.43)
	(平均人孔深)					m	
	削孔工	VUφ100				箇所	
		VUφ150	1			箇所	1
		VUφ200				箇所	
		PRPφ200	2			箇所	2
取付管土工	機械掘削工	BH0.10				m ³	
		BH0.20	15.36			m ³	15.36
		BH0.35				m ³	
	機械埋戻工(クリンカ)	BH0.10				m ³	
		BH0.20	10.42			m ³	10.42
		BH0.35				m ³	
	残土運搬工	BH0.10				m ³	
		BH0.20	15.36			m ³	15.36
		BH0.35				m ³	
参考数量	基礎工(管廻り防護部)	機械施工(クリンカ)	(2.74)			m ³	(2.74)
(市場単価 - 取付 管布設工に含む)	基礎工(管基礎部)	機械施工(クリンカ)	(0.80)			m ³	(0.80)
取付管土留工	建込簡易土留工	H=2.00 W=0.90 BH0.20				m	
		H=2.50 W=0.90 BH0.20	7.26			m	7.26
		H=3.00 W=0.90 BH0.20				m	

数量総括表

9071-1

工種	種別	形状・寸法	9071-1			単位	合計
取付管及び							
汚水樹工	鋳鉄製防護蓋	T-8 φ200	1			組	1
		T-8 φ300				組	
	鋳鉄製防護蓋設置工		1			箇所	1
	塩ビ製汚水樹設置工	φ200	2			箇所	2
		φ300				箇所	
	プレ-ンエンド直管 (不足材料)	VUφ200				本	
		VUφ300				本	
	(総汚水樹深)	φ200	(2.30)			m	(2.30)
		φ300				m	
	(平均汚水樹深)	φ200				m	(1.15)
		φ300				m	
	取付管布設工						
	及び支管取付工	φ150 L<3.00				箇所	
		φ150 3.00 L<5.00				箇所	2
	(取付延長毎箇所)	φ150 L<3.00				箇所	
		φ150 3.00 L<5.00	(2)			箇所	(2)
		φ150 5.00 L				箇所	
	(総取付管延長)	φ150	(8.20)			m	(8.20)
	(平均取付管延長)	φ150				m	(4.10)
取付管及び							
汚水樹工	鋳鉄製防護蓋	T-8 φ200	(1)			組	(1)
参考数量		T-8 φ300				組	
	内蓋	φ200	(1)			個	(1)
		φ300				個	
	塩ビ製蓋	T-2 φ200	(1)			個	(1)
		T-2 φ300				個	
	ストレート樹	100×150-200				個	
	(三方向流入 ゴム輪受口)	100×150-300				個	
	ドロップ樹	100×150-200	(2)			個	(2)
	(三方向流入 ゴム輪受口)	100×150-300				個	
	90°自在曲管	VUφ100				個	
		VUφ150	(2)			個	(2)

数量総括表

9071-1

工種	種別	形状・寸法	9071-1			単位	合計
取付管及び							
汚水樹工	ゴム輪カラー	VUφ100				個	
		VUφ150	(2)			個	(2)
	90°自在支管	VUφ100 - VUφ150				個	
		VUφ150 - VUφ200				個	
取付管及び							
汚水樹工	45°自在支管	VUφ100 - VUφ150				個	
参考数量		VUφ150 - VUφ200	(1)			個	(1)
	マンホール用可とう継手	VUφ100用				個	
		VUφ150用	(1)			個	(1)
	硬質塩化ビニル管						
	ゴム輪受口片受け直管	VUφ100				本	
		VUφ150	(2.20)			本	(2.20)
	プレ-ンエンド直管	VUφ200	(0.50)			本	(0.50)
		VUφ300				本	
	管布設工	VUφ100				m	
		VUφ150	(9.46)			m	(9.46)
取付管							
路面仮復旧工	AS舗装切断工	t 15cm	7.92			m	7.92
		15 < t 30cm				m	
	AS舗装取壊工	t 10cm	3.57			m ²	3.57
		10 < t 15cm				m ²	
		15 < t 40cm				m ²	
	ASガラ運搬工		0.18			m ³	0.18
	ASガラ処理工		0.42			t	0.42
	上層路盤工 M-40	t=100				m ²	
		t=150				m ²	
		t=170	3.57			m ²	3.57
	下層路盤工 RC-40	t=100				m ²	
		t=150				m ²	
		t=200	3.57			m ²	3.57
	仮復旧工	t=30 再生密粒度AS13	3.57			m ²	3.57
		t=50 再生密粒度AS20				m ²	

本管土工数量計算書(1)

路線番号	区 間		管種・口径	管基礎	管下	道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	掘削深		平均	平均	路線	立坑等	土工	機械掘削工				
				支承角	基礎高					上流側	下流側						掘削深	掘削幅	延長	控除	延長
	°	m		m³	m³							m³	m³								
9071-1	9071-1-1	9072-1-1	PRP φ 200	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	2.53	1.89	2.21	0.95	53.00		53.00		108.76			

本管土工数量計算書(2)

路線番号	区 間		管種・口径	機械埋戻工(良質土)				機械埋戻工(RC- 40)				砂基礎工		碎石基礎工(RC-40)		残土運搬工			
				BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60	BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60	管防護部	管基礎部	管防護部	管基礎部	BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60
	上流側	下流側		m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
9071-1	9071-1-1	9072-1-1	PRP φ200						60.62					22.38	6.39		108.76		

本管布設工数量計算書

路線番号	区 間		管種・口径	路線延長	人孔控除	管体延長	ゴム輪受口片受け直管		上流用	下流用	マンホ-ル用 可とう継手	副管分岐用	塩ビ人孔用	くら型	VU継手	管布設工
							4.00m / 本		マンホ-ル継手	マンホ-ル継手		マンホ-ル継手	マンホ-ル継手	マンホ-ル継手		
	上流側	下流側					m	m	m	m		本	個	個		
9071-1	9071-1-1	9072-1-1	PRP φ 200	53.00	0.900	52.10	52.10	13.00			2					52.10

本管土留工数量計算書

路線番号	区 間		路線延長	立坑等控除	土留延長	平均掘削深	建込簡易土留工								
							H=2.00	H=2.50	H=3.00	H=3.50	H=4.00	H=4.50	H=5.00	H=5.50	H=6.00
							W=0.95	W=0.95	W=0.95	W=0.95	W=1.10	W=1.10	W=1.35	W=1.35	W=1.35
	BH=0.20	BH=0.20	BH=0.20	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60					
上流側	下流側	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	
9071-1	9071-1-1	9072-1-1	53.00		53.00	2.21		53.00							

本管路面復旧工数量計算書(1)

[illegible]

本管路面復旧工数量計算書(2)

路線番号	区 間		Asガラ 運搬工	Asガラ 処理工	上層路盤工				下層路盤工					サンドクッション		仮復旧工	
					M-40				RC-40					砂		再密粒As13(20)	
	t=100	t=150	t=170		t=100	t=150	t=200	t=350	t=500	t=30	t=20	t=30	t=50				
	上流側	下流側	m³	t	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	
9071-1	9071-1-1	9072-1-1	2.52	5.92			50.35			50.35					50.35		

組立式1号マンホール数量計算書(1)

[illegible]

組立式1号マンホール数量計算書(2)

人孔番号	人孔深	調整リング			調整金具		鉄蓋及び受枠		中間 スラブ	底部工	ブロック据付工						削孔工			
		種									H 3.0	3.0<H 4.0	4.0<H 5.0	5.0<H 6.0	6.0<H 7.0	VU φ100	VU φ150	VU φ200	PRP φ200	
		50	100	150	25	45	T-25	T-14	FRP		箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所
	m	個	個	個	個	個	組	組	個	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	
9071-1-1	2.43			1		1	1			1	1						1		1	
																			1	
合計				1		1	1			1	1						1		2	

取付管土工数量計算書(1)

路線番号	氏名	管種・口径	管基礎	管下	道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	汚水	汚水	掘削深	平均	延長	本管	土工	機械掘削工				
			支承角	基礎高													BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60
			°	m													m³	m³	m³	m³
9071-1	M44 渡部恵美子(雑)	VU φ 150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	1.40	2.40	2.50	0.90	3.30	0.95	2.83		6.32			
	M45 今野栄治(宅)	VU φ 150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.90	2.20	2.30	0.90	4.90	0.95	4.43		9.04			
合計													8.20				15.36			

取付管土工数量計算書(2)

[illegible]

取付管土留工数量計算書

路線番号	氏名	延長	本管 掘削幅	土留 延長	平均 掘削深	建込簡易土留工								
						H=2.00	H=2.50	H=3.00	H=3.50	H=4.00	H=4.50	H=5.00	H=5.50	H=6.00
						W=0.90	W=0.90	W=0.90	W=1.05	W=1.10	W=1.35	W=1.35	W=1.35	W=1.35
						BH=0.20	BH=0.20	BH=0.20	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
9071-1	M44 渡部恵美子(雑)	3.30	0.95	2.83	2.50		2.83							
	M45 今野栄治(宅)	4.90	0.95	4.43	2.30		4.43							
合計		8.20					7.26							

取付管及び汚水枥数量計算書

[illegible]

取付管及び汚水桝参考材料表(1)

[illegible]

取付管及び汚水枴参考材料表()

路線番号	氏名	カラ -	90 ° 自在支管	45 ° 自在支管	マンホール用 可とう継手	直管								管布設延長
		φ 150 個	200-150 個	200-150 個		φ 150 個	立管		立上り管	直管A	直管B	材料		
							φ 200 m	φ 300 m	φ 150 m	φ 150 m	φ 150 m	φ 150 本	φ 200 本	φ 300 本
9071-1	M44 渡部恵美子(雑)	1			1	1.09		0.59	2.68		0.80	0.30		3.61
	M45 今野栄治(宅)	1		1		0.74		0.89	4.63		1.40	0.20		5.85
合計		2		1	1						2.20	0.50		9.46

取付管路面復旧工数量計算書(1)

路線番号	氏名	道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	延長	道路延長	本管掘削幅	復旧延長	上部掘削幅	As舗装切断工		Co舗装切断工		As舗装取壊工			Co舗装取壊工		
										t 15cm	15 < t 30cm	t 15cm	15 < t 30cm	t 10cm	10 < t 15cm	15 < t 40cm	t 10cm	10 < t 15cm	15 < t 35cm	
				m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
9071-1	M44 渡部恵美子(雑)	市道車道	As	0.05	0.35	3.30	1.50	0.95	1.03	0.90	2.06			0.93						
	M45 今野栄治(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	4.90	3.40	0.95	2.93	0.90	5.86			2.64						

取付管路面復旧工数量計算書(2)

[illegible]

数量総括表

9060

工種	種別	形状・寸法	9060			単位	合計
本管土工	機械掘削工	BH0.10				m ³	
		BH0.20	208.50			m ³	208.50
		BH0.35				m ³	
	機械埋戻工 (C-40)	BH0.10				m ³	
		BH0.20	105.87			m ³	105.87
		BH0.35				m ³	
	砕石基礎工 (管廻り防護部)	機械施工 (RC-40)	47.71			m ³	47.71
		砕石基礎工 (管基礎部)	機械施工 (RC-40)	13.62		m ³	13.62
	残土運搬工	BH0.10				m ³	
		BH0.20	208.50			m ³	208.50
		BH0.35				m ³	
本管布設工	路線延長	PRP φ 200	113.00			m	113.00
	管体延長	PRP φ 200	110.87			m	110.87
	マンホール用可とう継手	PRP φ 200	5			個	5
	管布設工	PRP φ 200	110.87			m	110.87
	参考数量	硬質塩化ビニル管					
		ゴム輪受口片受け直管	(27.60)			本	(27.60)
	(市場単価 - 管布設工に含む)	自在継手	(2)			個	(2)
本管土留工	建込簡易土留工	H=2.00 W=0.90 BH0.20	79.00			m	79.00
		H=2.50 W=0.90 BH0.20	34.00			m	34.00
		H=3.00 W=0.90 BH0.20				m	
本管 路面仮復旧工	AS舗装切断工	t 15cm	226.00			m	226.00
		15 < t 30cm				m	
	AS舗装取壊工	t 10cm	107.35			m ²	107.35
		10 < t 15cm				m ²	
	ASガラ運搬工		5.37			m ³	5.37
	ASガラ処理工		12.62			t	12.62
	上層路盤工 M-40	t=100				m ²	
		t=150				m ²	
		t=170	107.35			m ²	107.35
	下層路盤工 RC-40	t=100				m ²	
		t=150				m ²	

数量総括表

9060

工種	種別	形状・寸法	9060			単位	合計
本管							
路面仮復旧工	下層路盤工 RC-40	t=200	107.35			m ²	107.35
	仮復旧工	t=30 再生密粒度AS13	107.35			m ²	107.35
		t=50 再生密粒度AS20				m ²	
塩ビ製							
小型マンホール工	鋳鉄製防護蓋(台座付)	φ 300 T-25	1			組	1
φ 300							
		φ 300 T-14				組	
	鋳鉄製防護蓋設置工	φ 300	1			箇所	1
	塩ビ製小型マンホール設置工						
	(起点及び中間点)	200-300 H 2.0				箇所	1
	(深度別据付数)	200-300 H 2.0	(1)			箇所	(1)
		200-300 2.0<H 3.5				箇所	
	(総人孔深)		(1.86)			m	(1.86)
	(平均人孔深)					m	(1.86)
参考数量							
(市場単価 -							
マンホール設置工を含む)	内蓋	φ 300	(1)			個	(1)
組立式							
1号マンホール工	底版	種 H=130	2			個	2
φ 900							
		種 H=130				個	
	管取付壁	種 H=600				個	
		種 H=900				個	
		種 H=1200				個	
	底塊	種 H=600 標準	2			個	2
		種 H=600 副管用				個	
	インバート工		2			個	2
	直壁	種 H=300				個	
		種 H=600	2			個	2
		種 H=900				個	
		種 H=1200				個	
	副管用直壁	種 H=600				個	
		種 H=900				個	
	斜壁(900×600)	種 H=300				個	
		種 H=450				個	
		種 H=600	2			個	2
	床版(900×600)	種 H=150				個	

数量総括表

9060

工種	種別	形状・寸法	9060			単位	合計
組立式							
1号マンホール工	調整リング(φ600)	種 H=50	1			個	1
φ900		種 H=100	1			個	1
		種 H=150				個	
	調整金具	25mm	1			個	1
		45mm	1			個	1
	鉄蓋及び受枠(φ600)	T-25	2			組	2
		T-14				組	
	底部工		2			箇所	2
	ブロック据付工	H 3.0				箇所	2
	(深度別据付数)	H 3.0	(2)			箇所	(2)
		3.0 < H 4.0				箇所	
		4.0 < H 5.0				箇所	
		5.0 < H 6.0				箇所	
		6.0 < H 7.0				箇所	
	(総人孔深)		(3.79)			m	(3.79)
	(平均人孔深)					m	(1.90)
	削孔工	VU φ100				箇所	
		VU φ150				箇所	
		VU φ200				箇所	
		PRP φ200	5			箇所	5
取付管土工	機械掘削工	BH0.10(積算上BH0.20へ)	7.86			m ³	7.86
		BH0.20	33.83			m ³	↓ 41.69
		BH0.35				m ³	
	機械埋戻工(クリンカ)	BH0.10(積算上BH0.20へ)	4.35			m ³	4.35
		BH0.20	18.64			m ³	↓ 22.99
		BH0.35				m ³	
	残土運搬工	BH0.10(積算上BH0.20へ)	7.86			m ³	7.86
		BH0.20	33.83			m ³	↓ 41.69
		BH0.35				m ³	

数量総括表

9060

工種	種別	形状・寸法	9060			単位	合計
参考数量	基礎工(管廻り防護部)	機械施工(クリンカ)	(10.08)			m ³	(10.08)
(市場単価 - 取付 管布設工を含む)	基礎工(管基礎部)	機械施工(クリンカ)	(2.86)			m ³	(2.86)
取付管土留工	建込簡易土留工	H=2.00 W=0.90 BH0.20	21.55			m	21.55
		H=2.50 W=0.90 BH0.20				m	
		H=3.00 W=0.90 BH0.20				m	
取付管及び 汚水樹工	鋳鉄製防護蓋	T-8 φ200	3			組	3
		T-8 φ300				組	
	鋳鉄製防護蓋設置工		3			箇所	3
	塩ビ製汚水樹設置工	φ200	8			箇所	8
		φ300				箇所	
	プレ - ンエンド直管 (不足材料)	VU φ200				本	
		VU φ300				本	
	(総汚水樹深)	φ200	(7.00)			m	(7.00)
		φ300				m	
	(平均汚水樹深)	φ200				m	(0.88)
		φ300				m	
	取付管布設工 及び支管取付工	φ150 L < 3.00				箇所	
		φ150 3.00 L < 5.00				箇所	8
	(取付延長毎箇所)	φ150 L < 3.00				箇所	
		φ150 3.00 L < 5.00	(5)			箇所	(5)
		φ150 5.00 L	(3)			箇所	(3)
	(総取付管延長)	φ150	(32.90)			m	(32.90)
	(平均取付管延長)	φ150				m	(4.11)
取付管及び 汚水樹工	鋳鉄製防護蓋	T-8 φ200	(3)			組	(3)
参考数量		T-8 φ300				組	
	内蓋	φ200	(3)			個	(3)
		φ300				個	
	塩ビ製蓋	T-2 φ200	(5)			個	(5)
		T-2 φ300				個	
	ストレート樹	100 × 150 - 200				個	

数量総括表

9060

工種	種別	形状・寸法	9060			単位	合計
取付管及び	(三方向流入 ゴム輪受口)						
汚水樹工		100 × 150 - 300				個	
参考数量							
	ドロップ樹	100 × 150 - 200	(8)			個	(8)
	(三方向流入 ゴム輪受口)						
		100 × 150 - 300				個	
	90°自在曲管	VU φ 100				個	
		VU φ 150	(8)			個	(8)
	60°自在曲管	VU φ 100				個	
		VU φ 150	(4)			個	(4)
	ゴム輪カラー	VU φ 100				個	
		VU φ 150	(12)			個	(12)
	90°自在支管	VU φ 100 - VU φ 150				個	
		VU φ 150 - VU φ 200	(4)			個	(4)
取付管及び							
汚水樹工	45°自在支管	VU φ 100 - VU φ 150				個	
参考数量							
		VU φ 150 - VU φ 200	(3)			個	(3)
	マンホール用可とう継手	VU φ 100用				個	
		VU φ 150用				個	
	硬質塩化ビニル管						
	ゴム輪受口片受け直管	VU φ 100				本	
		VU φ 150	(8.10)			本	(8.10)
	プレ・ンエンド直管	VU φ 200	(1.30)			本	(1.30)
		VU φ 300				本	
	管布設工	VU φ 100				m	
		VU φ 150	(36.39)			m	(36.39)
取付管							
路面仮復旧工	AS舗装切断工	t 15cm	33.08			m	33.08
		15 < t 30cm				m	
	AS舗装取壊工	t 10cm	14.76			m ²	14.76
		10 < t 15cm				m ²	
	ASガラ運搬工		0.73			m ³	0.73
	ASガラ処理工		1.72			t	1.72

数量総括表

9060

工種	種別	形状・寸法	9060			単位	合計
取付管							
路面仮復旧工	上層路盤工 M-40	t=100				m ²	
		t=150				m ²	
		t=170	14.61			m ²	14.61
	下層路盤工 RC-40	t=100				m ²	
		t=150				m ²	
		t=200	14.61			m ²	14.61
	仮復旧工	t=30 再生密粒度AS13	14.76			m ²	14.76
		t=50 再生密粒度AS20				m ²	

本管土工数量計算書(1)

路線番号	区 間		管種・口径	管基礎 支承角	管下 基礎高	道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	掘削深		平均 掘削深	平均 掘削幅	路線 延長	立坑等 控除	土工 延長	機械掘削工			
										上流側	下流側						BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60
	上流側	下流側								°	m						m	m	m	m
9060	9060-1	9060-2	PRP φ 200	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	1.96	1.95	1.96	0.95	39.00		39.00		70.77		
	9060-2	9060-3	PRP φ 200	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	2.02	1.97	2.00	0.95	40.00		40.00		74.10		
	9060-3	9061-1	PRP φ 200	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	1.99	2.04	2.02	0.95	34.00		34.00		63.63		

本管土工数量計算書(2)

路線番号	区 間		管種・口径	機械埋戻工(良質土)				機械埋戻工(RC-40)				基礎工		碎石基礎工(RC-40)		残土運搬工			
				BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60	BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60	管防護部	管基礎部	管防護部	管基礎部	BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60
	m³	m³		m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³	m³
9060	9060-1	9060-2	PRP φ200						35.35						16.47	4.70		70.77	
	9060-2	9060-3	PRP φ200						37.77						16.89	4.82		74.10	
	9060-3	9061-1	PRP φ200						32.75						14.35	4.10		63.63	
合計									105.87						47.71	13.62		208.50	

本管布設工数量計算書

路線番号	区 間		管種・口径	路線延長	人孔控除	管体延長	ゴム輪受口片受け直管		上流用	下流用	マンホール用 可とう継手	副管分岐用	塩ビ人孔用	くら型	VU継手	管布設工
									マンホール継手	マンホール継手		マンホール継手	マンホール継手	マンホール継手		
	上流側	下流側					m	m	m	4.00m / 本		0.50m / 個	0.50m / 個	1.00m / 個		
9060	9060-1	9060-2	PRP φ 200	39.00	0.740	38.26	38.05	9.50			1		1			38.26
	9060-2	9060-3	PRP φ 200	40.00	0.650	39.35	39.35	9.80			2					39.35
	9060-3	9061-1	PRP φ 200	34.00	0.740	33.26	33.05	8.30			2		1			33.26

本管土留工数量計算書

路線番号	区 間		路線延長	立坑等控除	土留延長	平均掘削深	建込簡易土留工								
							H=2.00	H=2.50	H=3.00	H=3.50	H=4.00	H=4.50	H=5.00	H=5.50	H=6.00
							W=0.95	W=0.95	W=0.95	W=0.95	W=1.10	W=1.10	W=1.35	W=1.35	W=1.35
	BH=0.20	BH=0.20					BH=0.20	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60		
上流側	下流側	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	
9060	9060-1	9060-2	39.00		39.00	1.96	39.00								
	9060-2	9060-3	40.00		40.00	2.00	40.00								
	9060-3	9061-1	34.00		34.00	2.02		34.00							

本管路面復旧工数量計算書(1)

路線番号	区 間		道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	路線 延長	立坑等 控除	舗装 延長	上部 掘削幅	As舗装切断工		Co舗装切断工		As舗装取壊工			Co舗装取壊工		
											t 15cm	15 < t 30cm	t 15cm	15 < t 30cm	t 10cm	10 < t 15cm	15 < t 40cm	t 10cm	10 < t 15cm	15 < t 35cm
	上流側	下流側									m	m	m	m	m	m	m	m	m ²	m ²
9060	9060-1	9060-2	市道車道	As	0.05	0.35	39.00		39.00	0.95	78.00				37.05					
	9060-2	9060-3	市道車道	As	0.05	0.35	40.00		40.00	0.95	80.00				38.00					
	9060-3	9061-1	市道車道	As	0.05	0.35	34.00		34.00	0.95	68.00				32.30					

本管路面復旧工数量計算書(2)

路線番号	区 間		Asガラ 運搬工	Asガラ 処理工	上層路盤工				下層路盤工					サンドクッション		仮復旧工	
					M-40				RC-40					砂		再密粒As13(20)	
	t=100	t=150	t=170		t=100	t=150	t=200	t=350	t=500	t=30	t=20	t=30	t=50				
	上流側	下流側	m³	t	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	m²	
9060	9060-1	9060-2	1.85	4.35			37.05			37.05					37.05		
	9060-2	9060-3	1.90	4.47			38.00			38.00					38.00		
	9060-3	9061-1	1.62	3.80			32.30			32.30					32.30		

組立式1号マンホール数量計算書(1)

[illegible]

塩ビ製小型マンホール数量計算書

[illegible]

取付管土工数量計算書(1)

路線番号	氏名	管種・口径	管基礎	管下	道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	汚水	汚水	掘削深	平均	延長	本管	土工	機械掘削工			
			支承角	基礎高												BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60
			°	m					m	m		m		m	m	m	m	m ³	m ³
9060	M24 志賀安美(宅)	VUφ150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.80	1.50	1.60	0.90	5.30	0.95	4.83		6.82		
	M25 川崎真美(宅)	VUφ150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.90	1.50	1.60	0.90	3.00	0.95	2.53		3.60		
	M26 川崎真美(宅)	VUφ150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.90	1.40	1.50	0.70	3.00	0.95	2.53	2.62			
	M27 川上三男(宅)	VUφ150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.90	1.80	1.90	0.90	4.70	0.95	4.23		7.10		
	M28 櫻田幸夫(宅)	VUφ150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.90	1.40	1.50	0.70	3.00	0.95	2.53	2.62			
	M29 堀口和夫(宅)	VUφ150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.80	1.70	1.80	0.90	5.20	0.95	4.73		7.53		
	M30 遠藤安孝(宅)	VUφ150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.90	1.40	1.50	0.70	3.00	0.95	2.53	2.62			
	M31 伊東修一(宅)	VUφ150	90	0.10	市道車道	As	0.05	0.35	0.90	1.80	1.90	0.90	5.70	0.95	5.23		8.78		
合計													32.90			7.86	33.83		

取付管土工数量計算書(2)

路線番号	氏名	管種・口径	機械埋戻工(良質土)				機械埋戻工(クリンカ)				基礎工(クリンカ)		残土運搬工			
			BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60	BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60	管防護部	管基礎部	BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60
			m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
9060	M24 志賀安美(宅)	VU φ 150						3.41			1.83	0.52		6.82		
	M25 川崎真美(宅)	VU φ 150						1.99			0.96	0.28		3.60		
	M26 川崎真美(宅)	VU φ 150					1.45				0.64	0.17	2.62			
	M27 川上三男(宅)	VU φ 150						4.03			1.60	0.46		7.10		
	M28 櫻田幸夫(宅)	VU φ 150					1.45				0.64	0.17	2.62			
	M29 堀口和夫(宅)	VU φ 150						4.20			1.79	0.52		7.53		
	M30 遠藤安孝(宅)	VU φ 150					1.45				0.64	0.17	2.62			
	M31 伊東修一(宅)	VU φ 150						5.01			1.98	0.57		8.78		
合計							4.35	18.64			10.08	2.86	7.86	33.83		

取付管土留工数量計算書

路線番号	氏名	延長	本管 掘削幅	土留 延長	平均 掘削深	建込簡易土留工								
						H=2.00	H=2.50	H=3.00	H=3.50	H=4.00	H=4.50	H=5.00	H=5.50	H=6.00
						W=0.90	W=0.90	W=0.90	W=1.05	W=1.10	W=1.35	W=1.35	W=1.35	W=1.35
						BH=0.20	BH=0.20	BH=0.20	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60	BH=0.60
		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
9060	M24 志賀安美(宅)	5.30	0.95	4.83	1.60	4.83								
	M25 川崎真美(宅)	3.00	0.95	2.53	1.60	2.53								
	M26 川崎真美(宅)	3.00	0.95	2.53	1.50									
	M27 川上三男(宅)	4.70	0.95	4.23	1.90	4.23								
	M28 櫻田幸夫(宅)	3.00	0.95	2.53	1.50									
	M29 堀口和夫(宅)	5.20	0.95	4.73	1.80	4.73								
	M30 遠藤安孝(宅)	3.00	0.95	2.53	1.50									
	M31 伊東修一(宅)	5.70	0.95	5.23	1.90	5.23								
合計		32.90				21.55								

取付管及び汚水枥数量計算書

[illegible]

取付管及び汚水枳参考材料表(1)

路線番号	氏名	汚水枳 タイプ	汚水 枳深	汚水枳 設備深	延長	落差	鑄鉄製防護蓋		内蓋		塩ビ製蓋		ストレート枳		ドロップ枳		90°自在曲管	60°自在曲管
							T-8											
							φ 200	φ 300	φ 200	φ 300	φ 200	φ 300	200-150	300-150	200-150	300-150	φ 150	φ 150
							m	m	m	m	個	個	個	個	個	個	個	個
9060	M24 志賀安美(宅)	C	0.80	1.50	5.30						1				1		1	
	M25 川崎真美(宅)	C	0.90	1.50	3.00	0.60					1				1		1	1
	M26 川崎真美(宅)	D	0.90	1.40	3.00	0.62	1		1						1		1	1
	M27 川上三男(宅)	C	0.90	1.80	4.70						1				1		1	
	M28 櫻田幸夫(宅)	D	0.90	1.40	3.00	0.68	1		1						1		1	1
	M29 堀口和夫(宅)	C	0.80	1.70	5.20						1				1		1	
	M30 遠藤安孝(宅)	D	0.90	1.40	3.00	0.65	1		1						1		1	1
	M31 伊東修一(宅)	C	0.90	1.80	5.70						1				1		1	
合計					32.90		3		3		5				8		8	4

取付管及び汚水枳参考材料表 ()

路線番号	氏名	カラ -	90 ° 自在支管	45 ° 自在支管	マンホール用 可とう継手	直管								管布設延長
						立管		立上り管	直管A	直管B	材料			
		φ 150 個	200-150 個	200-150 個		φ 150 個	φ 200 m	φ 300 m	φ 150 m	φ 150 m	φ 150 m	φ 150 本	φ 200 本	φ 300 本
9060	M24 志賀安美(宅)	1				0.64		0.29	4.68		1.20	0.20		5.31
	M25 川崎真美(宅)	2	1			0.74		0.19	2.32	0.38	0.70	0.20		3.51
	M26 川崎真美(宅)	2	1			0.59		0.09	2.31	0.41	0.70	0.10		3.42
	M27 川上三男(宅)	1		1		0.74		0.49	4.43		1.20	0.20		5.25
	M28 櫻田幸夫(宅)	2	1			0.59		0.09	2.27	0.47	0.70	0.10		3.46
	M29 堀口和夫(宅)	1		1		0.64		0.49	4.93		1.40	0.20		5.75
	M30 遠藤安孝(宅)	2	1			0.59		0.09	2.29	0.44	0.70	0.10		3.44
	M31 伊東修一(宅)	1		1		0.74		0.49	5.43		1.50	0.20		6.25
合計		12	4	3							8.10	1.30		36.39

取付管路面復旧工数量計算書(1)

路線番号	氏名	道路種別	舗装	舗装厚	路盤厚	延長	道路延長	本管掘削幅	復旧延長	上部掘削幅	As舗装切断工		Co舗装切断工		As舗装取壊工			Co舗装取壊工		
				t	15cm	15 < t 30cm	t	15cm	15 < t 30cm	t	10cm	10 < t 15cm	15 < t 40cm	t	10cm	10 < t 15cm	15 < t 35cm			
				m	m	m	m	m	m	m	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²				
9060	M24 志賀安美(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	5.30	3.50	0.95	3.03	0.90	6.06				2.73					
	M25 川崎真美(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	3.00	1.50	0.95	1.03	0.90	2.06				0.93					
	M26 川崎真美(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	3.00	1.50	0.95	1.03	0.85	2.06				0.88					
	M27 川上三男(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	4.70	3.40	0.95	2.93	0.90	5.86				2.64					
	M28 櫻田幸夫(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	3.00	1.50	0.95	1.03	0.85	2.06				0.88					
	M29 堀口和夫(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	5.20	3.40	0.95	2.93	0.90	5.86				2.64					
	M30 遠藤安孝(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	3.00	1.50	0.95	1.03	0.85	2.06				0.88					
	M31 伊東修一(宅)	市道車道	As	0.05	0.35	5.70	4.00	0.95	3.53	0.90	7.06				3.18					
合計						32.90					33.08				14.76					

取付管路面復旧工数量計算書(2)

路線番号	氏名	Asガラ 運搬工	Asガラ 処理工	上層路盤工				下層路盤工					サンドクッション		仮復旧工	
				M-40				RC-40					砂		再密粒As13(20)	
				t=100	t=150	t=170		t=100	t=150	t=200	t=350	t=500	t=30	t=20	t=30	t=50
		m ³	t	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
9060	M24 志賀安美(宅)	0.14	0.32			2.73				2.73					2.73	
	M25 川崎真美(宅)	0.05	0.11			0.93				0.93					0.93	
	M26 川崎真美(宅)	0.04	0.10			0.83				0.83					0.88	
	M27 川上三男(宅)	0.13	0.31			2.64				2.64					2.64	
	M28 櫻田幸夫(宅)	0.04	0.10			0.83				0.83					0.88	
	M29 堀口和夫(宅)	0.13	0.31			2.64				2.64					2.64	
	M30 遠藤安孝(宅)	0.04	0.10			0.83				0.83					0.88	
	M31 伊東修一(宅)	0.16	0.37			3.18				3.18					3.18	
合計		0.73	1.72			14.61				14.61					14.76	

R 7 原町区下水管渠築造第1工区工事

[illegible]

R 7 原町区下水管渠築造第1工区工事

$$= (\text{賃料} \times \text{日} + \text{整備費} \times \text{補正率}) \times \text{使用数量}$$

舗装の切断作業時に発生する排水量算定

市道 高見町2号線

舗装切断延長 = 501.32 m

$$\begin{aligned}
 \text{排水量 (m3)} &= \text{当該工事施工量} \div \text{日あたり施工量} \times \text{日当たり使用水量} \times \text{回収率} \\
 &= 501.32 \div 240 \times 1.8 \times 0.85 \\
 &= \underline{\underline{3.10}} \text{ m3}
 \end{aligned}$$

日あたり施工量

(1) アスファルト舗装

アスファルト舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	240 m/日
15cmを超え30cm以下	170 m/日
30cmを超え40cm以下	120 m/日

(2) コンクリート舗装

コンクリート舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	150 m/日
15cmを超え30cm以下	70 m/日

日当たり使用水量・回収率

舗装種別	舗装厚 (cm)	日あたり 使用水量(m3)	回収率 (%)
アスファルト舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85
	30 < t 35	1.8	85
	35 < t 40	2.4	85
コンクリート舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85

産業廃棄物処理場比較表

【原町区下水管渠築造第2工区工事】

R7年度

アスファルト殻：直接掘削積込

事業所名	運搬距離	運搬費	処分料	算式	m3当り単価	評価
85 相馬市坪田字坊山357 - 13 金沢興業(株)	18.6 km	円	円/t	運搬費 + 処分料 × 2.35	円	
88 原町区金沢字物見山97-1外 加藤建材工業(株)	5.4 km	円	円/t	運搬費 + 処分料 × 2.35	円	
90 原町区深野字入龍田87 - 36 斎藤運輸工業(株)原町リサイクルセンター	9.0 km	円	円/t	運搬費 + 処分料 × 2.35	円	
84 鹿島区川子字滝沢151,152 加藤道路(株)	5.6 km	円	円/t	運搬費 + 処分料 × 2.35	円	
67 小高区女場字山神前24 世紀東急工業(株)福島舗材センター	12.0 km	円	円/t	運搬費 + 処分料 × 2.35	円	

無筋コンクリート殻：機械取壊

事業所名	運搬距離	運搬費	処分料	算式	m3当り単価	評価

鉄筋コンクリート殻：機械取壊

事業所名	運搬距離	運搬費	処分料	算式	m3当り単価	評価

汚泥

事業所名	運搬距離	運搬費	処分料	算式	m3当り単価	評価
96 原町区鶴谷字牛踏274 - 8 (株)モンマ	9.2 km	円	円/t	運搬費 + 処分料 × 1.40	円	

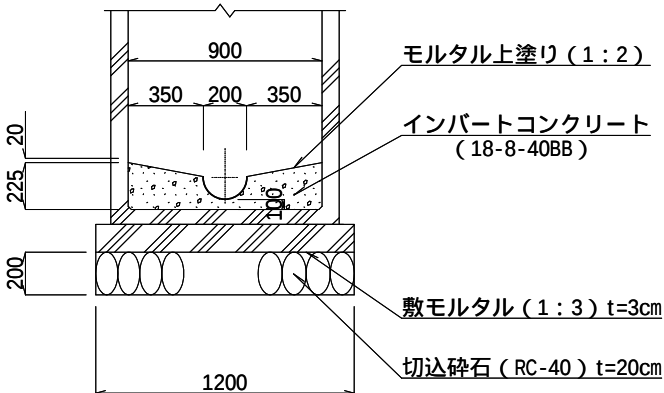
m3当り単価算出

- ・処分料が t 当り単価： $P = \text{運搬費} + \text{処分料} \times \gamma$
 ・処分料がm3当り単価： $P = \text{運搬費} + \text{処分料} \times \alpha$

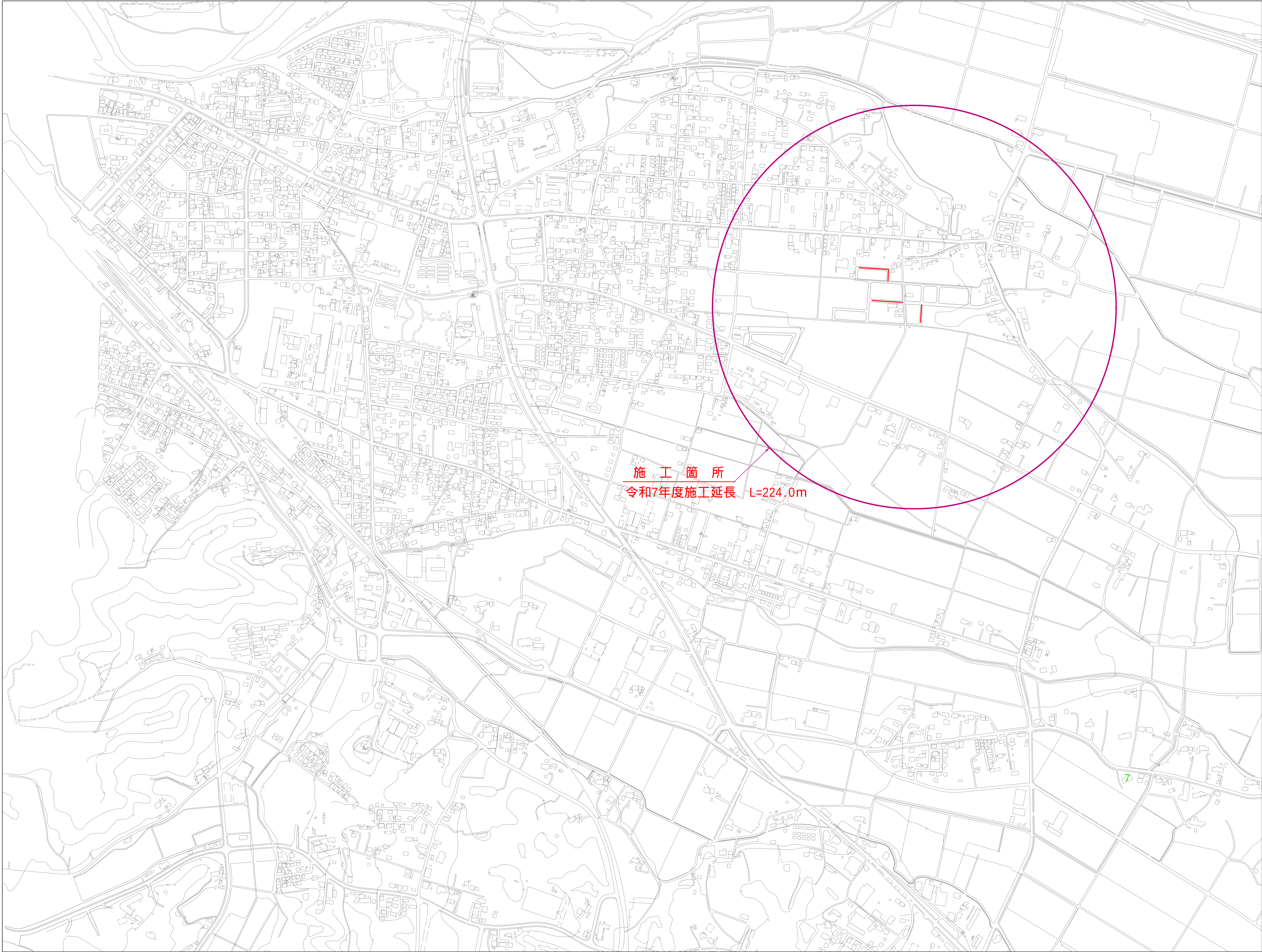
換 算 値

	α	β	γ
アスファルト	1.38	1.70	2.35
コンクリート(無筋)	1.38	1.70	2.35
コンクリート(鉄筋)	1.39	1.80	2.50
伐根物等(木材)			0.85

1号マンホール底部工 1ヶ所当たり

[illegible]

位置図 S=1:5,000

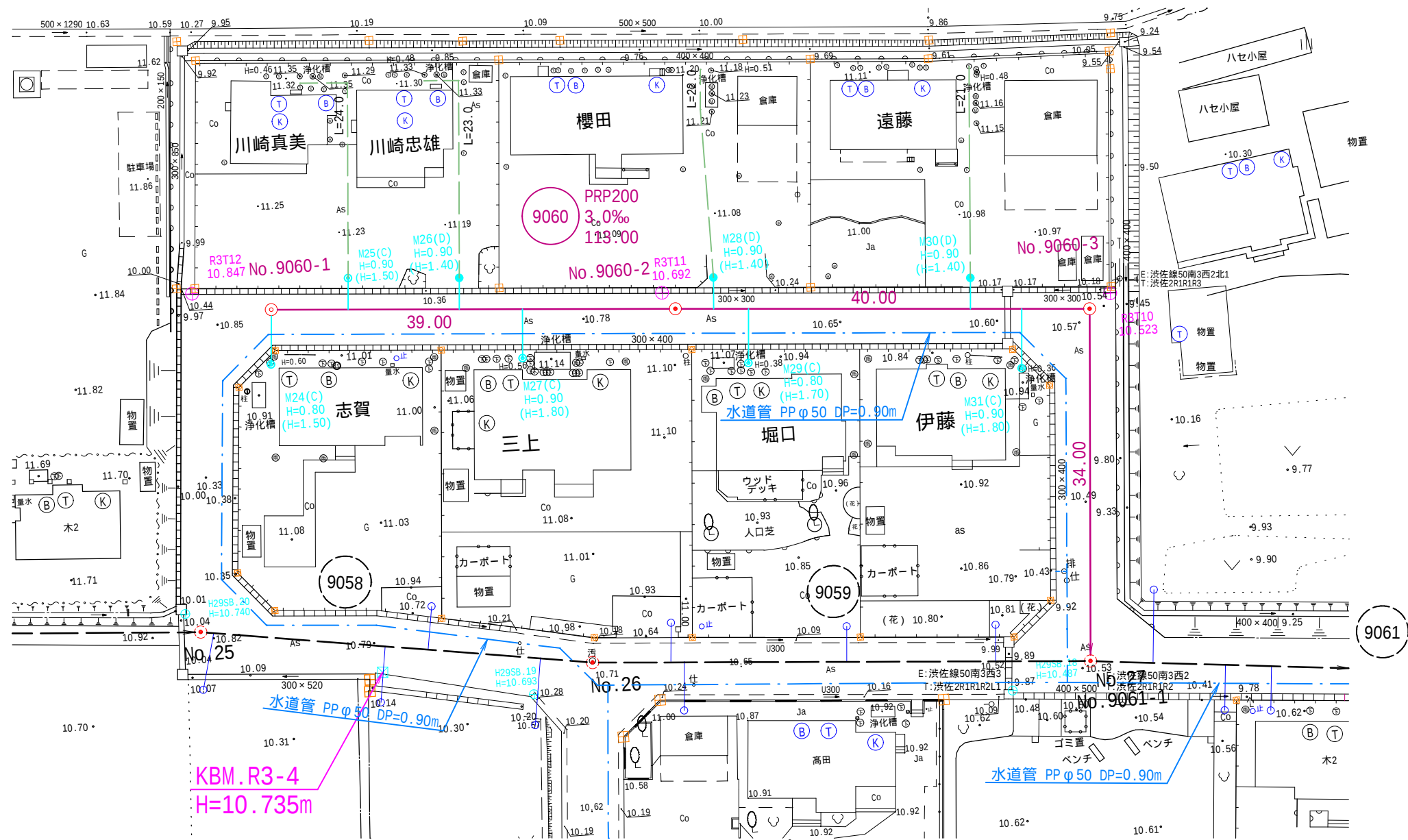
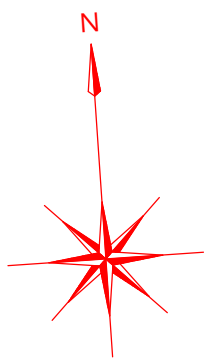


施工箇所
令和7年度施工延長 L=224.0m

令和 7 年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区上洪佐字原田 地内外			
原町区下水管渠築造第 2 工区工事			
位置図			
縮尺	S=1:5,000	図面番号	1 / 12
測量		令和 3年 10月	主任技術者
設計		令和 4年 2月	管理技術者
南 相 馬 市			

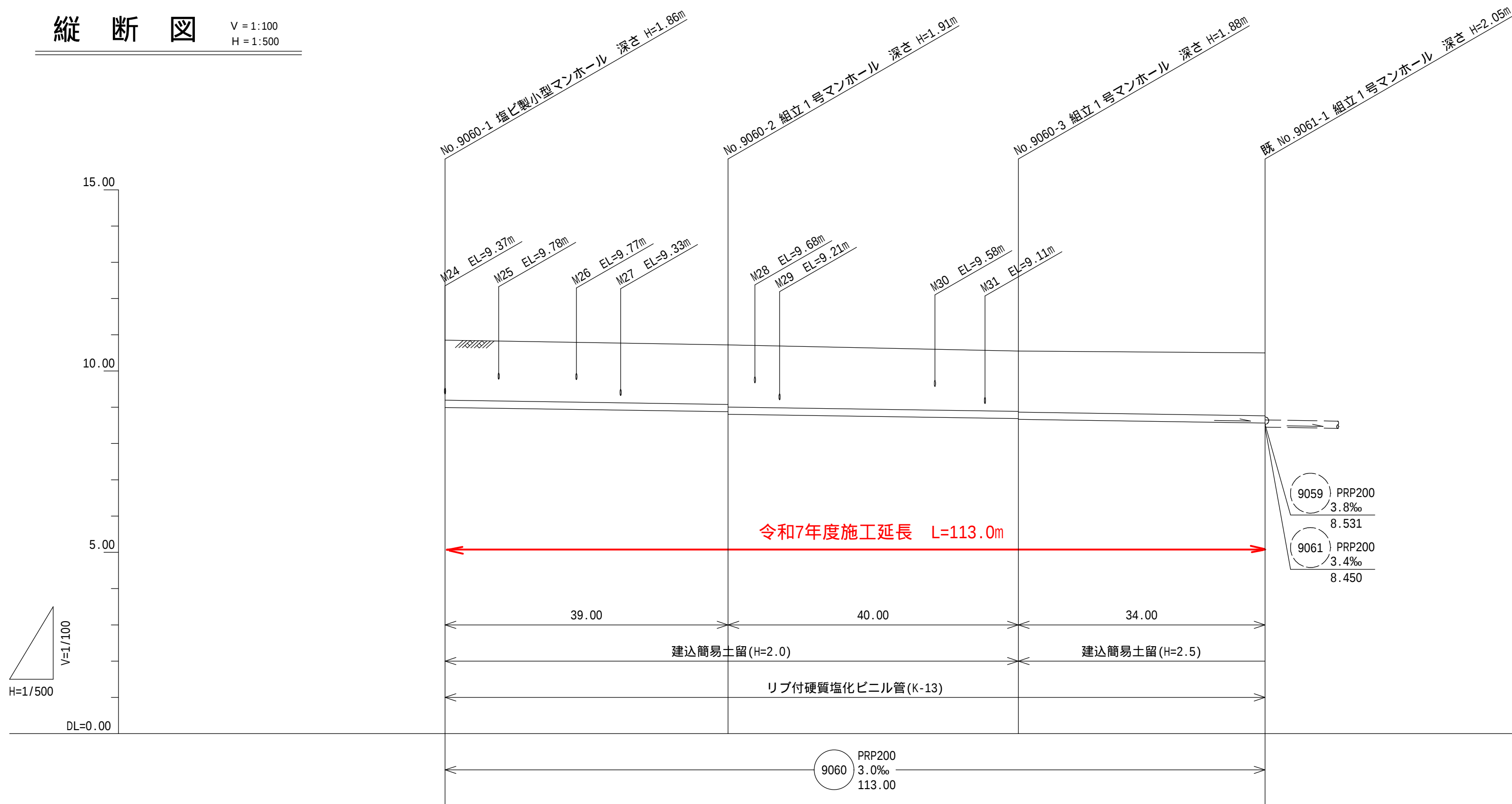
平面図

S = 1:500



縦断図

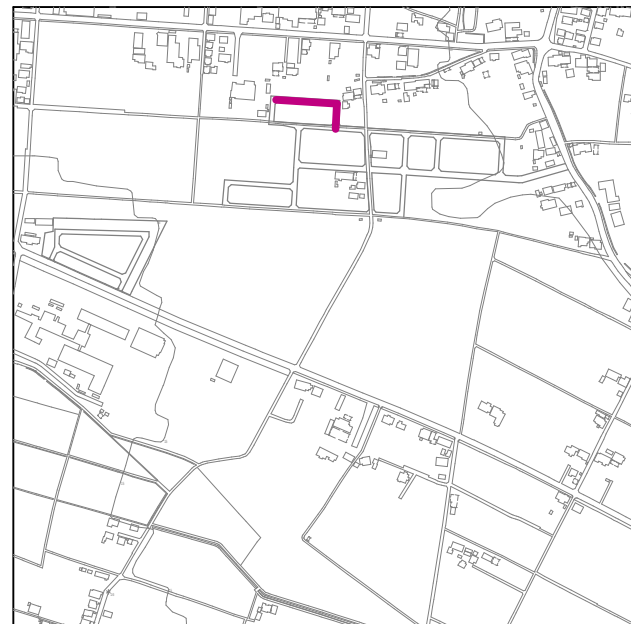
V = 1:100
H = 1:500



地盤高	10.85	10.72	10.55	10.50
掘削深	1.96	1.95 2.02	1.97 1.99	2.04
土被り	1.65	1.64 1.71	1.66 1.68	1.73
管底高	8.894	8.877 8.807	8.687 8.667	8.585
追加距離	0.00	39.00	79.00	113.00
単距離	0.00	39.00	40.00	34.00
測点	9060-1	9060-2	9060-3	9061-1

案内図

S = 1:5000



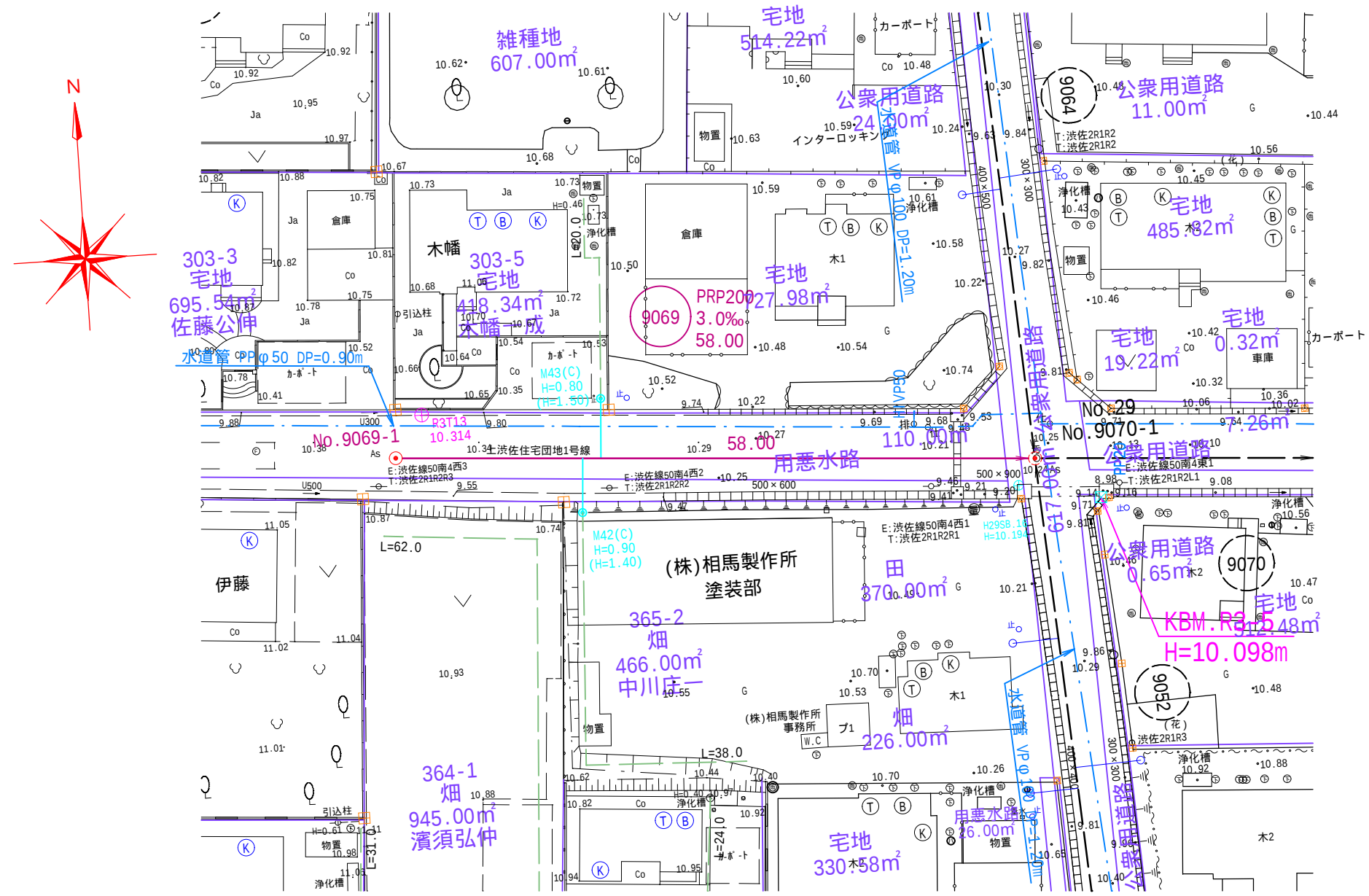
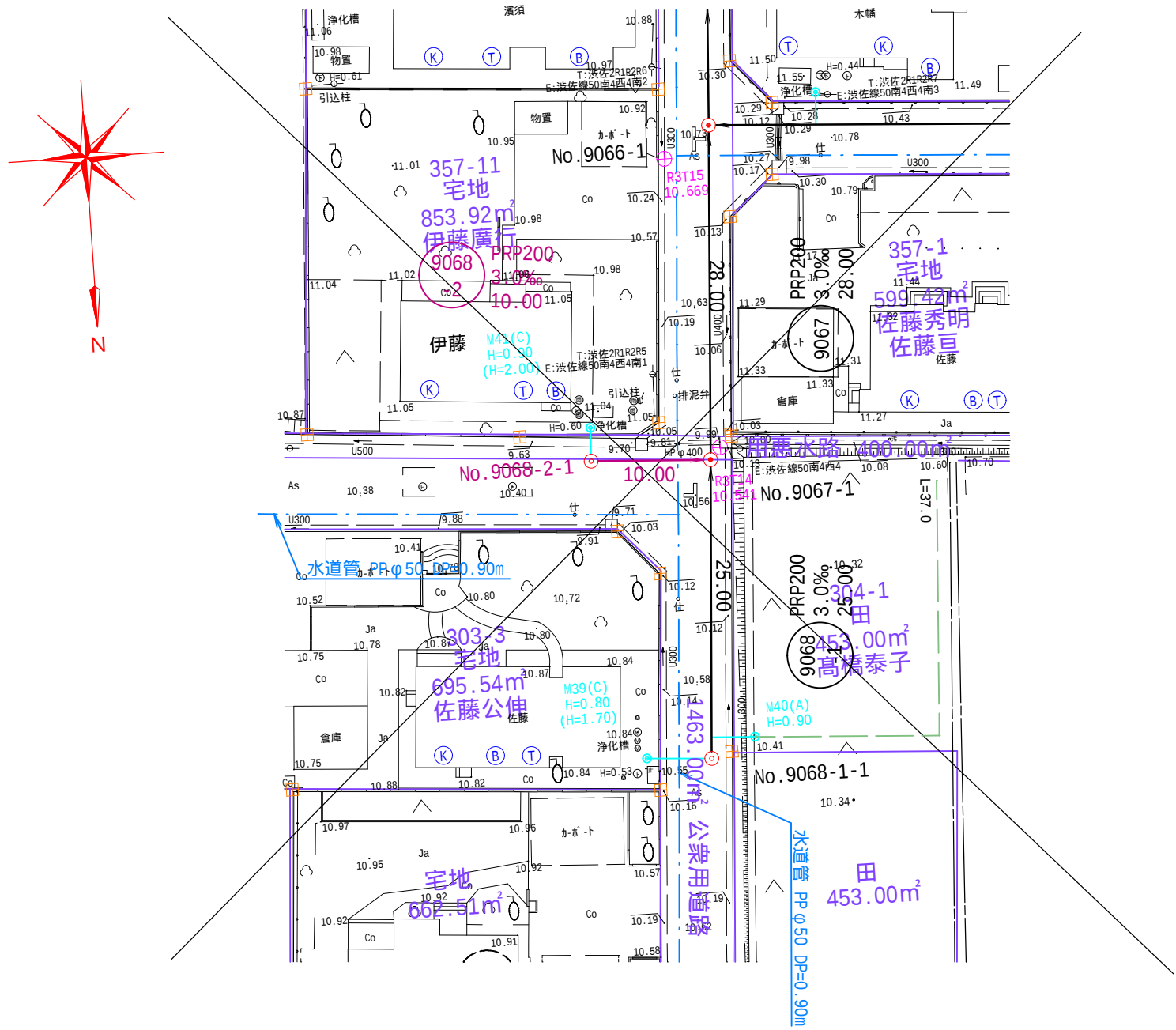
凡例

記号	名称
PRP200 3.00% 200.00	管径 勾配 延長
●	1号マンホール(内径90cm)
○	2号マンホール(内径75cm)
⊗	横円マンホール(内径90×60cm)
⊙	小口径塩ビ管(内径30cm)
●	既設1号マンホール(内径90cm)
—	汚水渠(鉄蓋)・取付管
—	汚水渠(塩ビ蓋)・取付管

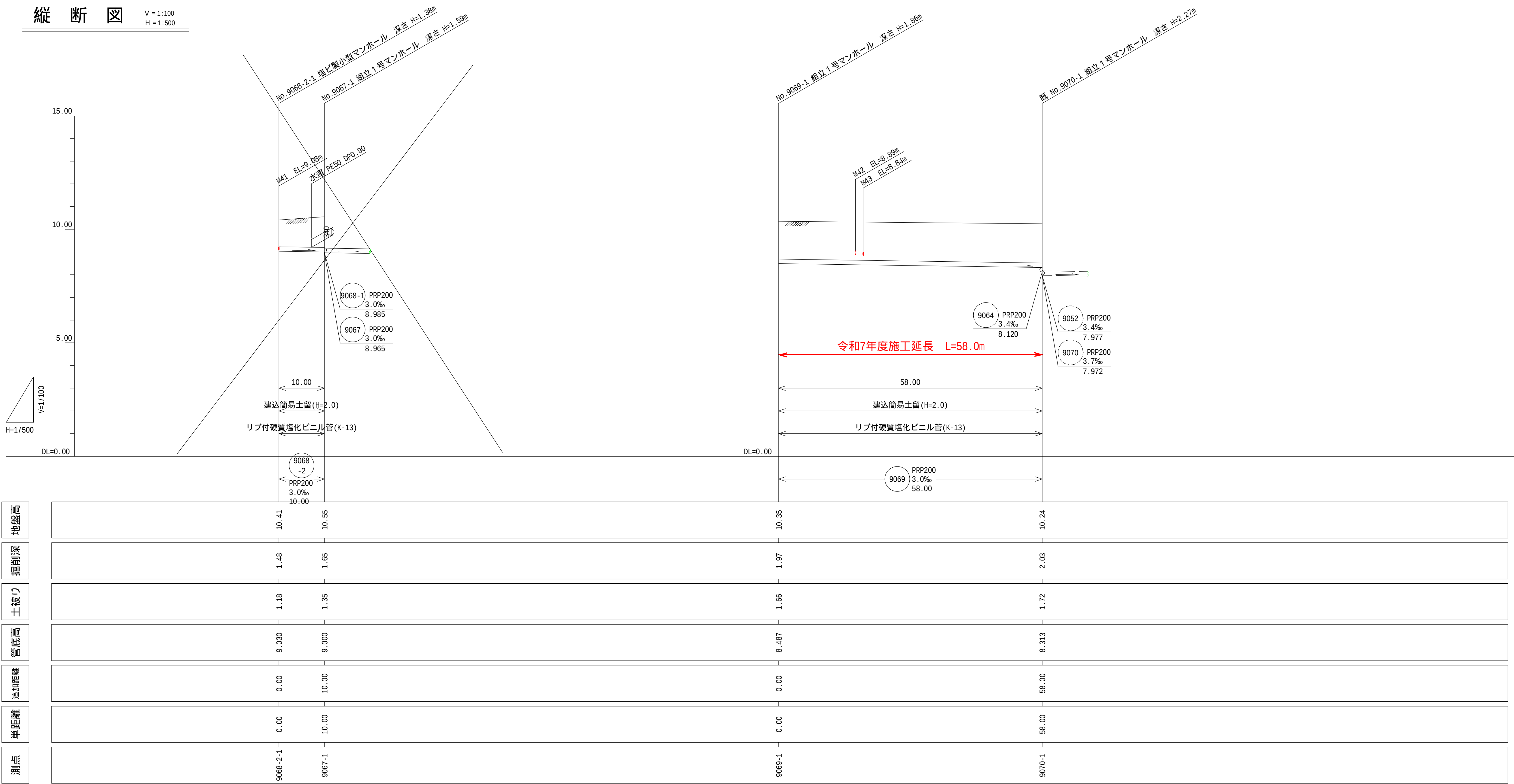
路線番号
9060

令和7年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区上洪佐字原田 地内外			
原町区下水管渠築造第2工区工事			
平面図・縦断図			
縮尺	図示	図面番号	2 / 12
測量		令和3年10月 主任技術者	
設計		令和4年2月 管理技術者	
南 相 馬 市			

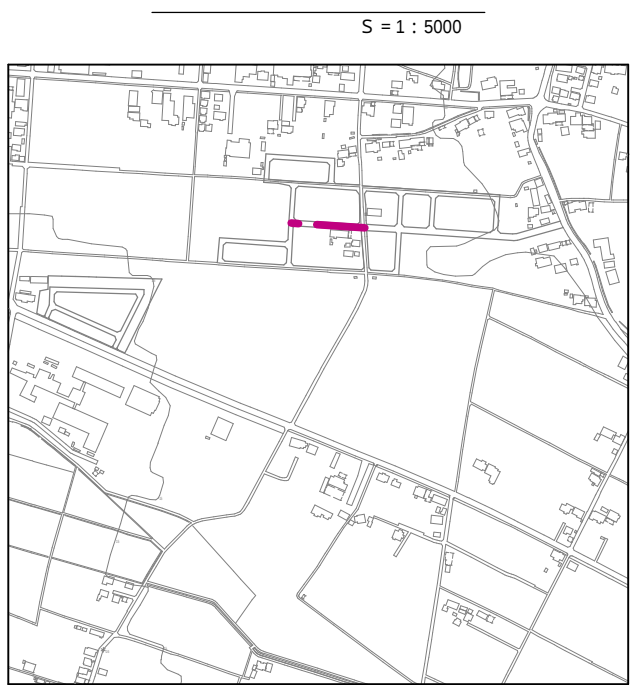
平 面 図 S = 1:500



縦 断 図 V = 1:100
H = 1:500



案 内 図



凡 例

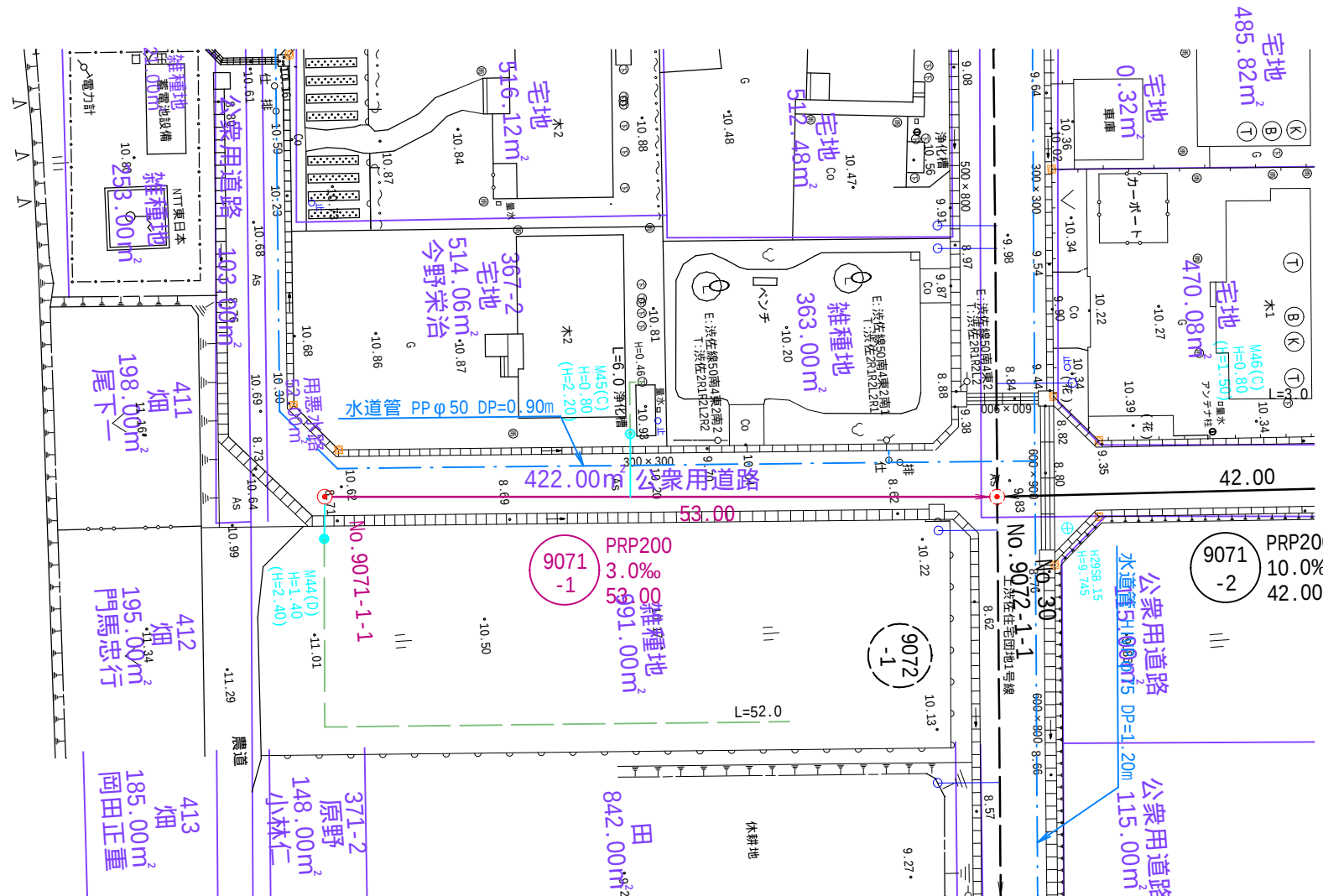
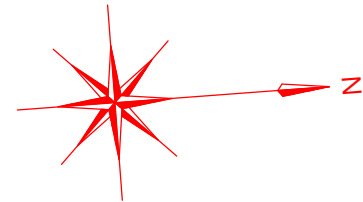
記 号	名 称
1000	管 径 勾 配 延 長
●	1号マンホール(内径90cm)
○	2号マンホール(内径75cm)
⊗	構内マンホール(内径90×60cm)
⊙	小口径塩ビ管(内径30cm)
●	既設1号マンホール(内径90cm)
—●—	汚水樹(鉄蓋)・取付管
—○—	汚水樹(塩ビ蓋)・取付管

路 線 番 号
9068-2 9069

令和 7 年 度 工 事 番 号 第 号			
南相馬市原町区上洪佐字原田 地内外			
原町区下水管渠築造第2工区工事			
平面図・縦断図			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	3 / 12
測 量		令和 3年 主 任 10月 技 術 者	
設 計		令和 4年 管 理 2月 技 術 者	
南 相 馬 市			

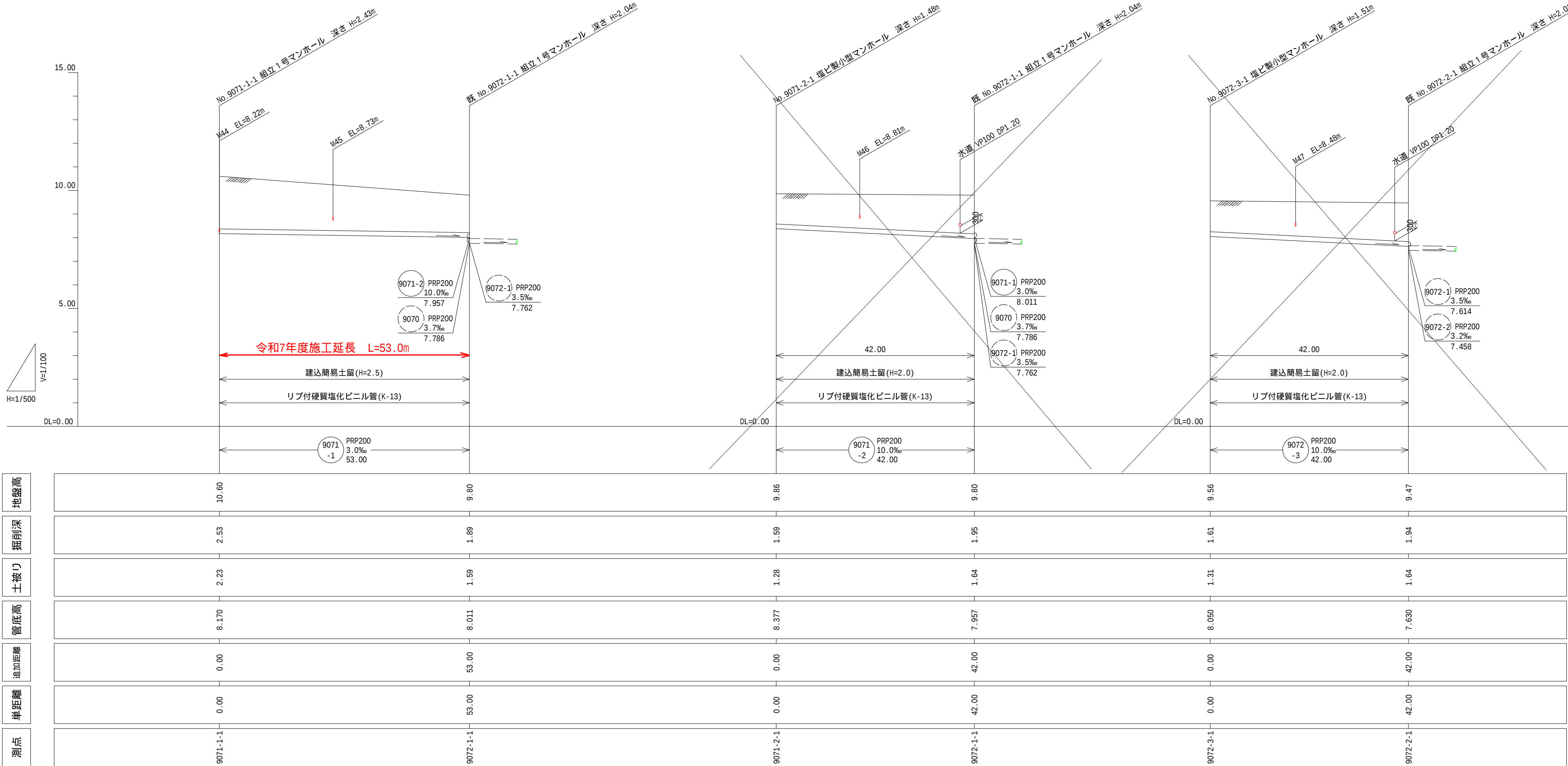
平面図

S = 1:500



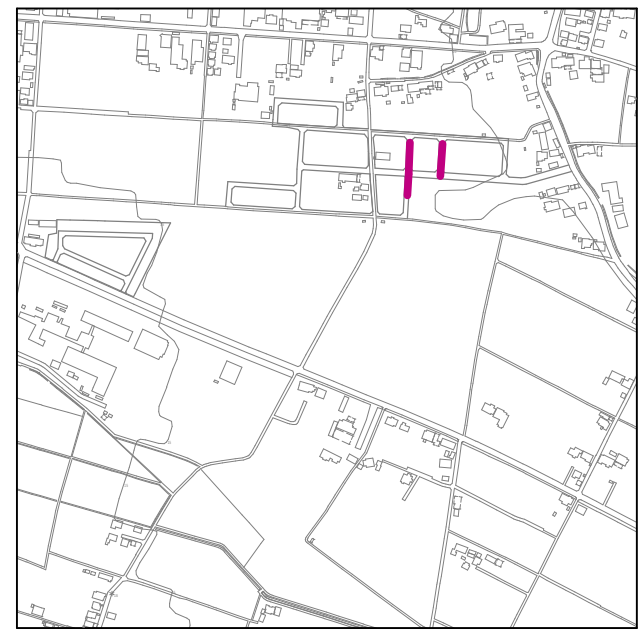
縦断面図

V = 1:100
H = 1:500



案内図

S = 1:5000



凡例

記号	名称
1000	管径配延長
●	1号マンホール(内径90cm)
○	2号マンホール(内径15cm)
⊗	横田マンホール(内径90×60cm)
⊙	小口径埋込管(内径30cm)
⊕	既設1号マンホール(内径90cm)
—●—	汚水樹(鉄蓋)・取付管
—⊕—	汚水樹(塩ビ蓋)・取付管

路線番号		
9071-1	9071-2	9072-3

令和7年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区上洪佐字原田 地内外			
原町区下水道築造第2工区工事			
平面図・縦断面図			
縮尺	図示	図面番号	4 / 12
測量	令和3年10月	主任技術者	
設計	令和4年2月	管理技術者	
南相馬市			

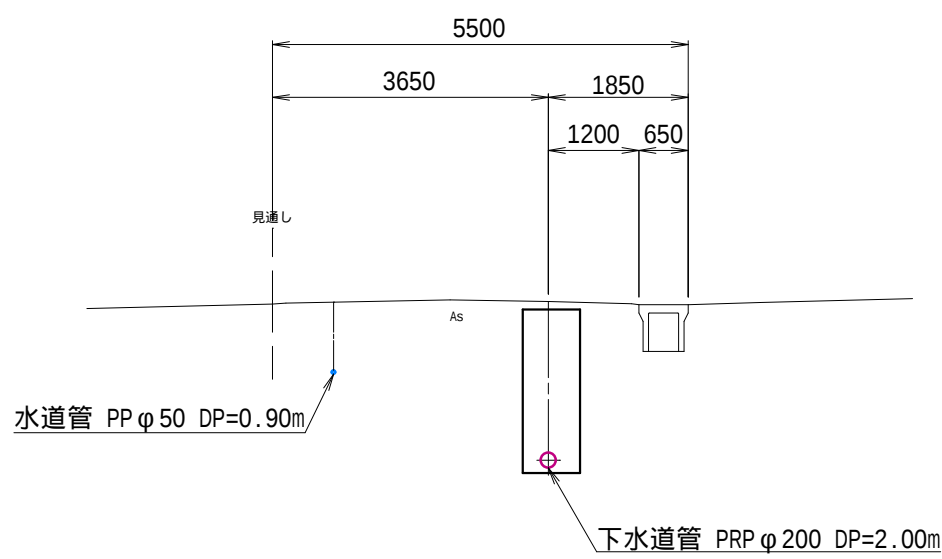
横断図

S = 1:100

NO.9051-1

GH=10.90

FH=

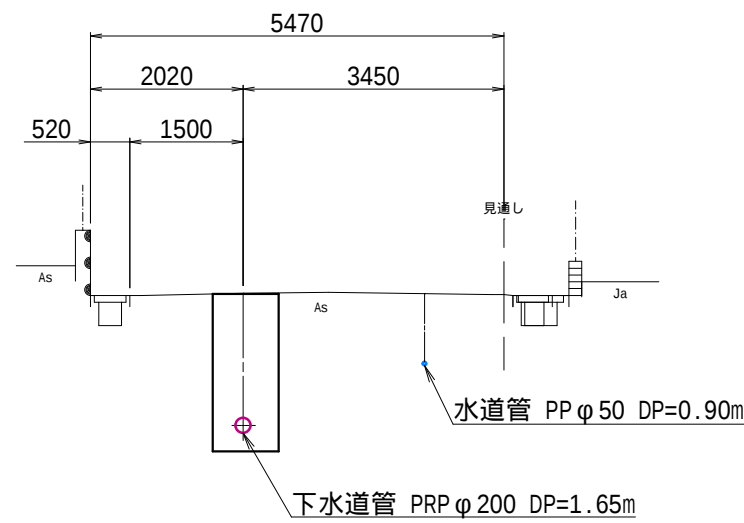


DL=7.00

NO.9060-1

GH=10.85

FH=

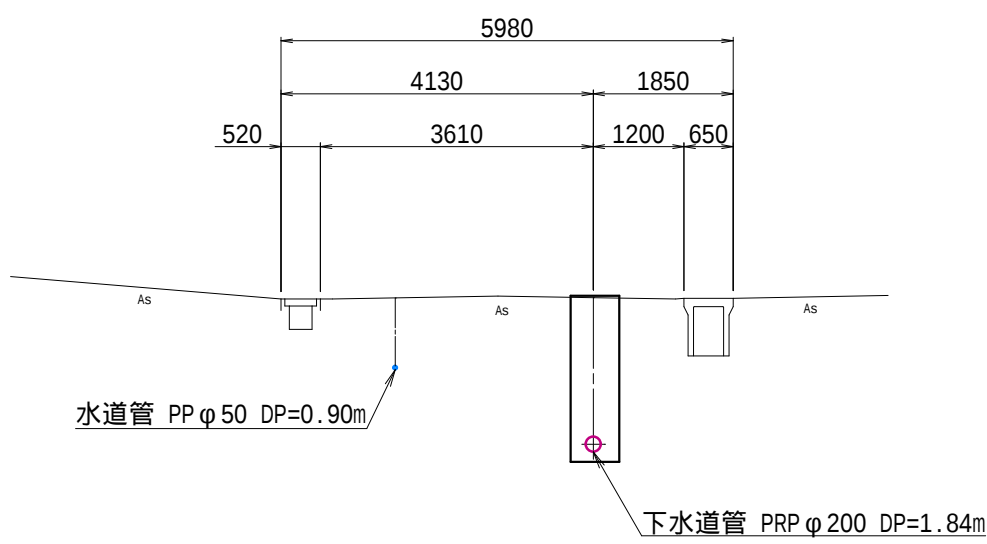


DL=5.00

NO.9050-2

GH=11.45

FH=

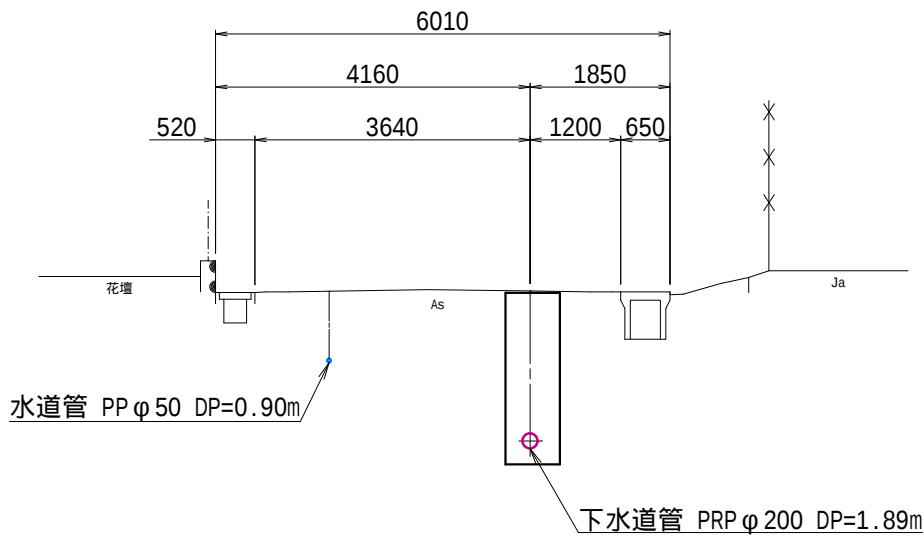


DL=7.00

NO.9051-3

GH=10.48

FH=

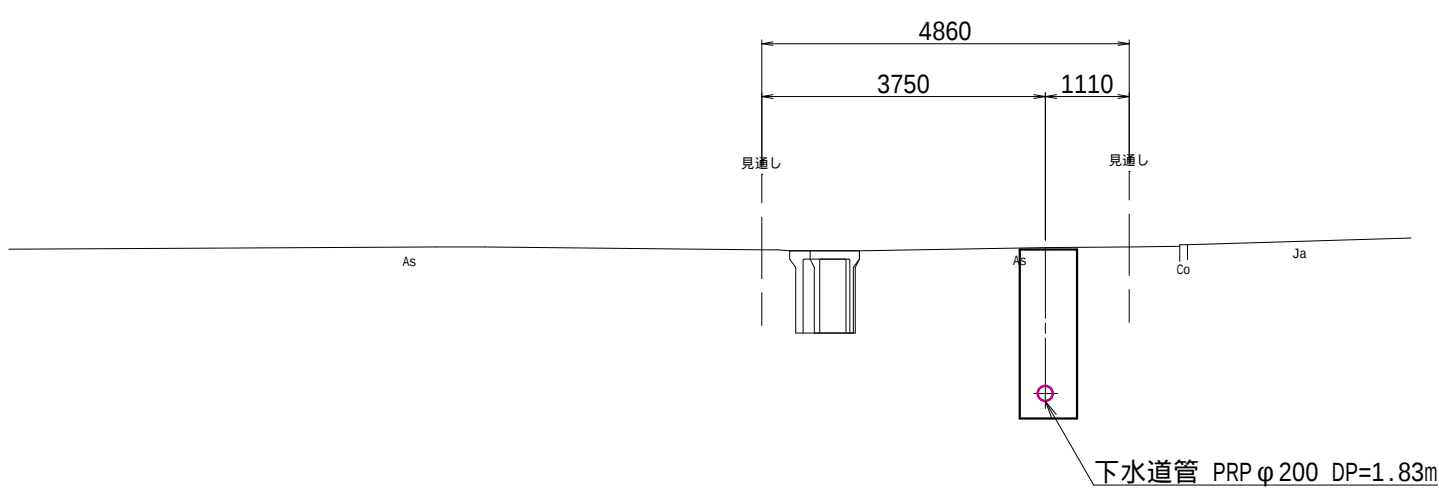


DL=5.00

NO.9050-1

GH=11.91

FH=

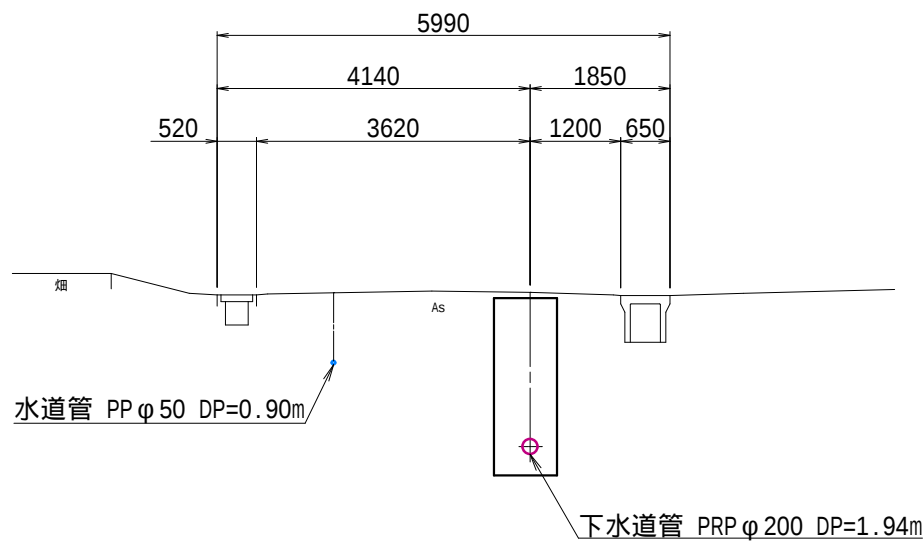


DL=7.00

NO.9051-2

GH=10.68

FH=



DL=5.00

NO.9050-1 ~ NO.9060-1

令和 7 年度 工事番号 第 号				
南相馬市原町区上洪佐字原田 地内外				
原町区下水管渠築造第2工区工事				
横断図				
縮尺	図示	図面番号	5 / 12	
測量		令和 3年 10月	主任 技術者	
設計		令和 4年 2月	管理 技術者	
南 相 馬 市				

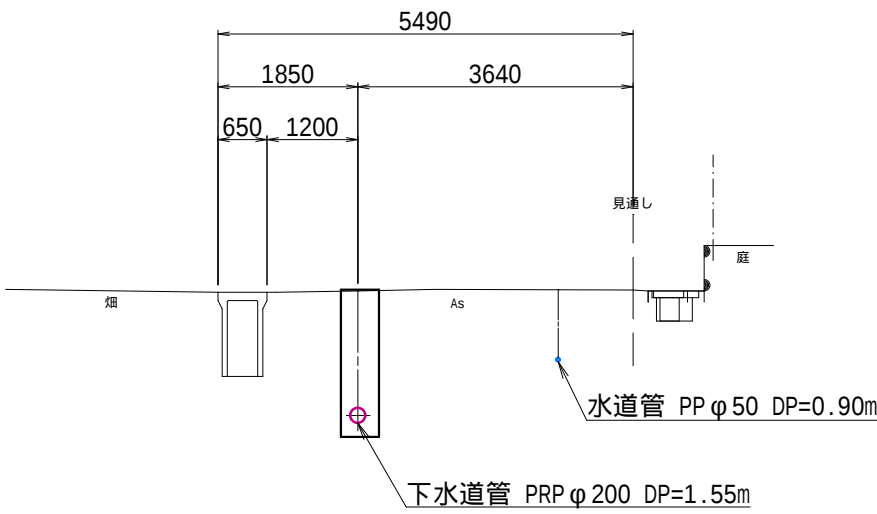
横断図

S = 1:100

NO.9065-1

GH=11.90

FH=



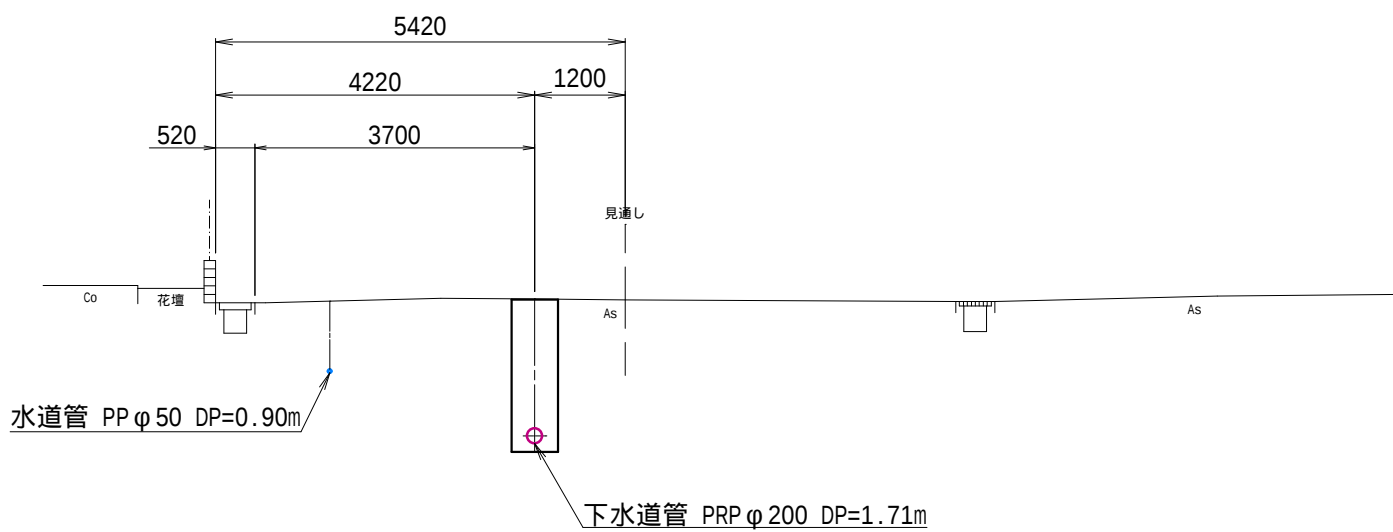
DL=7.00

DL=7.00

NO.9066-1

GH=10.72

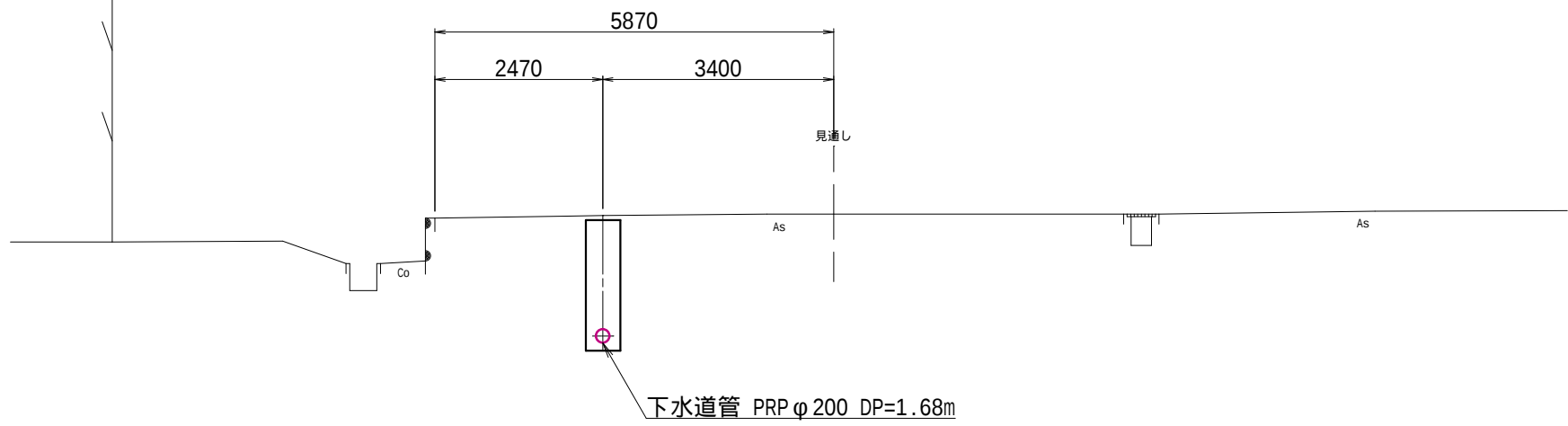
FH=



NO.9060-3

GH=10.55

FH=



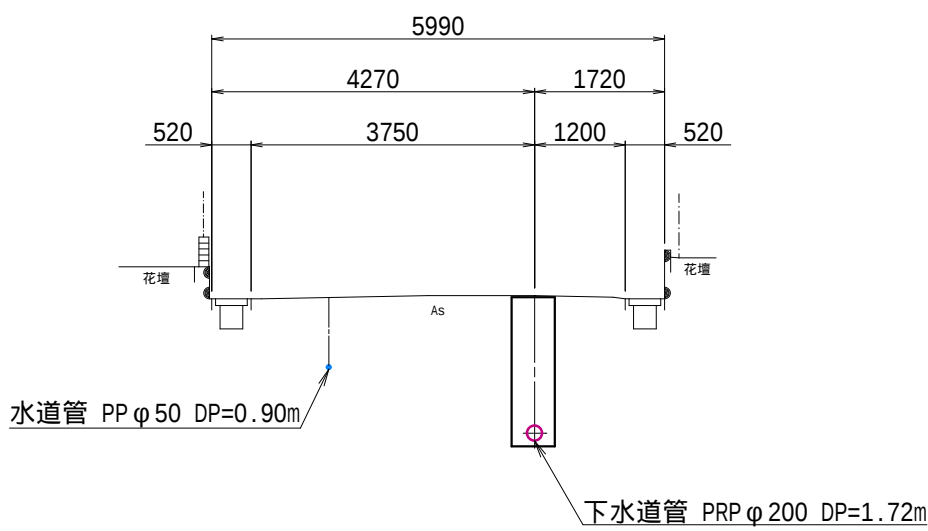
DL=5.00

DL=7.00

NO.9065-3

GH=11.21

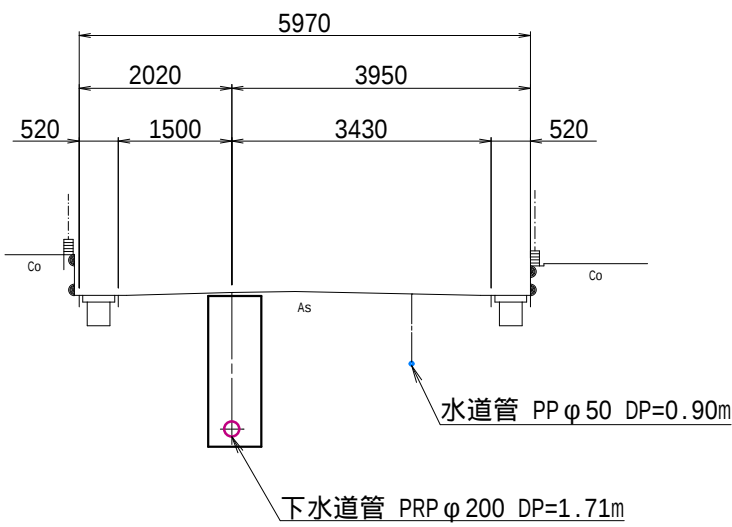
FH=



NO.9060-2

GH=10.72

FH=



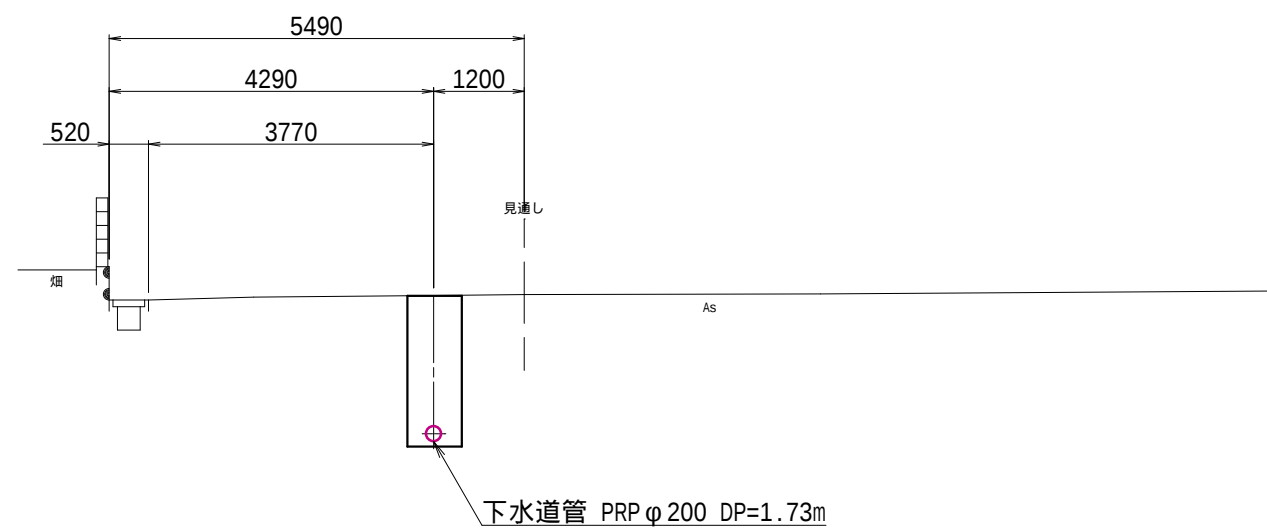
DL=5.00

DL=7.00

NO.9065-2

GH=11.78

FH=

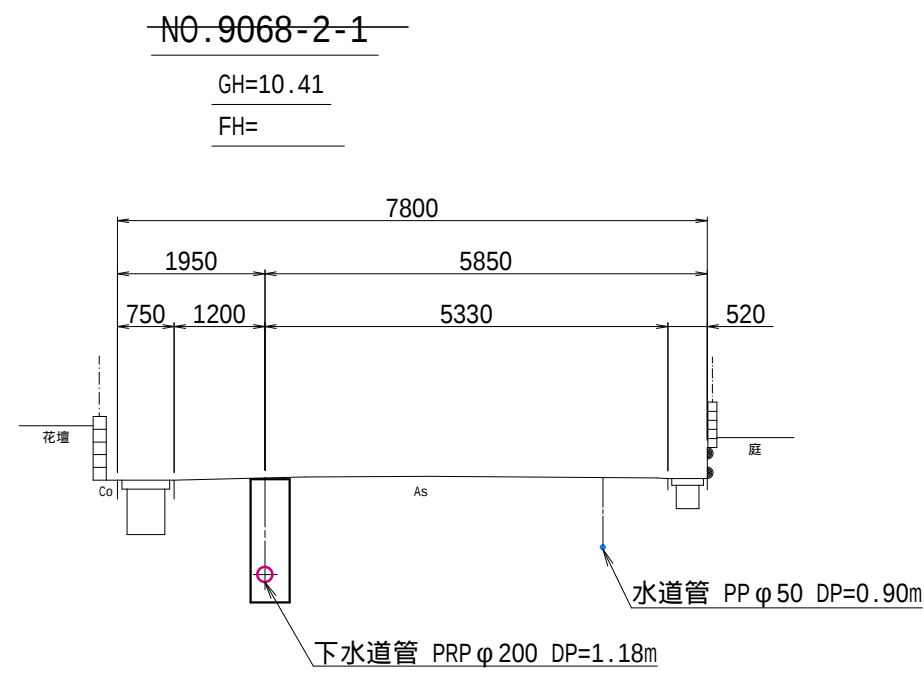


NO.9060-2 - NO.9066-1

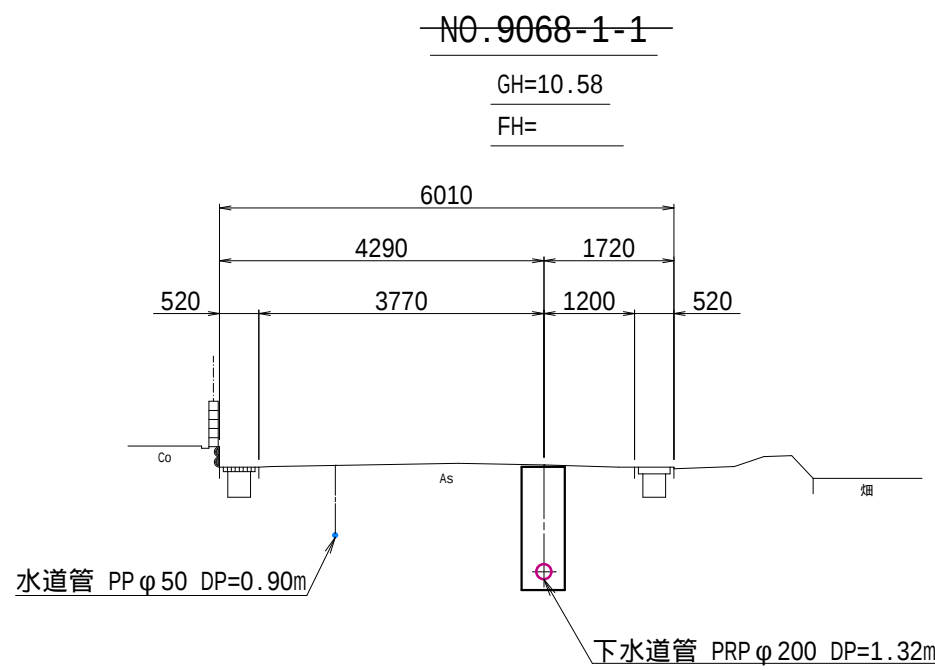
令和 7 年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区上洪佐字原田 地内外			
原町区下水管渠築造第 2 工区工事			
横断図			
縮尺	図示	図面番号	6 / 12
測量		令和 3 年 10 月 主任技術者	
設計		令和 4 年 2 月 管理技術者	
南 相 馬 市			

横断図

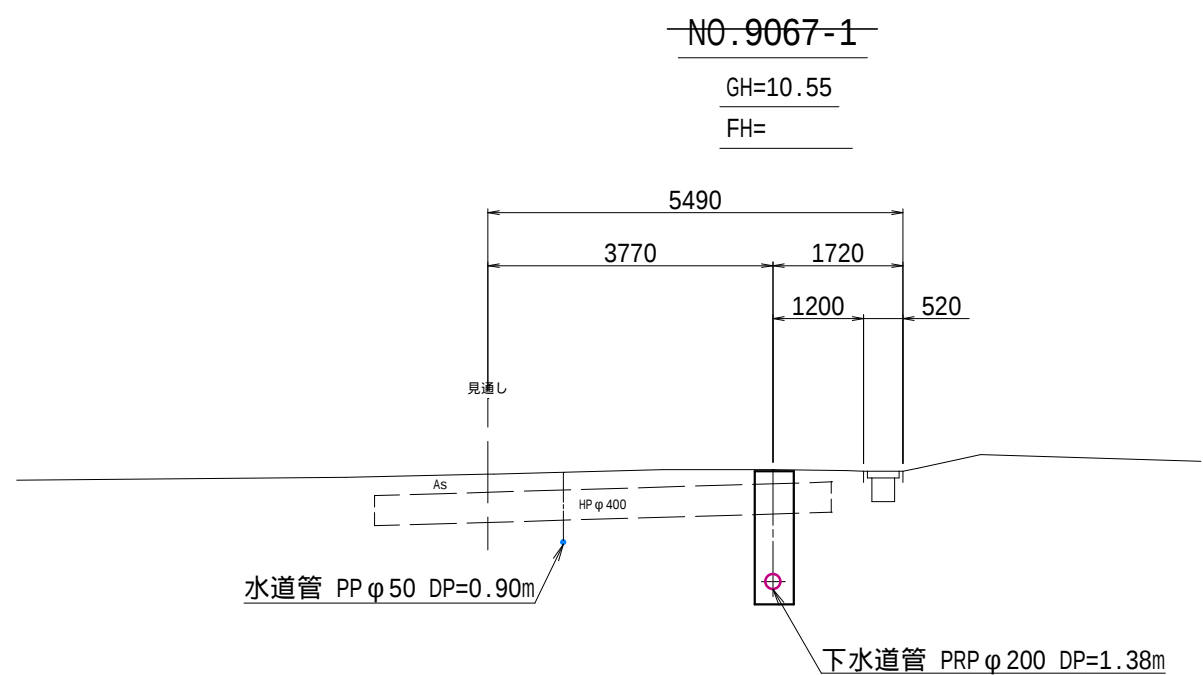
S = 1:100



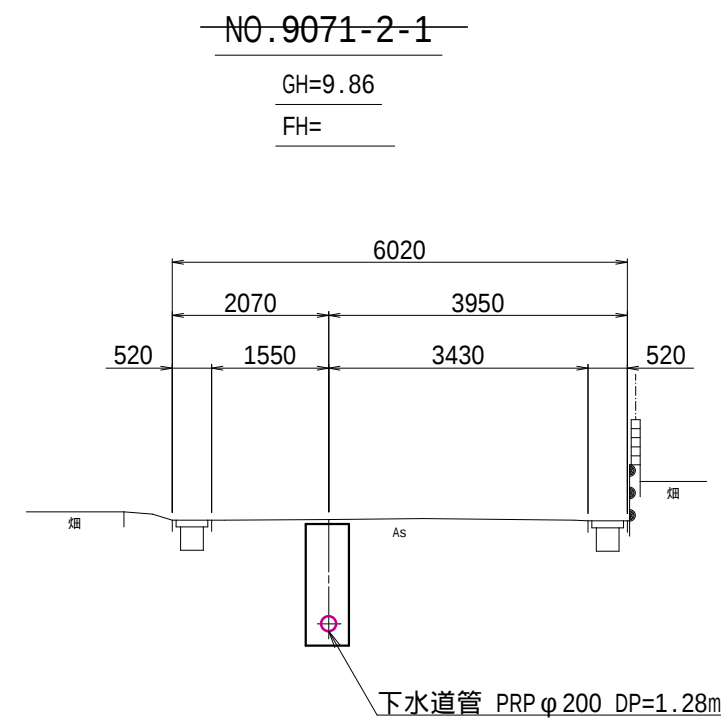
DL=5.00



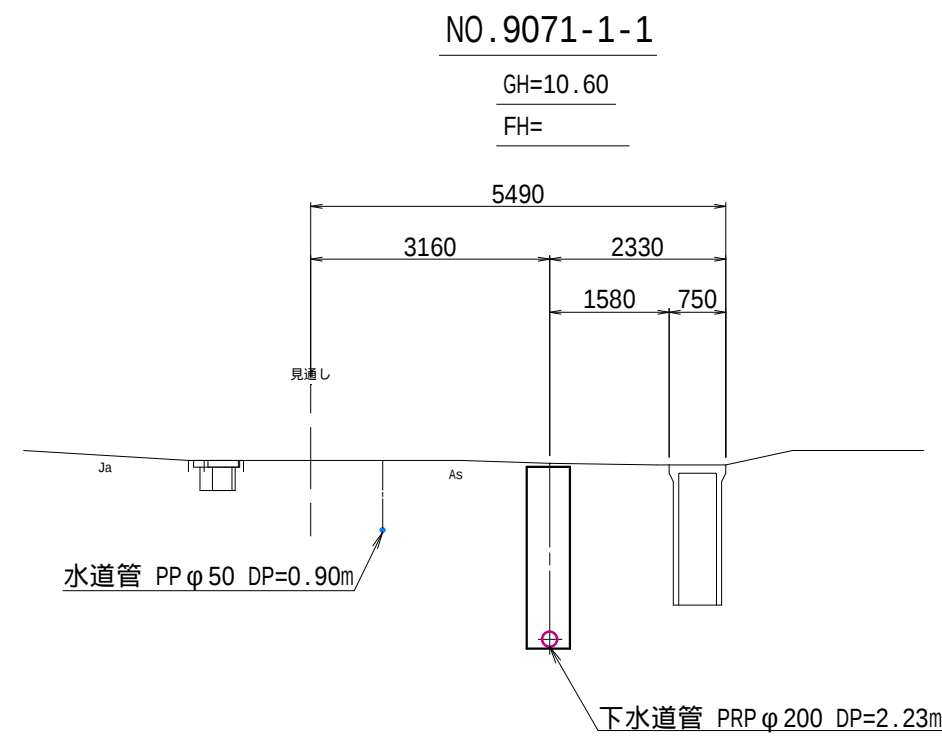
DL=5.00



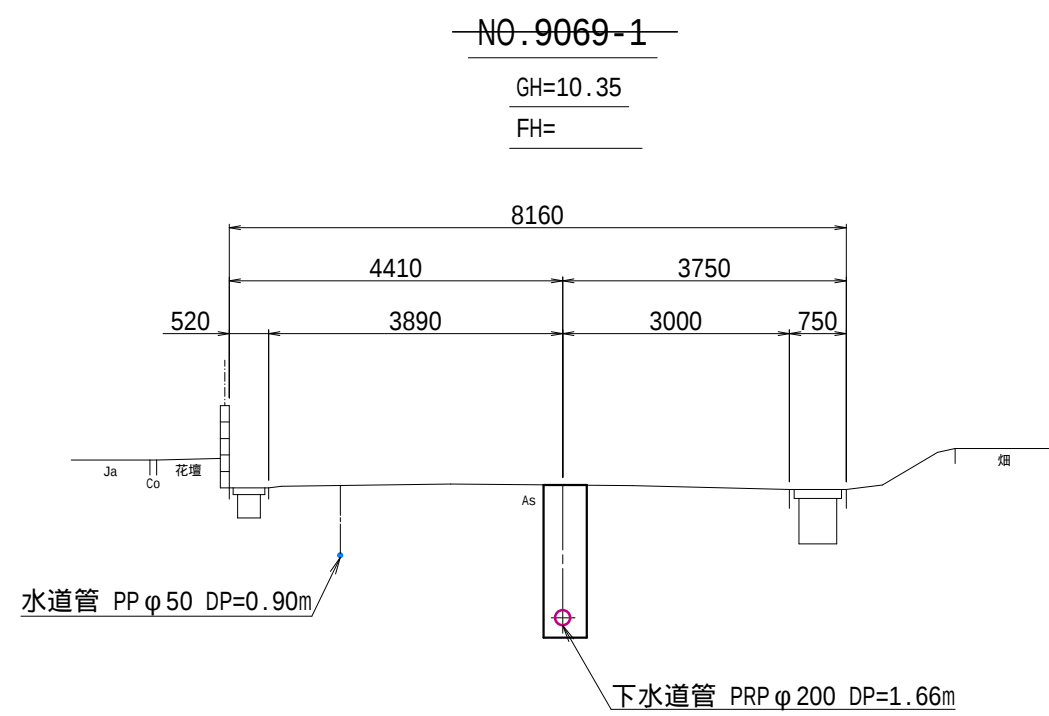
DL=5.00



DL=5.00



DL=5.00



DL=5.00

NO.9067-1 ~ NO.9071-1-1

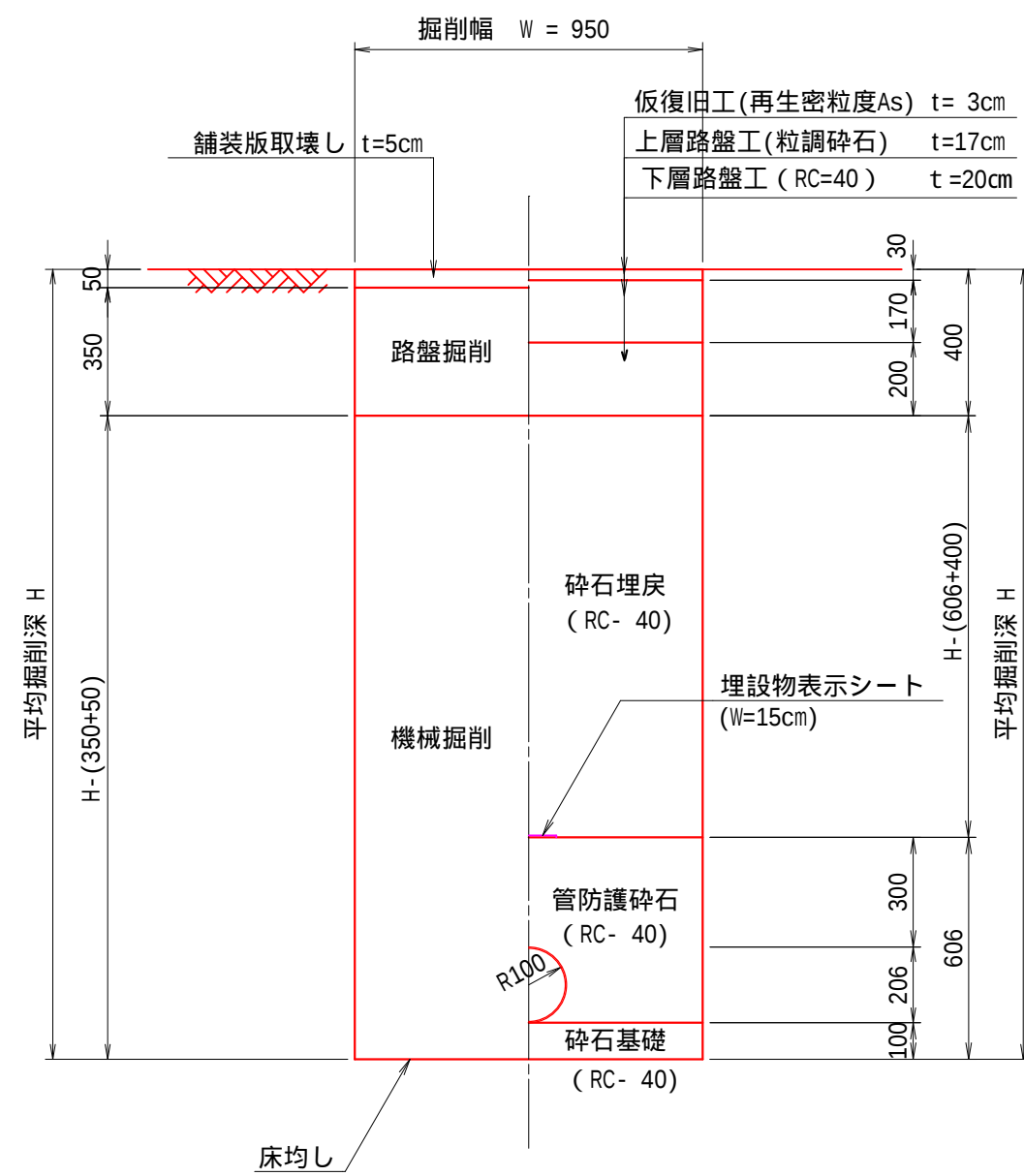
令和 7 年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区上洪佐字原田 地内外			
原町区下水管渠築造第 2 工区工事			
横断図			
縮尺	図示	図面番号	7 / 12
測量		令和 3 年 10 月 主任技術者	
設計		令和 4 年 2 月 管理技術者	
南 相 馬 市			

(PRP φ 200)

—(インターロッキング歩道部)—

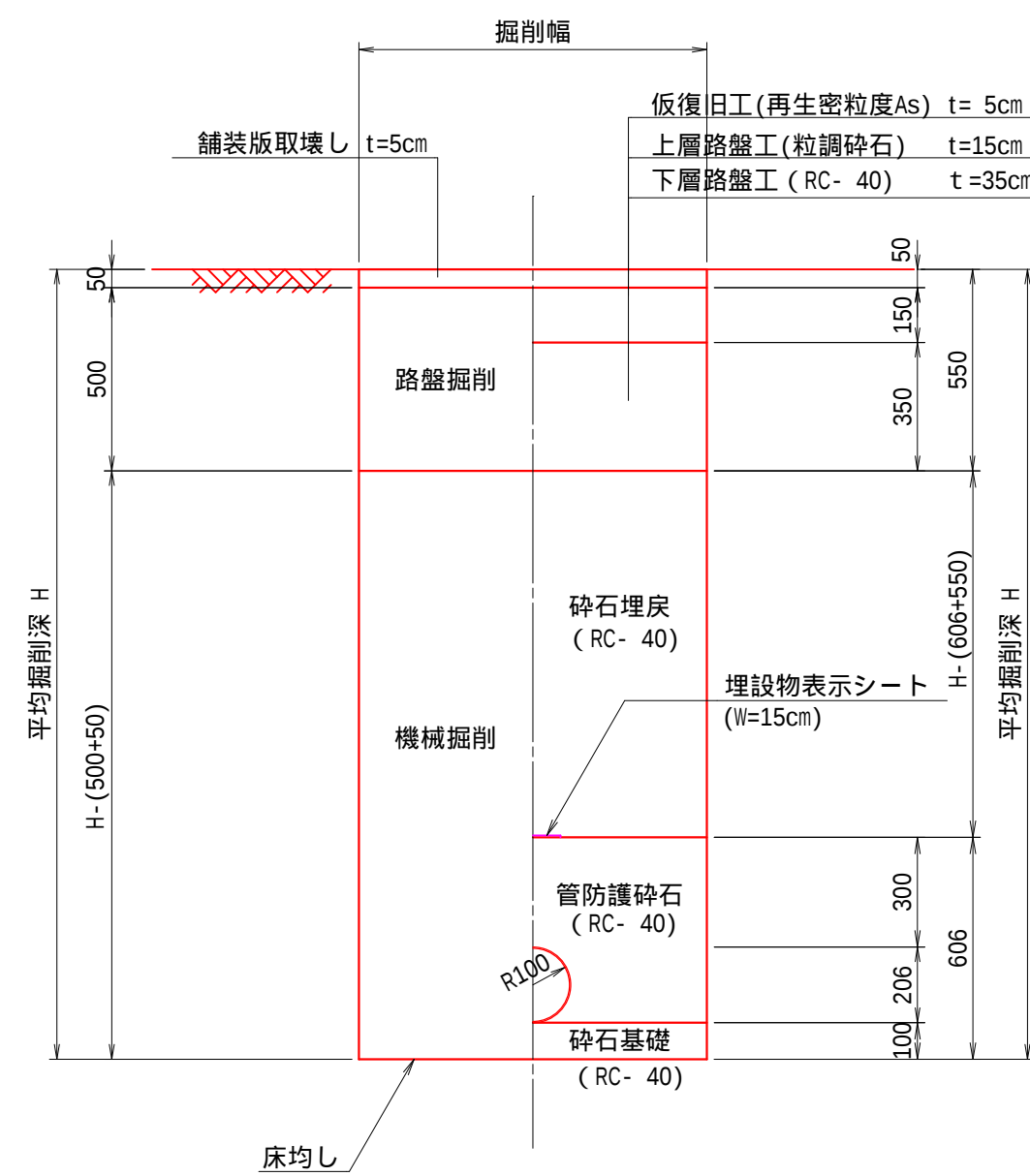
(市道車道部)

掘 削 埋 戾



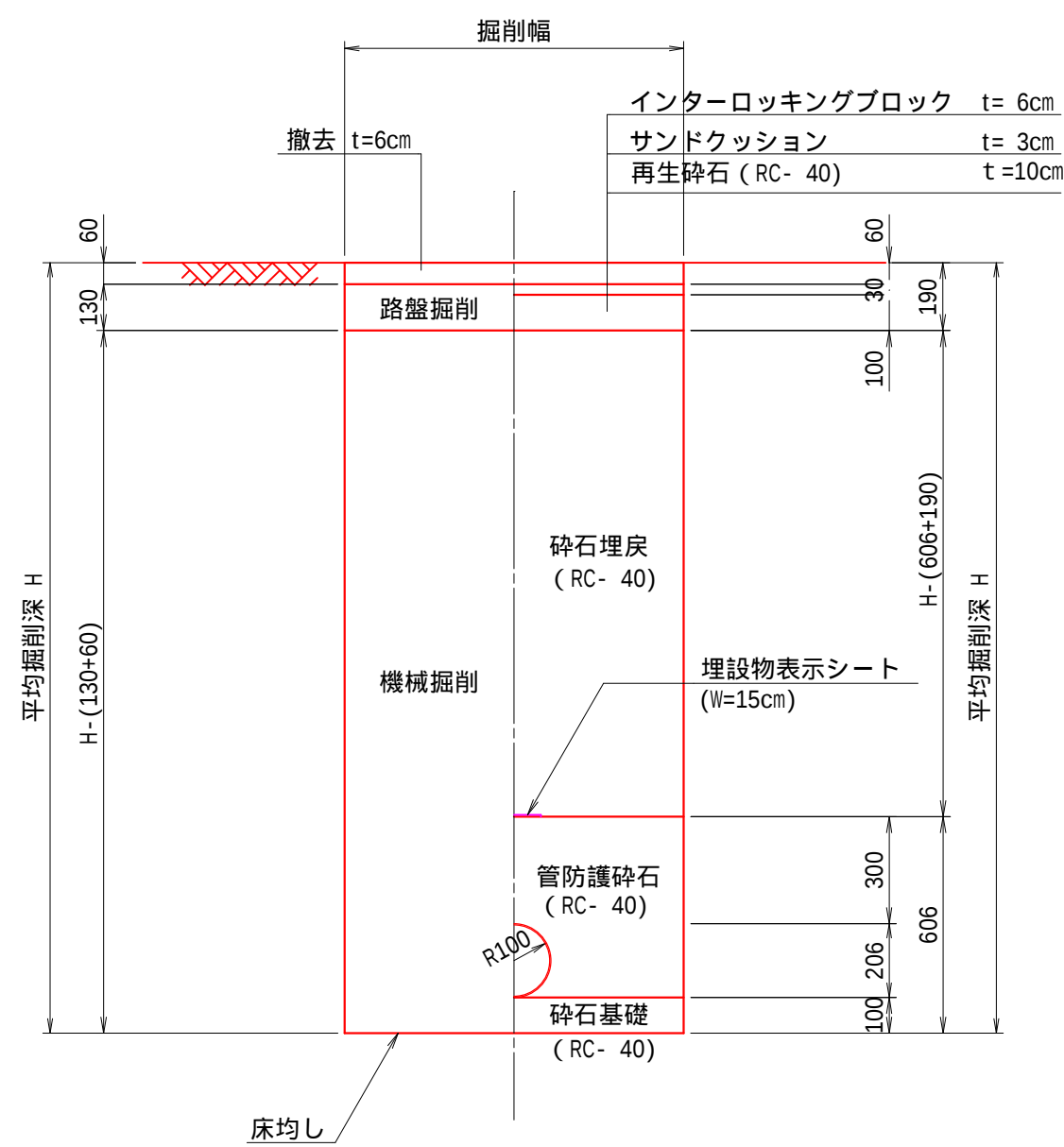
~~＝(県道車道部)＝~~

掘 削



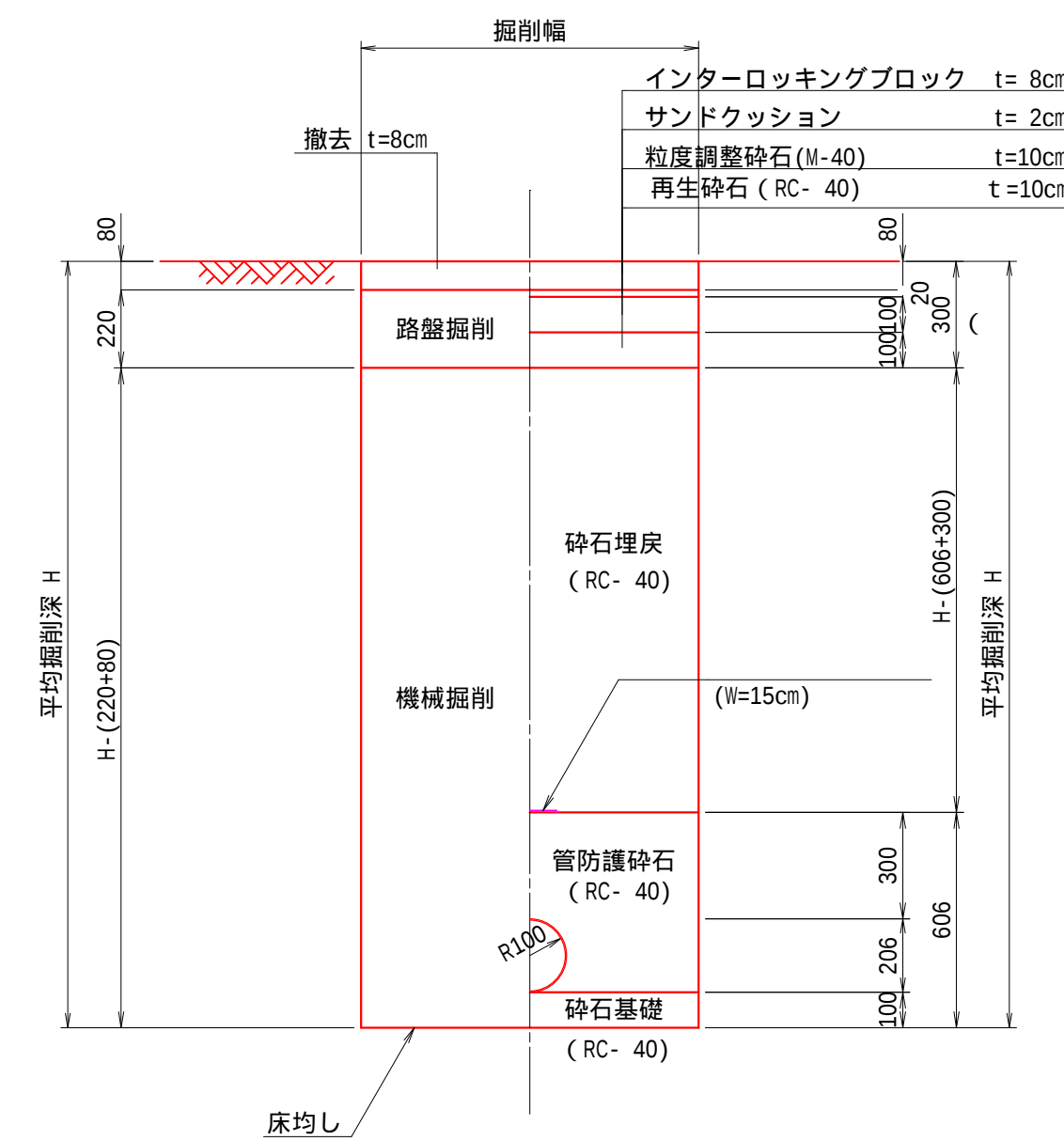
—(インターロッキング歩道部)—

掘 削 埋 戾



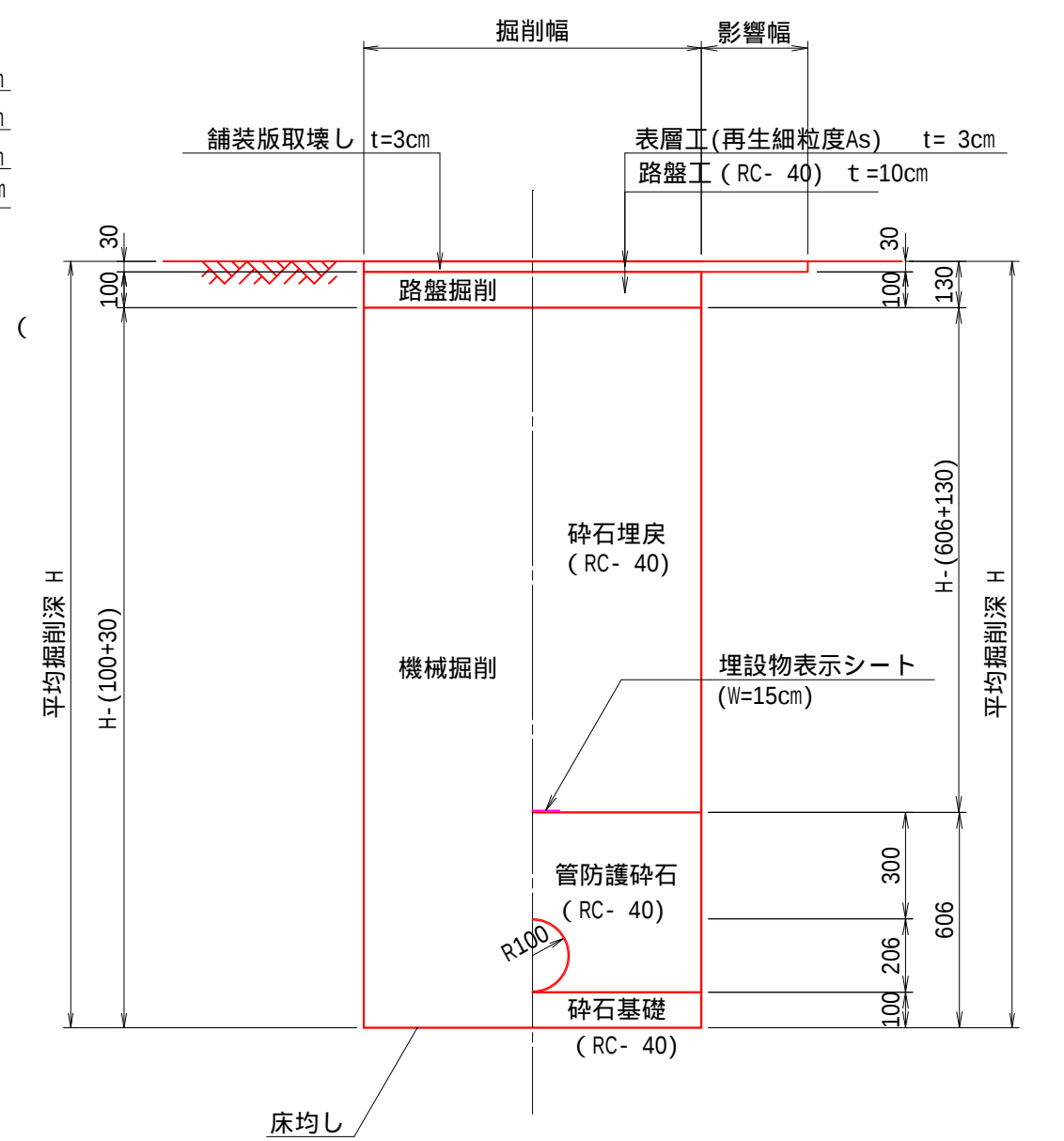
—(インターロッキング車乗入れ部)—

掘 削



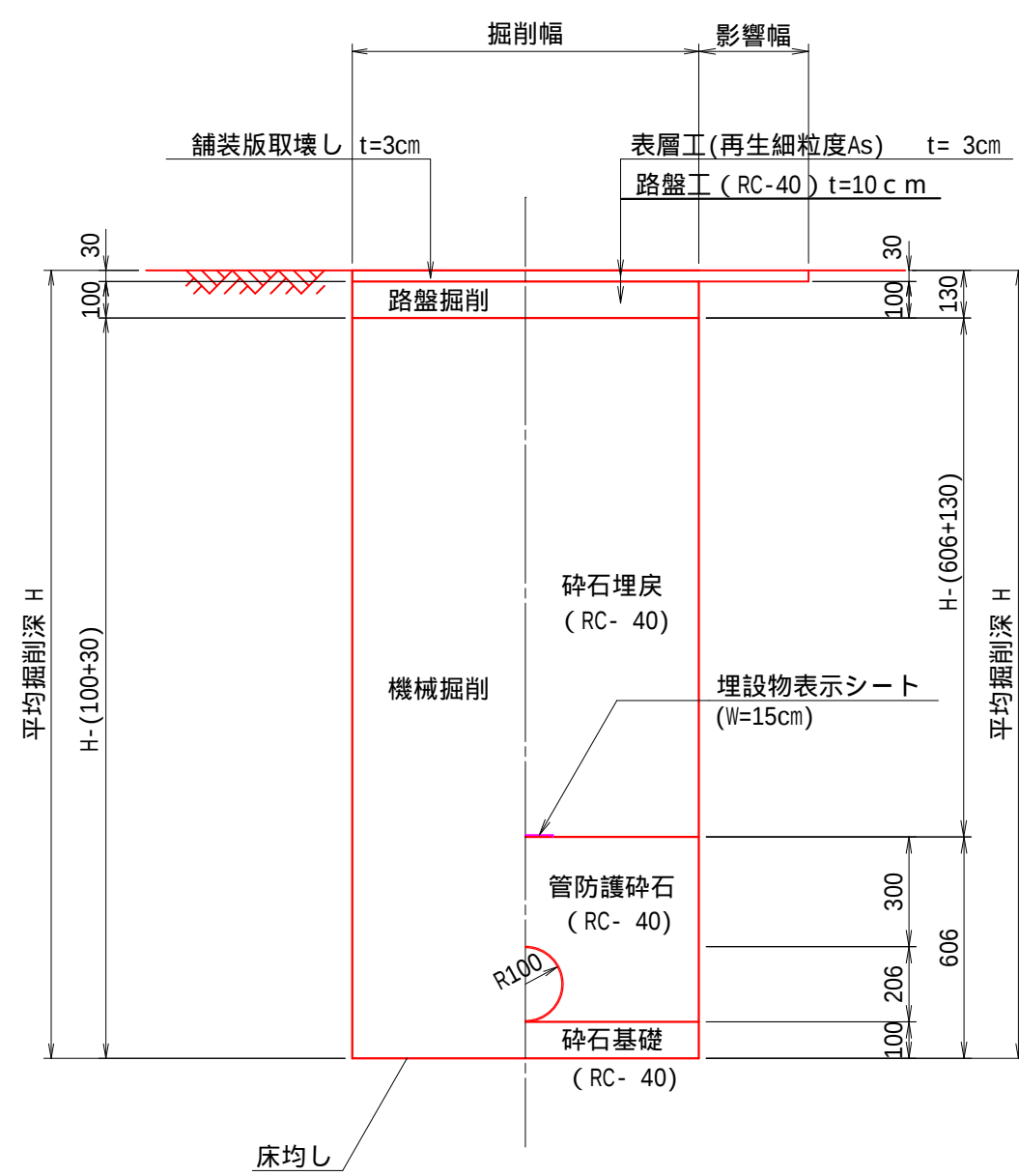
＝(市道歩道部)＝

掘 削 埋 戾

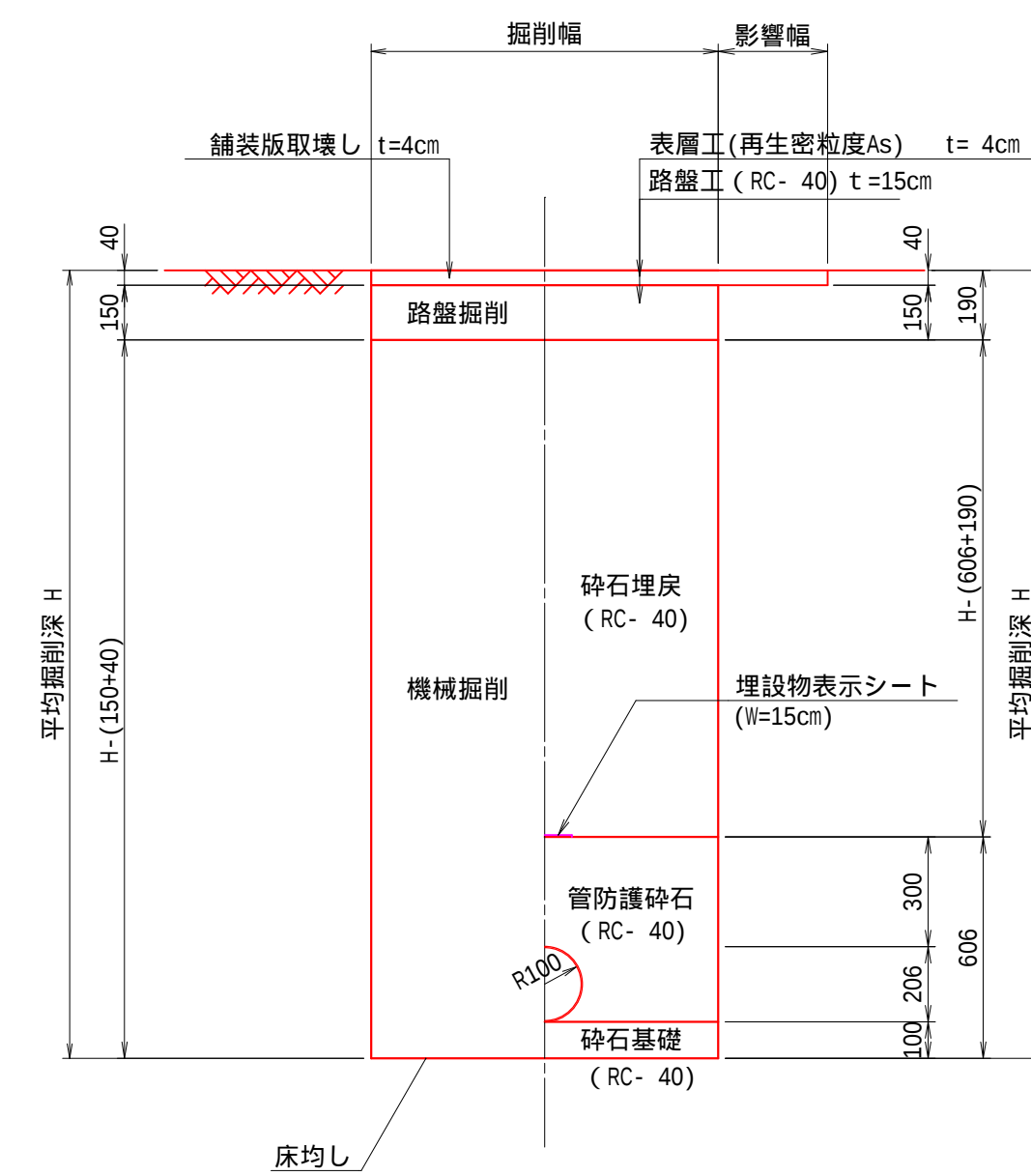


~~(県道歩道部)~~

掘 削 埋 戾

~~(県道歩道乗入部)~~

掘 削 埋 戾



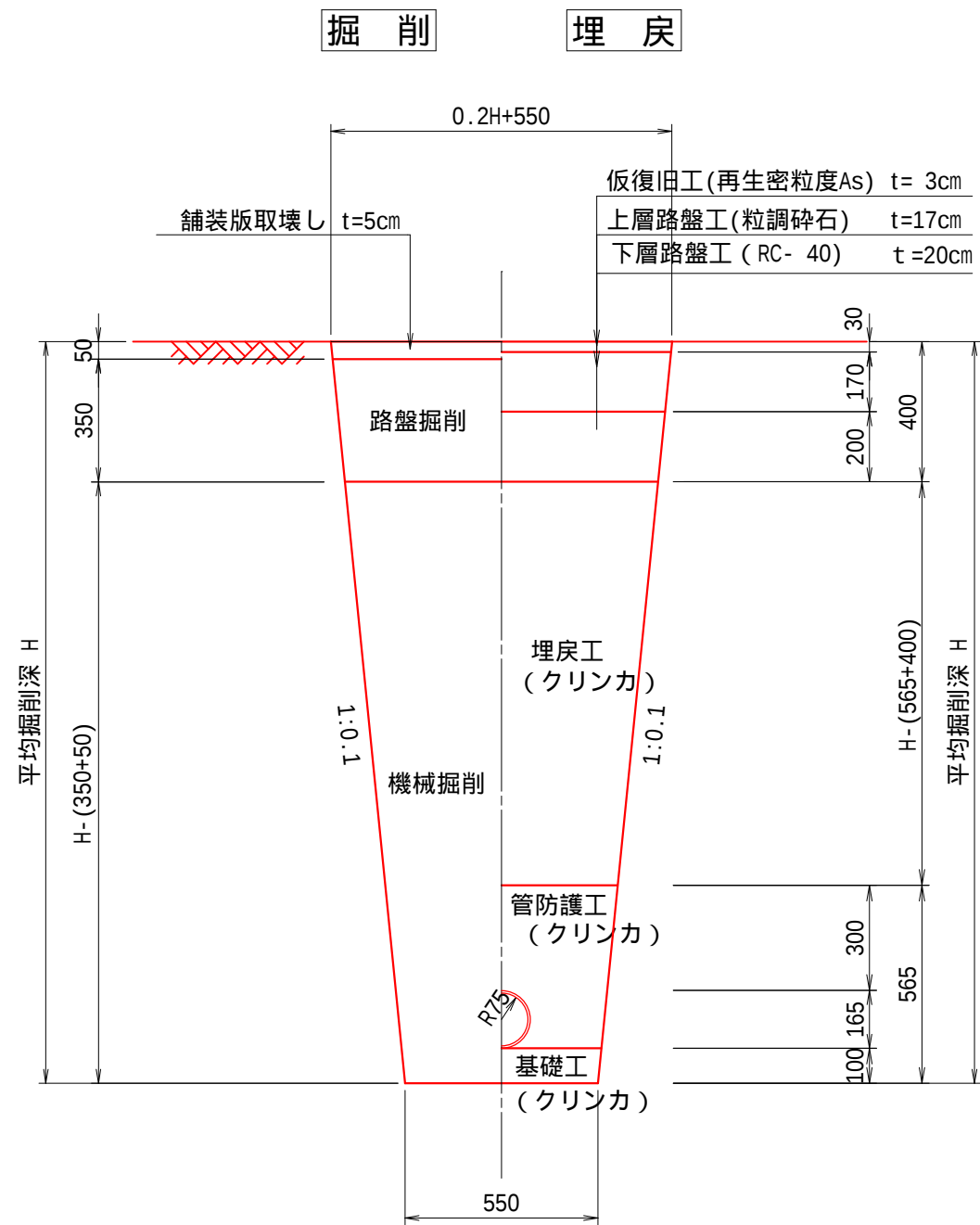
令和 7 年度 工事番号 第			号
南相馬市原町区上波佐字原田 地内外			
. 原町区下水管渠築造第 2 工区工事			
本管土工図			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	8 / 12
測 量	令和 3 年 10 月	主 任 技 術 者	
設 計	令和 4 年 2 月	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市			

取付管土工図 S=1:20
(VUφ150)

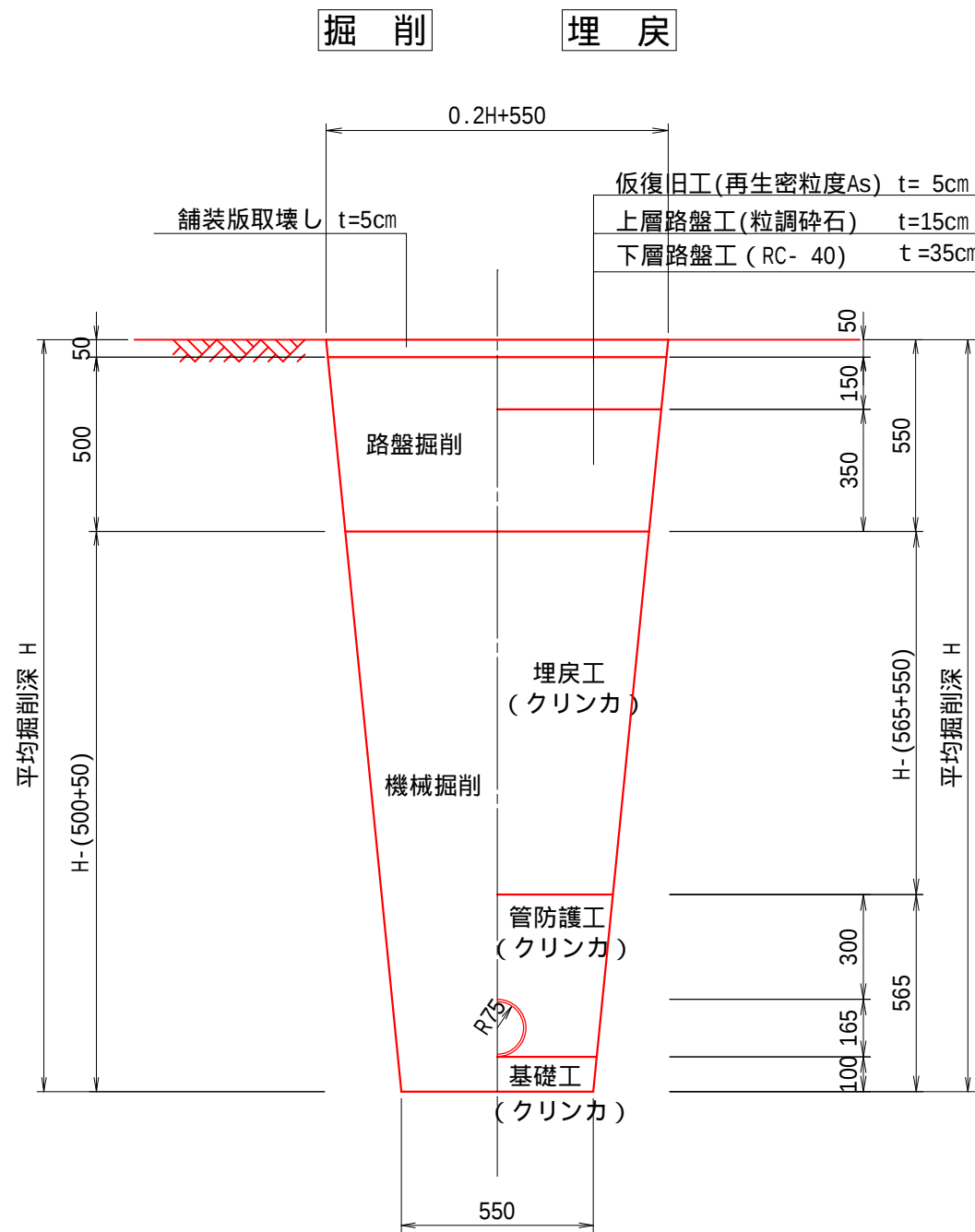
仮復旧

本復旧

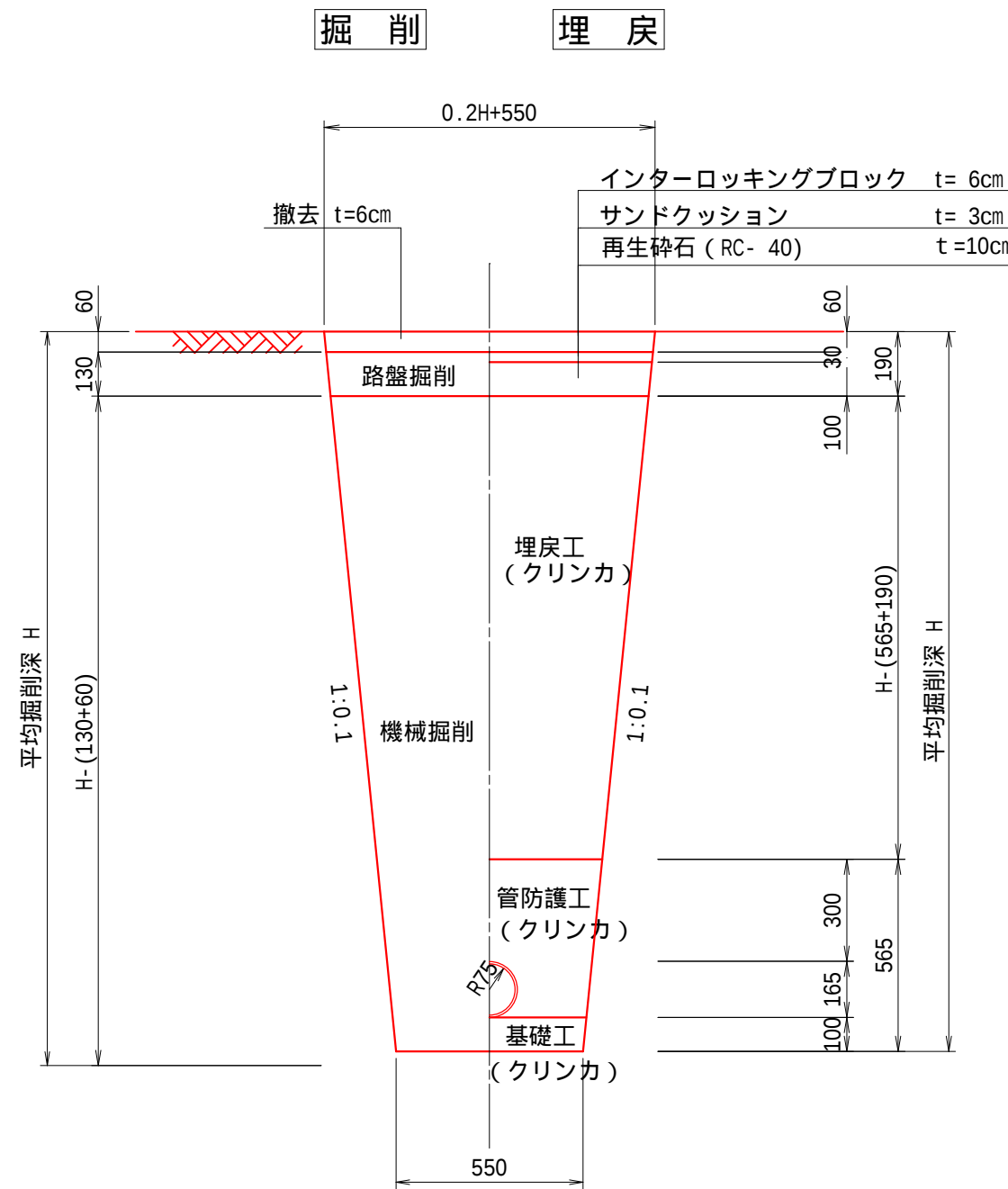
(市道車道部)



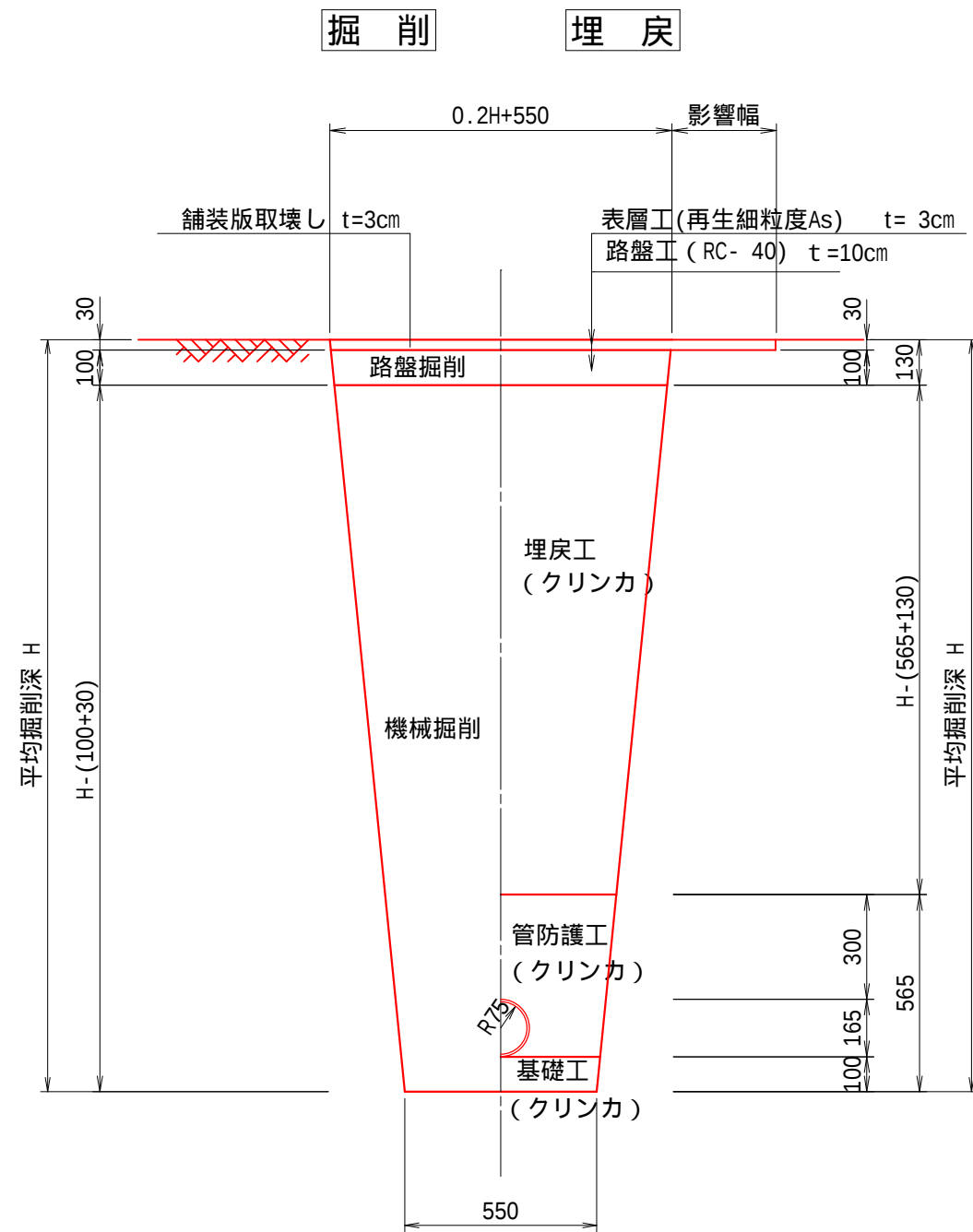
(県道車道部)



(インターロッキング歩道部)



(県道歩道部)

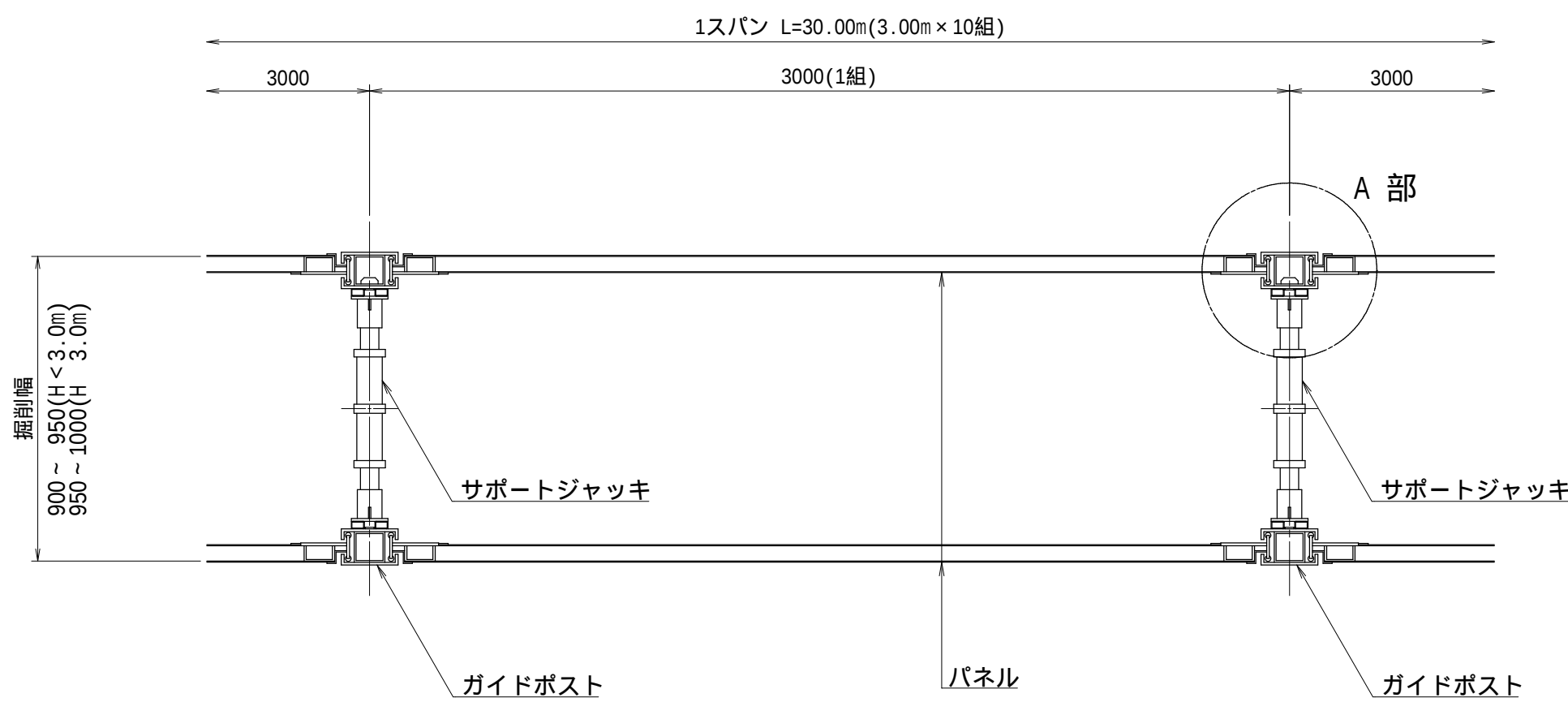


令和 7 年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区上浜佐字原田 地内外			
原町区下水管渠築造第 2 工区工事			
取付管土工図			
縮尺	図示	図面番号	9 / 12
測量		令和 3 年 10 月 主任技術者	
設計		令和 4 年 2 月 管理技術者	
南 相 馬 市			

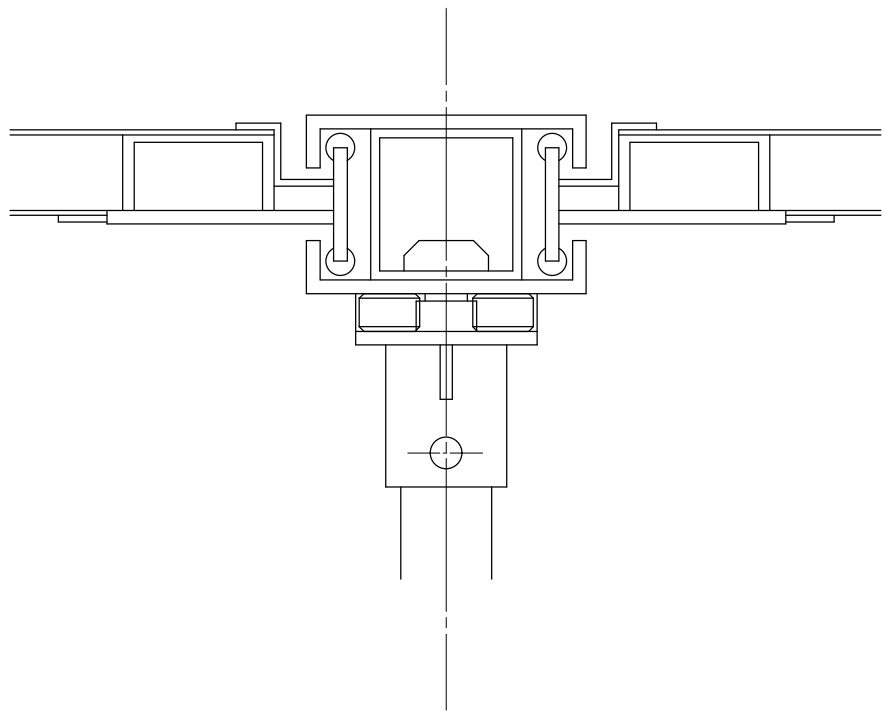
建込簡易土留工図

S=1:20

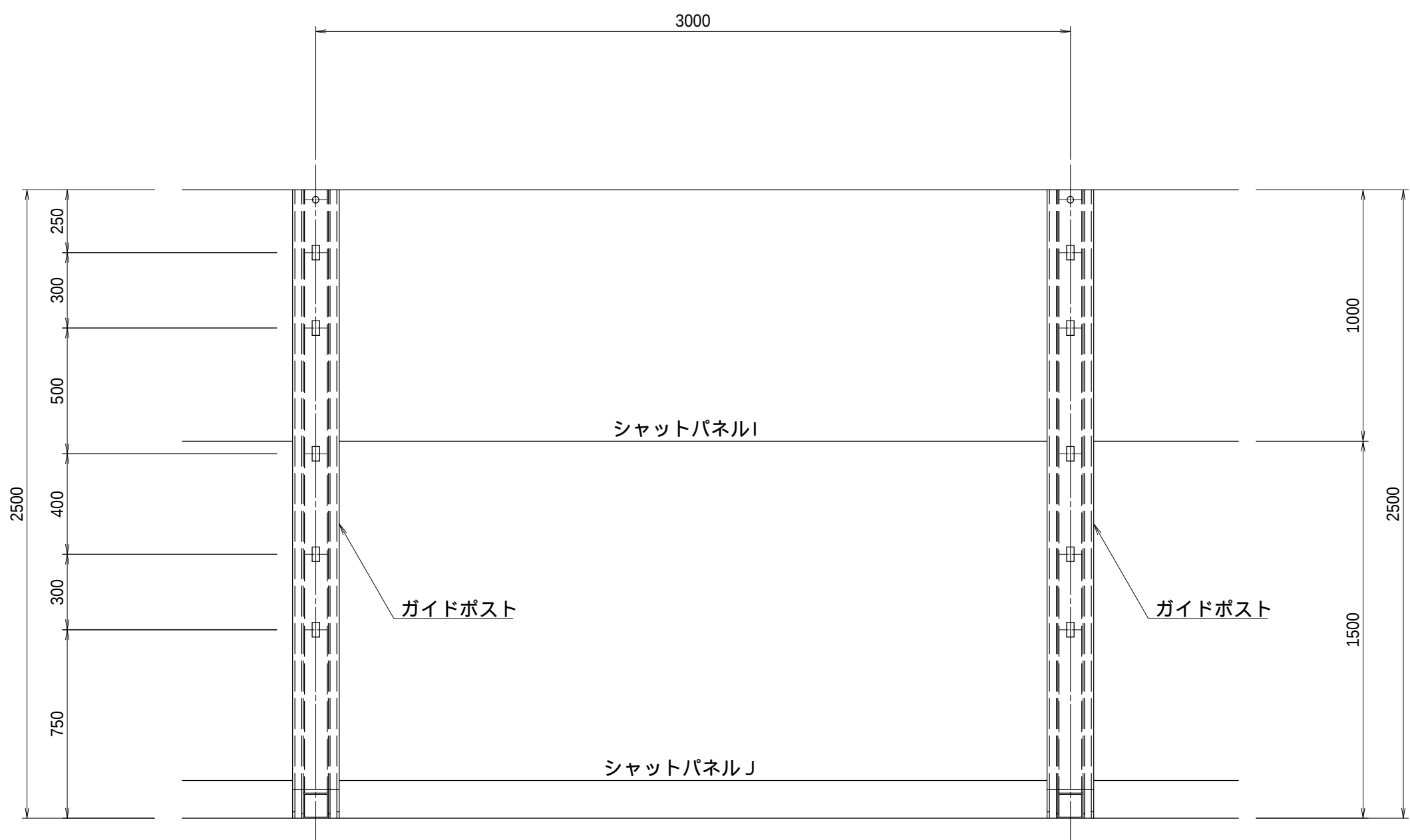
平面図



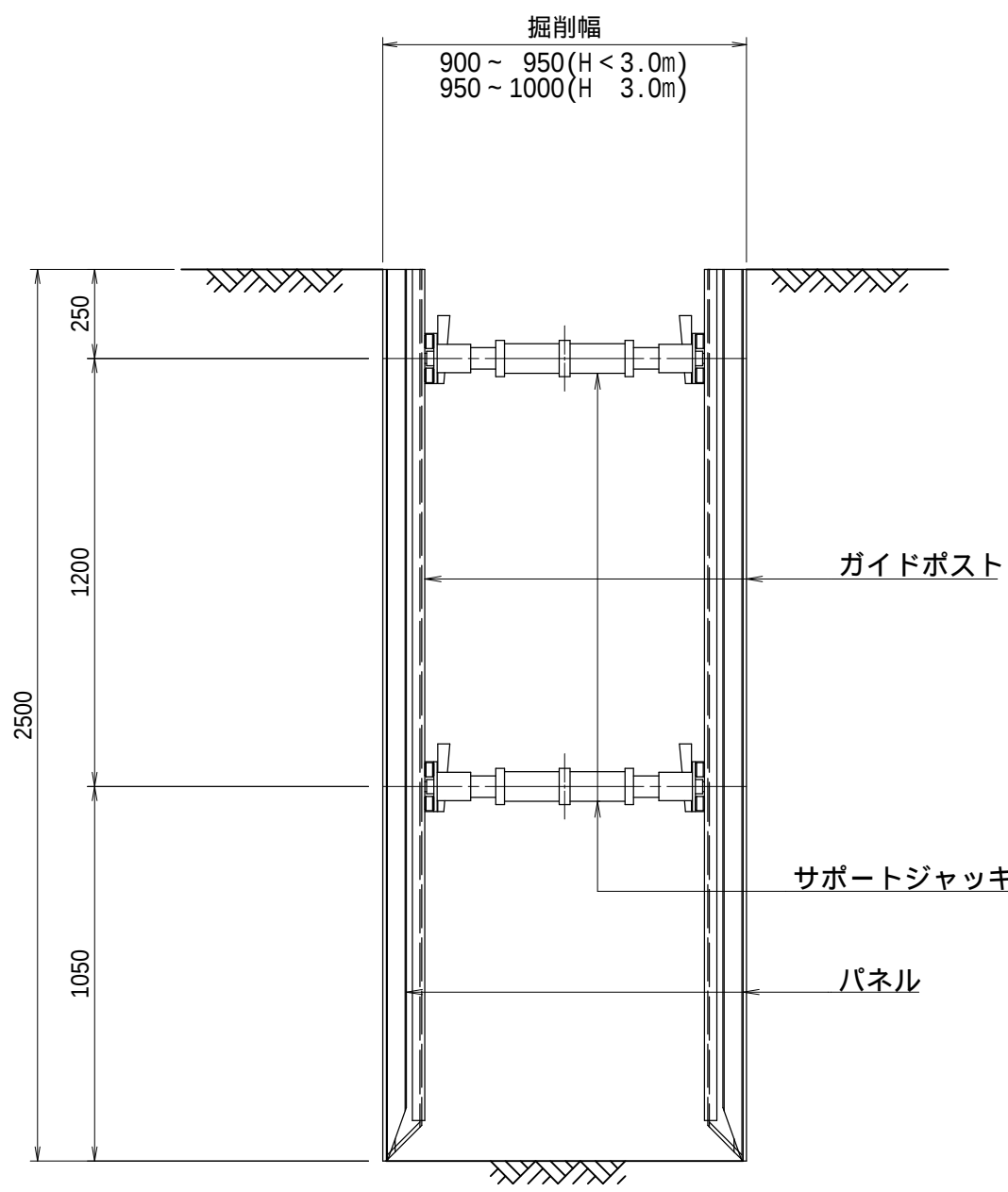
A部詳細図



側面図



断面図

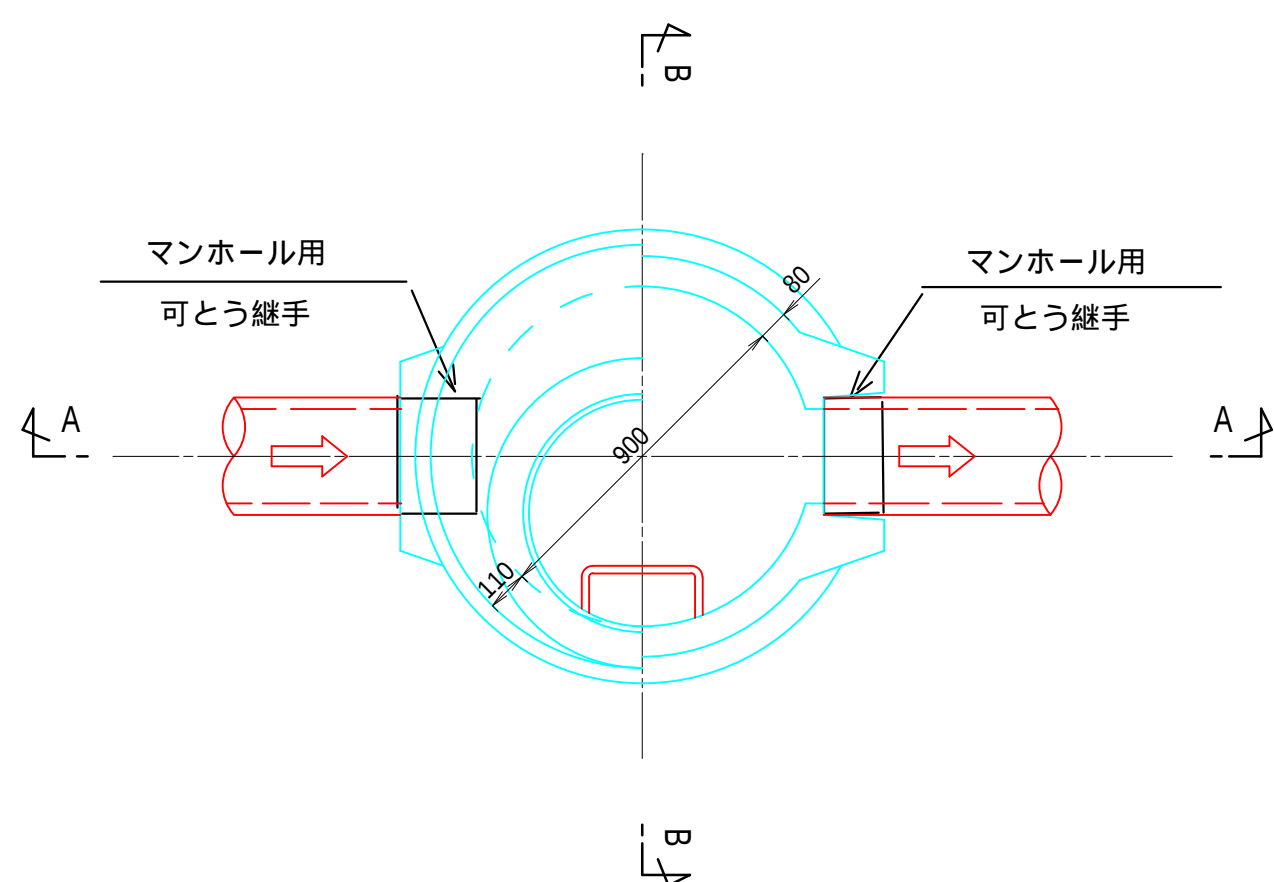


令和 7 年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区上洪佐字原田 地内外			
原町区下水管渠築造第 2 工区工事			
建込簡易土留工図			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	10 / 12
測 量		令和 3年 10月 主 任 技 術 者	
設 計		令和 4年 2月 管 理 技 術 者	
南 相 馬 市			

1号マンホール標準図

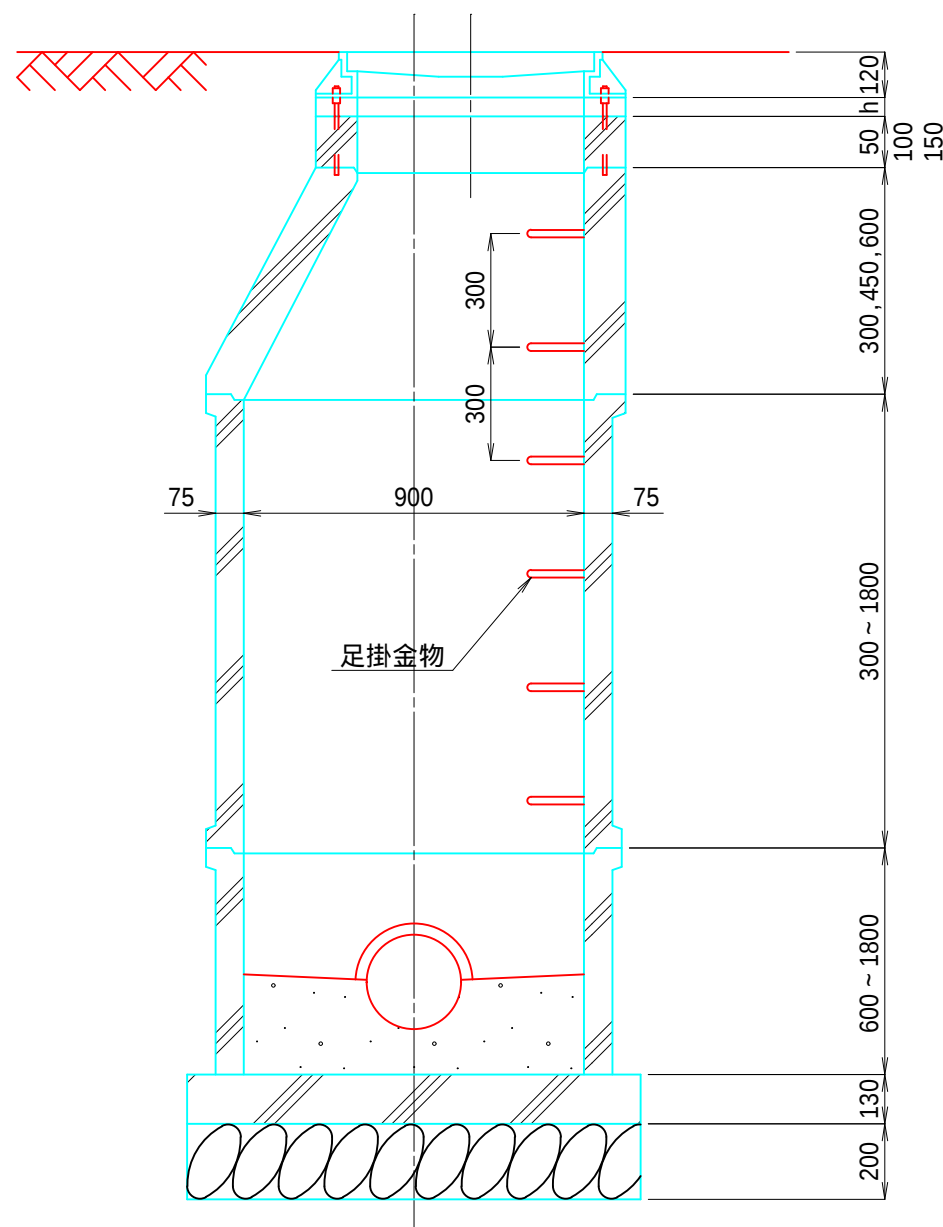
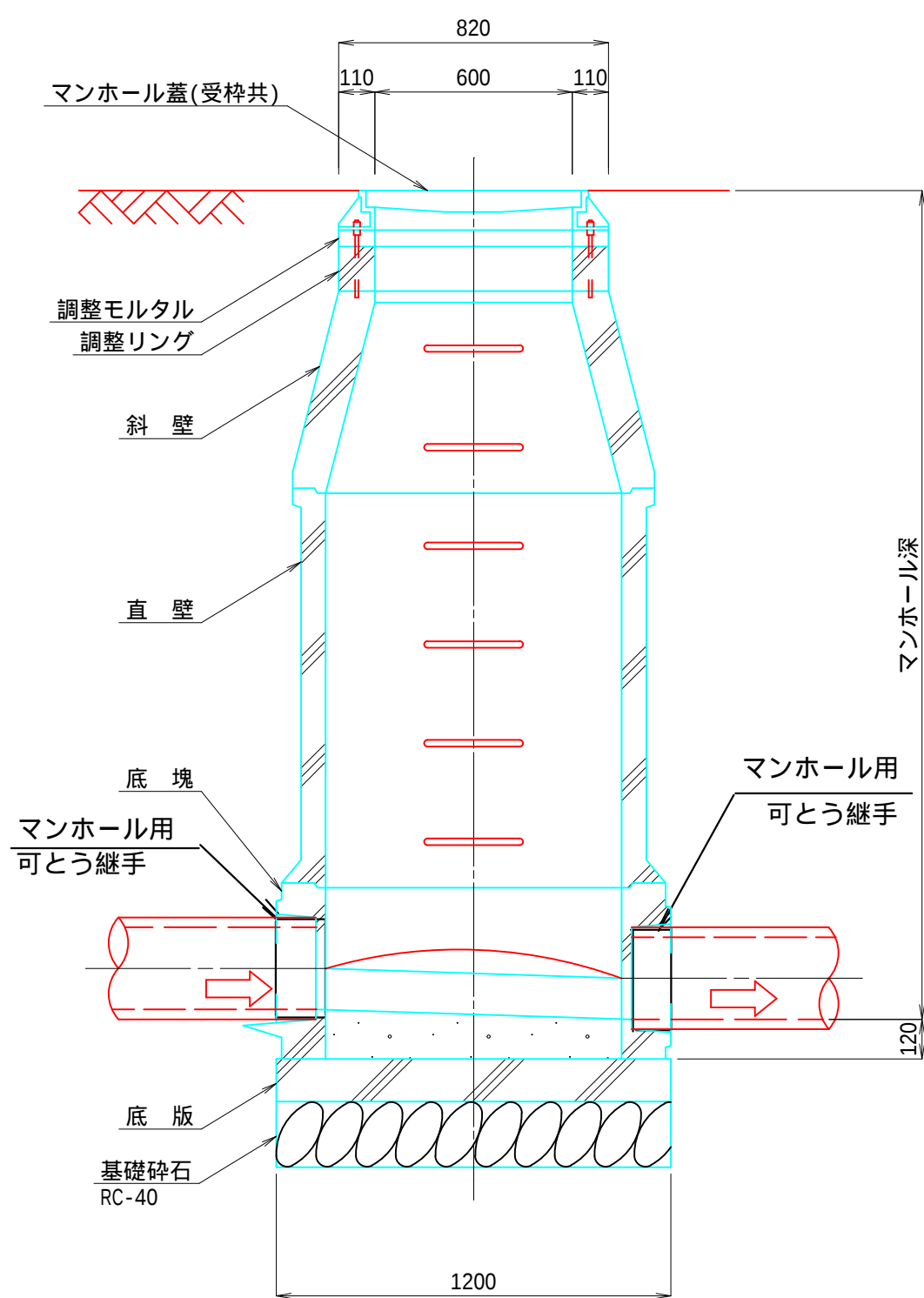
S=1:20

平面図



A-A断面図

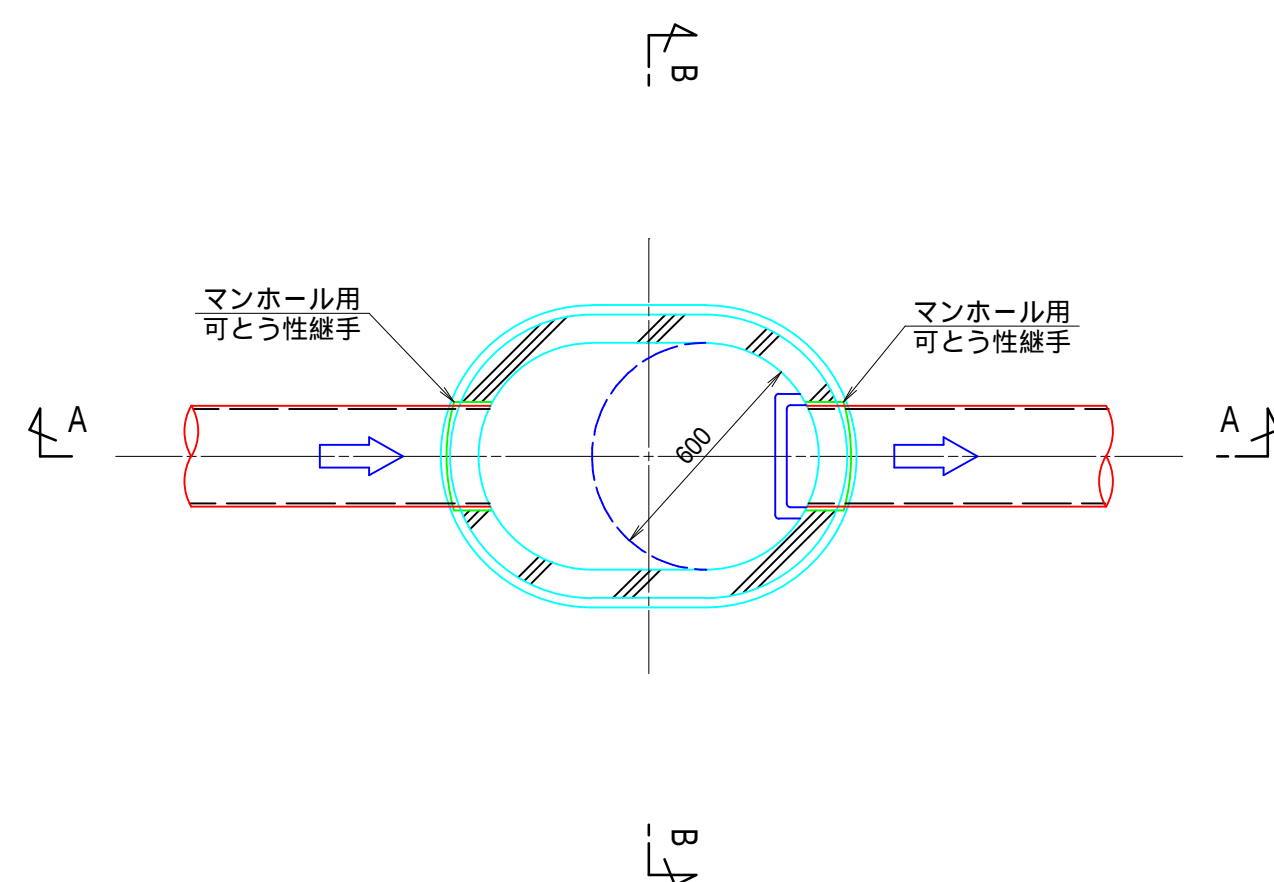
B-B断面図



楕円マンホール標準図

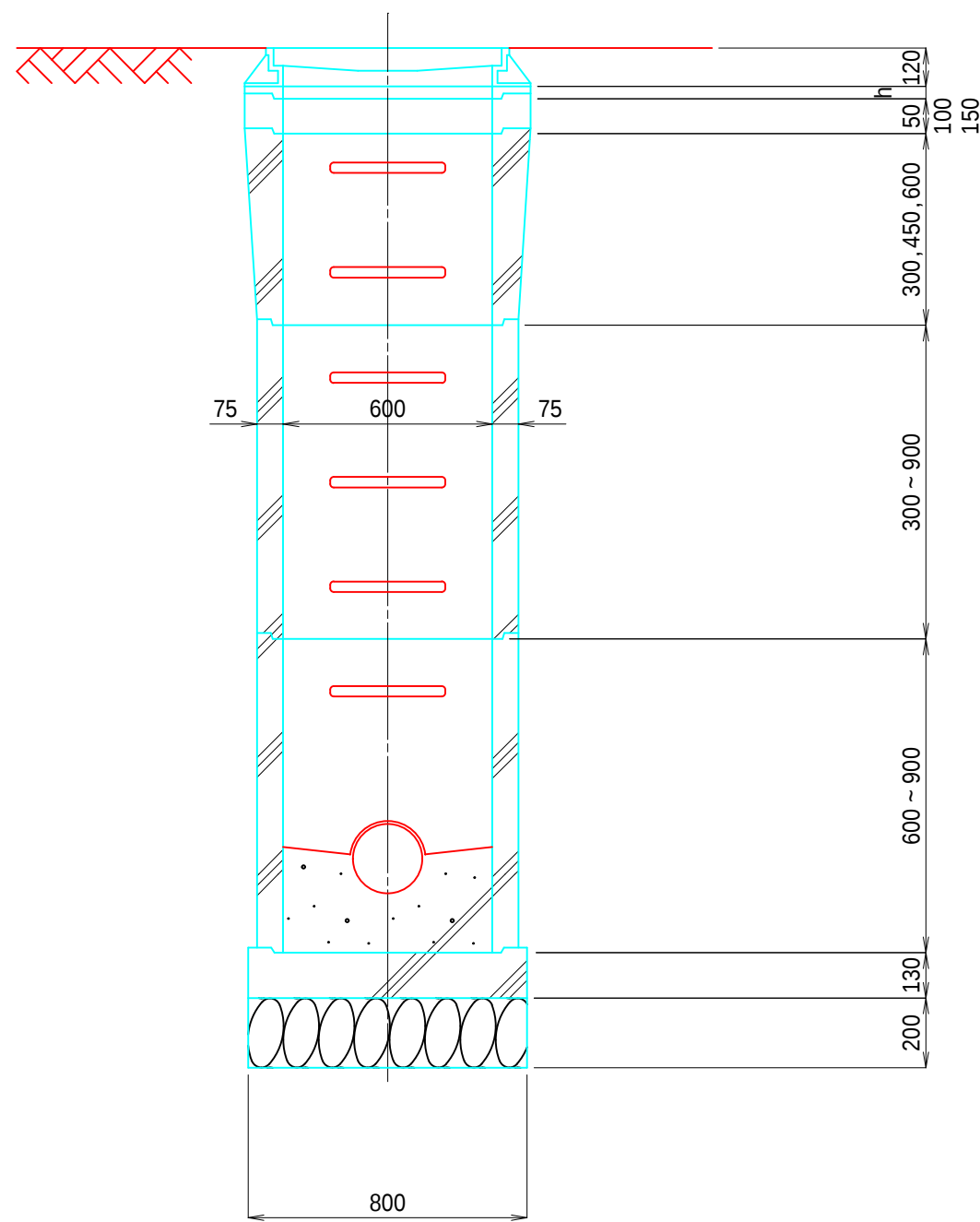
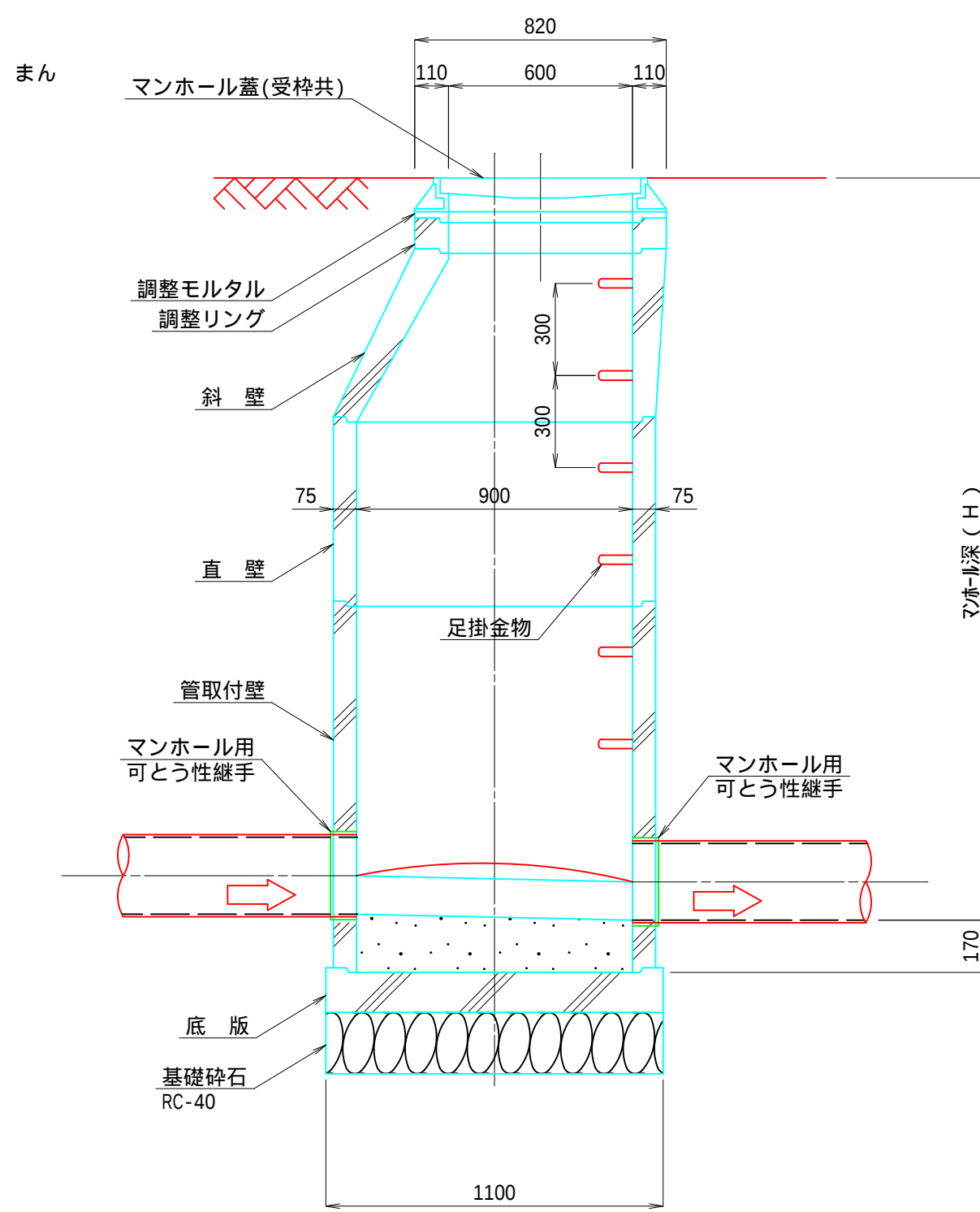
S=1:20

平面図



A-A断面図

B-B断面図

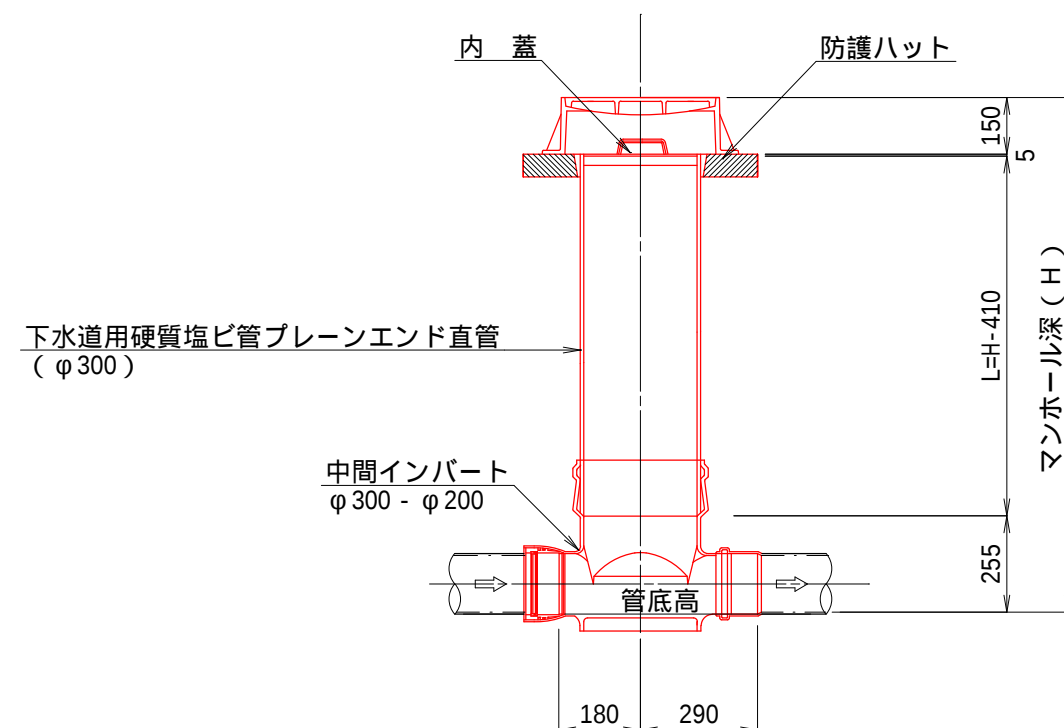
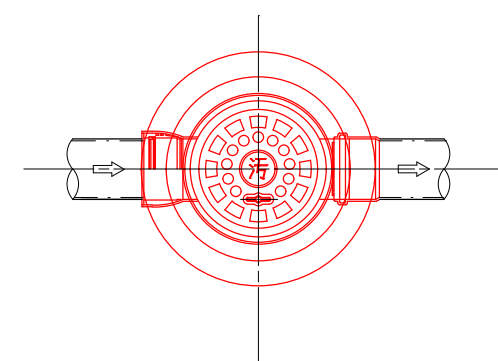


小型マンホール標準図

S=1:20

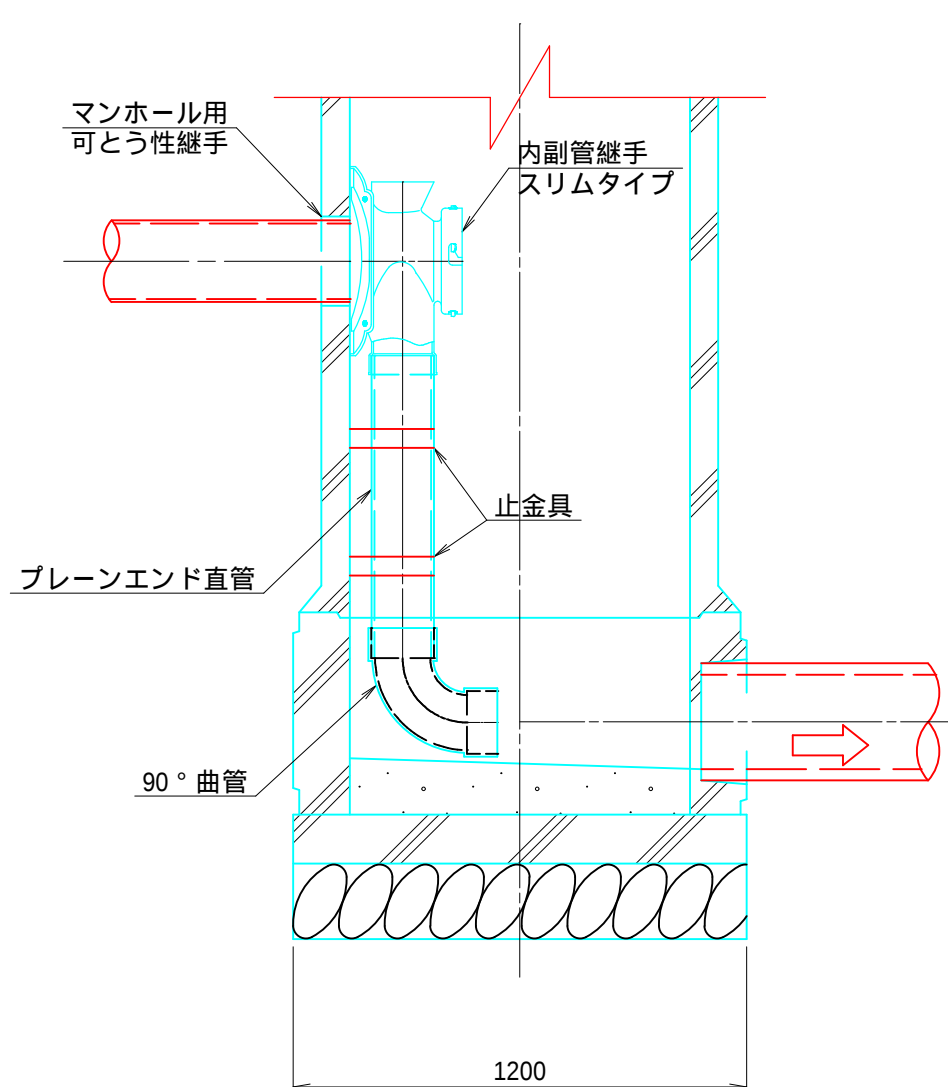
(φ300・塩ビ製)

中間点部



内副管標準図

S=1:20

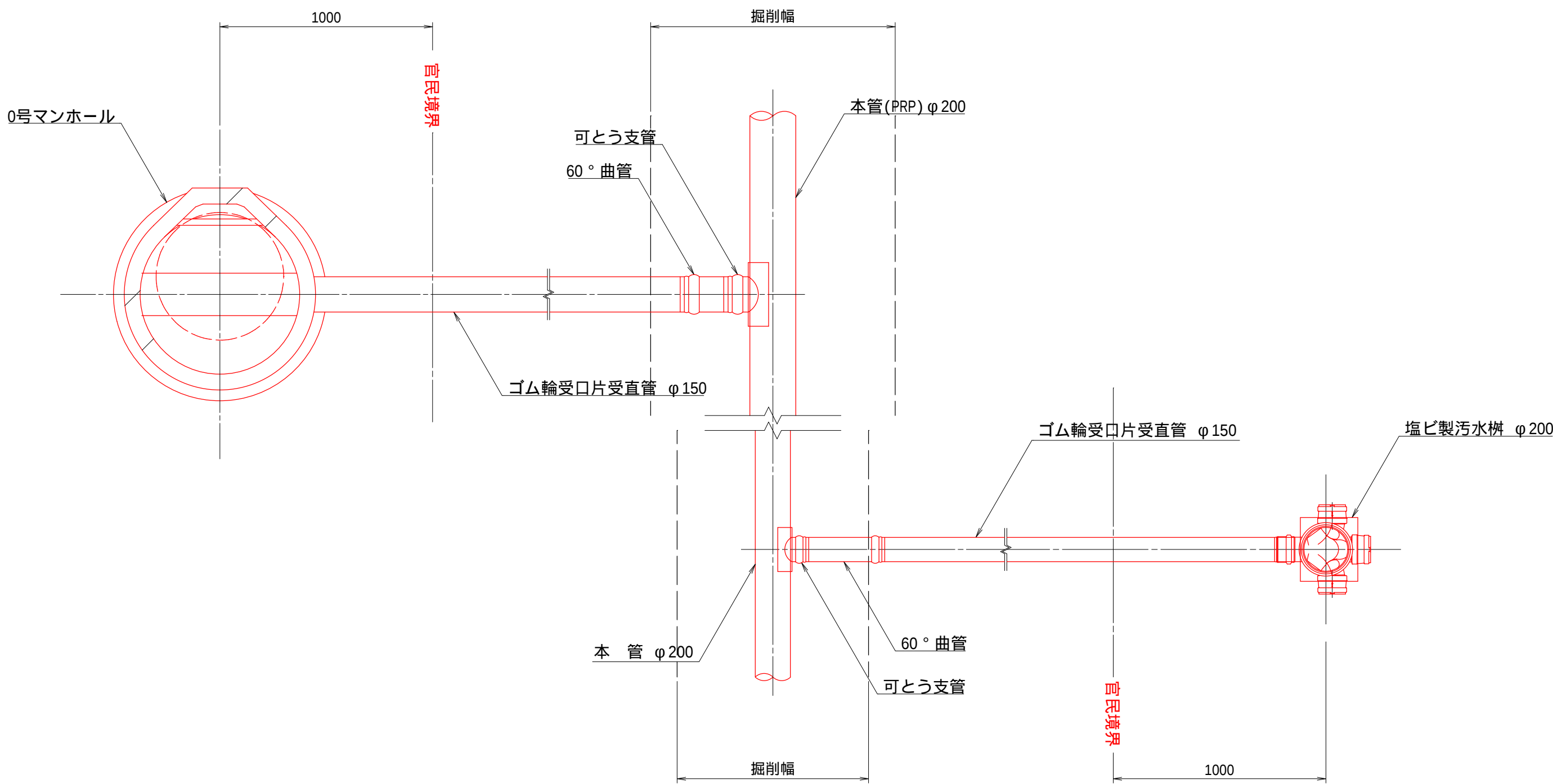


令和 7 年度	工事番号	第	号
南相馬市原町区上流佐字原田	地内外		
原町区下水管渠築造第 2 工区工			
1号・楕円・小型マンホール標準図			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	11 / 12
測 量	令和 3 年 主 任 10 月 技 術 者		
設 計	令和 4 年 管 理 技 術 者 2 月		
南 相 馬 市			

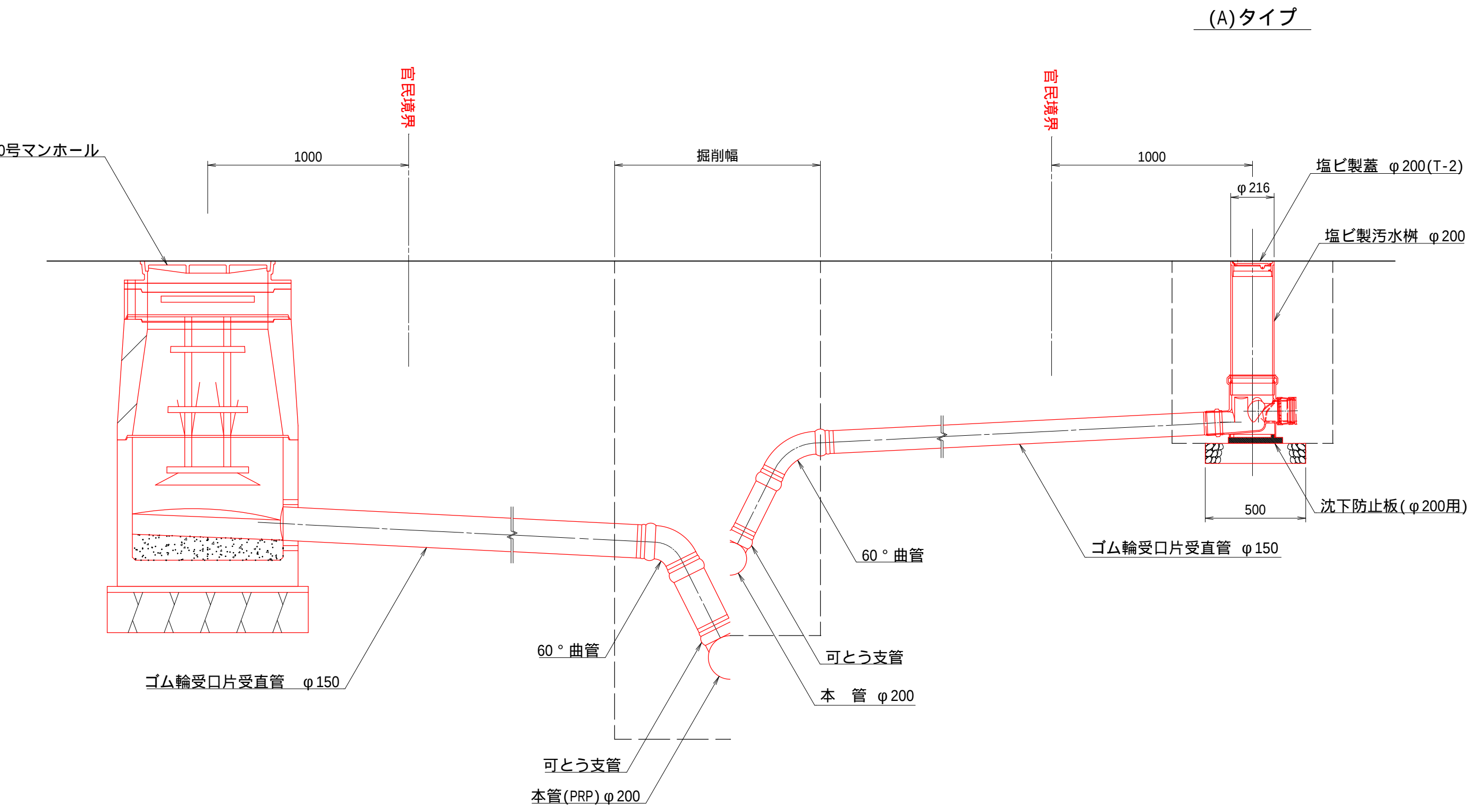
取付管標準図

S=1:20

平面図

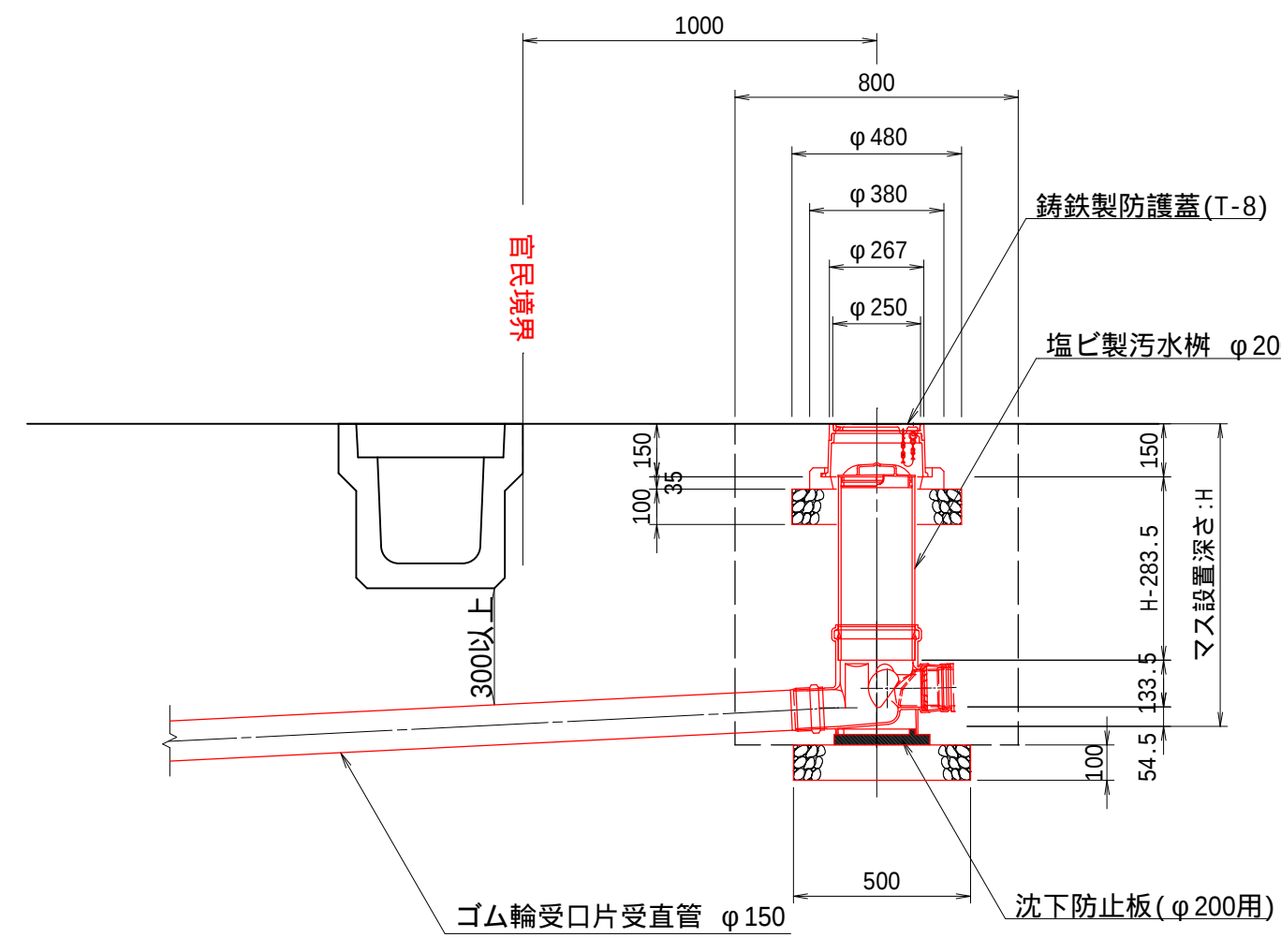


断面図

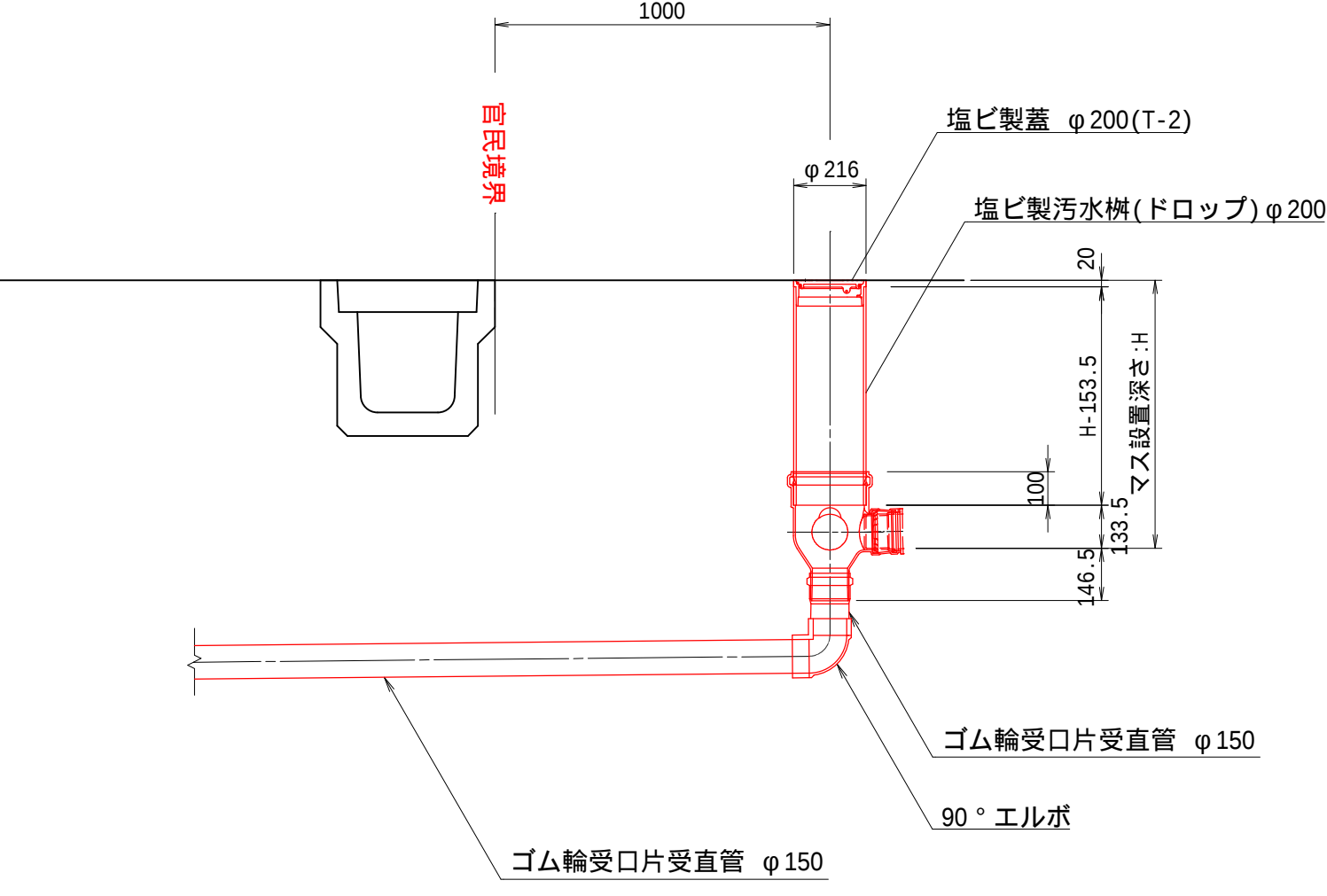


(A)タイプ

(B)タイプ



(C)タイプ



凡 例

記号	汚水樹種別
(A)	横型90°三方向合流樹+塩ビ製蓋
(B)	横型90°三方向合流樹+铸铁製防護蓋
(C)	縦型90°三方向合流ドロップ樹+塩ビ製蓋
(D)	縦型90°三方向合流ドロップ樹+铸铁製防護蓋

令和 7 年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区上浜佐字原田 地内外			
原町区下水管渠築造第2工区工事			
取付管標準図			
縮尺	図示	図面番号	12 / 12
測量		令和3年10月 主任技術者	
設計		令和4年2月 管理技術者	
南 相 馬 市			

採用單價表(物價資料比較表)

建設物価: № 1,324

6 月号

積算資料: № 1,534

6月号

照査技術者確認

管理技術者確認

[illegible]